

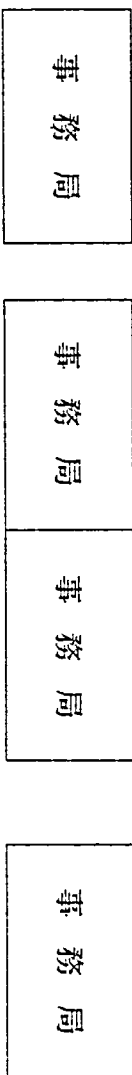
第47回人口問題審議会総会 配付資料

昭和62年10月8日

1. 第47回会合座席表
2. 議事次第
3. 資料1 最近の人口関係の公表資料
4. 資料2 第4次全国総合開発計画について
5. 資料3 わが国世帯数の将来推計（試算）
昭和60年－100年（昭和62年10月推計）
6. 資料4 「人口と家族に関する特別委員会」について
7. 別添資料 第9次出産力調査『結婚と出産に関する全国調査』要綱

第47回 人口問題審議会総会座席表

昭和62年10月8日(木)
於：共用第9会議室14時～16時



大熊由紀子員 委員 長次郎 井專門委員	伊部英男員 石井須美員	福武會長 代理直	山本正淑長	厚生大臣 黒木武審議官 弘	政策課長 調査室長	阿藤誠員 專門委員 子員 野澄專門委員 内野專門委員
久保正員 委員	速記				清水昭 專門委員 山口喜一員 專門委員	
久保秀史員 委員					野村誠 計画官 子員 山崎倫子員	
黒田俊夫員 專門委員 明員	速記					
小泉明員 委員						
河野果員 委員 桐直道員 小谷直道員	小林和正員 坂巻照員	佐々波秀彦員 高島隆平員	土居健一郎員 橋本道夫員	葵沼從尹員 人見康子員	松永英員 委員 前川一男員	

幹事席

受付

傍聴席

第47回人口問題審議会総会議事次第

昭和62年10月8日(木) 14時~16時

於：中央合同庁舎5号館共用第9会議室

1. 開 会
2. 厚生大臣挨拶
3. 新任委員紹介
4. 報 告
5. 議 題
6. 閉 会

(配付資料)

資料1. 最近の人口関係の公表資料

資料2. 第四次全国総合開発計画について

資料3. わが国世帯数の将来推計(試算)

別添資料 第9次出産力調査「結婚と出産に関する全国調査」要綱

資料4. 「人口と家族に関する特別委員会」について

資料 1

最近の人口関係の公表資料

昭和61年人口動態統計の概要

1 出生数は減少

昭和61年の出生数は138万3千人で、60年より4万9千人減少し、出生率は人口千対11.4で、60年より0.5ポイント低下した。出生数、出生率ともに49年以降低下を続けている。

2 死亡数は前年とほぼ同じ

死亡数は75万1千人で、60年より2千人減少し、死亡率は人口千対6.2で、60年より0.1ポイント低下した。

死因別では、第1位は悪性新生物（19万2千人、人口十万対158.5）、第2位は心疾患（14万3千人、人口十万対117.9）、第3位は脳血管疾患（12万9千人、人口十万対106.9）である。死因順位の上位10位までは、60年と同じである。

また、乳児死亡数は7千3百人で、60年より6百人減少し、乳児死亡率は出生千対5.2で60年の5.5を下回った。

3 自然増加数は前年を下回る

自然増加数は63万2千人で、60年より4万7千人少なく、自然増加率は人口千対5.2で60年の5.6を下回った。

4 死産数は前年を下回る

死産数は6万6千胎で、60年より3千胎減少し、死産率は出産（出生＋死産）千対45.3で60年の46.0を下回った。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は71万1千組で、60年より2万5千組減少し、婚姻率は人口千対5.9で、60年の6.1を下回った。

6 離婚件数は前年とほぼ同じ

離婚件数は16万6千組、離婚率は人口千対1.37で、60年とほぼ同じであった。離婚率は39年以降上昇し続け、58年には1.51まで至ったが59年以降は、低下している。

表1 人口動態総合表， 対前年比較

	実 数		率		平均発生間隔	
	昭和61年	昭和60年	昭和61年	昭和60年	昭和61年	昭和60年
出生	1 382 946	1 431 577	11.4	11.9	分 秒	分 秒
死亡	750 620	752 283	6.2	6.3	23"	22"
自然増加	632 326	679 294	5.2	5.6	42"	42"
乳児死亡	7 251	7 899	5.2	5.5
新生児死亡	4 296	4 910	3.1	3.4	72' 29"	66' 32"
周産期死亡	65 678	69 009	45.3	46.0	122' 21"	107' 03"
自然死産	31 050	33 114	21.4	22.1	8' 00"	7' 37"
人工死産	34 628	35 895	23.9	23.9	16' 56"	15' 52"
周産期死亡	10 148	11 470	7.3	8.0	15' 11"	14' 39"
妊娠満28週以後の死産	6 902	7 733	5.0	5.4	51' 48"	45' 49"
早期新生児死亡	3 246	3 737	2.3	2.6	76' 09"	67' 58"
婚姻	710 962	735 850	5.9	6.1	161' 55"	140' 39"
離婚	166 054	166 640	1.37	1.39	44"	43"
					3' 10"	3' 09"

注：1 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・周産期死亡率は出生千対、死産率は出産（出生+死産）千対である。
 2 率算出に用いた人口：昭和61年10月1日現在推計日本人人口 120,946,000人（総務庁統計局）
 昭和60年10月1日現在国勢調査抽出速報集計結果日本人人口 120,265,000人（総務庁統計局）

表2 人口動態率の年次推移

年次	出生・死亡・自然増加			乳児死亡・新生児死亡		死産（出産千対）			周産期死亡 （出生千対）	婚姻・離婚	
	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	総数	自然	人工		婚姻	離婚
	（人口千対）			（出生千対）					（人口千対）		
昭和22年	34.3	14.6	19.7	76.7	31.4	44.2	12.0	1.02
23	33.5	11.9	21.6	61.7	27.5	50.9	36.9	10.9	...	11.9	0.99
24	33.0	11.6	21.4	62.5	26.9	66.7	39.1	25.9	...	10.3	1.01
25	28.1	10.9	17.2	60.1	27.4	84.9	41.7	43.2	46.6	8.6	1.01
26	25.3	9.9	15.4	57.5	27.5	92.2	43.0	49.3	46.7	7.9	0.97
27	23.4	8.9	14.4	49.4	25.4	92.3	42.8	49.5	45.6	7.9	0.92
28	21.5	8.9	12.6	48.9	25.5	93.8	43.5	50.2	46.0	7.8	0.86
29	20.0	8.2	11.9	44.6	24.1	95.6	44.6	51.1	45.1	7.9	0.87
30	19.4	7.8	11.6	39.8	22.3	95.8	44.5	51.3	43.9	8.0	0.84
31	18.4	8.0	10.4	40.6	23.0	97.1	46.9	50.1	45.5	7.9	0.80
32	17.2	8.3	8.9	40.0	21.6	101.2	49.9	51.3	45.0	8.5	0.79
33	18.0	7.4	10.5	34.5	19.5	100.7	50.2	50.5	43.9	9.0	0.80
34	17.5	7.4	10.1	33.7	18.8	100.6	51.3	49.3	43.0	9.1	0.78
35	17.2	7.6	9.6	30.7	17.0	100.4	52.3	48.1	41.4	9.3	0.74
36	16.9	7.4	9.5	28.6	16.5	101.7	54.3	47.4	40.9	9.4	0.74
37	17.0	7.5	9.5	26.4	15.3	98.8	54.2	44.6	38.7	9.8	0.75
38	17.3	7.0	10.3	23.2	13.8	95.6	53.3	42.4	36.2	9.7	0.73
39	17.7	6.9	10.7	20.4	12.4	89.2	51.7	37.5	33.1	9.9	0.74
40	18.6	7.1	11.4	18.5	11.7	81.4	47.6	33.8	30.1	9.7	0.79
41	13.7	6.8	7.0	19.3	12.0	98.2	55.2	43.1	31.3	9.5	0.80
42	19.4	6.8	12.7	14.9	9.9	71.6	43.6	28.0	26.3	9.6	0.84
43	18.6	6.8	11.8	15.3	9.8	71.1	43.4	27.7	21.5	9.5	0.87
44	18.5	6.8	11.7	14.2	9.1	68.6	42.3	26.3	23.0	9.6	0.89
45	18.8	6.9	11.8	13.1	8.7	65.3	40.6	24.7	21.7	10.0	0.93
46	19.2	6.6	12.6	12.4	8.2	61.4	39.3	22.1	20.4	10.5	0.99
47	19.3	6.5	12.8	11.7	7.8	57.8	37.8	20.1	19.0	10.4	1.02
48	19.4	6.6	12.8	11.3	7.4	52.6	35.6	17.0	18.0	9.9	1.04
49	18.6	6.5	12.1	10.8	7.1	51.3	34.9	16.4	16.9	9.1	1.04
50	17.1	6.3	10.8	10.0	6.8	50.8	33.8	17.1	16.0	8.5	1.07
51	16.3	6.3	10.0	9.3	6.4	52.7	33.1	19.6	14.8	7.8	1.11
52	15.5	6.1	9.4	8.9	6.1	51.5	32.6	18.9	14.1	7.2	1.14
53	14.9	6.1	8.8	8.4	5.6	48.7	31.1	17.6	13.0	6.9	1.15
54	14.2	6.0	8.3	7.9	5.2	47.7	29.6	18.1	12.5	6.8	1.17
55	13.6	6.2	7.3	7.5	4.9	46.8	28.8	18.0	11.7	6.7	1.22
56	13.0	6.1	6.9	7.1	4.7	49.2	28.8	20.5	10.8	6.6	1.32
57	12.8	6.0	6.8	6.6	4.2	49.0	27.7	21.3	10.1	6.6	1.39
58	12.7	6.2	6.5	6.2	3.9	45.5	25.4	20.1	9.3	6.4	1.51
59	12.5	6.2	6.3	6.0	3.7	46.3	24.3	22.0	8.7	6.2	1.50
60	11.9	6.3	5.6	5.5	3.4	46.0	22.1	23.9	8.0	6.1	1.39
61	11.4	6.2	5.2	5.2	3.1	45.3	21.4	23.9	7.3	5.9	1.37

表 3

死因順位, 対前年比較

死因順位 昭和61年	死 因	昭和61年			昭和60年			平均発生間隔	
		死亡数	死亡率 (人口 10万対)	死亡総数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口 10万対)	死亡総数に 占める割合 (%)	昭和61年	昭和60年
第 1 位	悪 性 新 生 物	191 654	158.5	25.5	187 714	156.1	25.0	分 秒	分 秒
2	心 疾 患	142 581	117.9	19.0	141 097	117.3	18.8	2' 45"	2' 48"
3	脳 血 管 疾 患	129 289	106.9	17.2	134 994	112.2	17.9	3' 41"	3' 44"
4	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	53 065	43.9	7.1	51 366	42.7	6.8	4' 04"	3' 54"
5	不慮の事故及び有害作用	28 610	23.7	3.8	29 597	24.6	3.9	9' 54"	10' 14"
6	精神病の記載のない老衰	26 810	22.2	3.6	27 804	23.1	3.7	18' 22"	17' 46"
7	自 殺	25 667	21.2	3.4	23 383	19.4	3.1	19' 36"	18' 54"
8	慢性肝疾患及び肝硬変	16 943	14.0	2.3	17 174	14.3	2.3	20' 29"	22' 29"
9	腎炎, ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	13 984	11.6	1.9	13 521	11.2	1.8	31' 01"	30' 36"
10	高 血 圧 性 疾 患	11 689	9.7	1.6	12 700	10.6	1.7	37' 35"	38' 52"
								44' 58"	41' 23"

注: 1 死因順位の配列は、昭和61年の順位によった。

表 4 死因順位 (1~5位) の年次推移

年次	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	死 因	死亡率	死 因	死亡率	死 因	死亡率	死 因	死亡率	死 因	死亡率
昭和10年	全 結 核	190.8	肺炎・気管支炎	186.7	胃 腸 炎 患 者	173.2	脳 血 管 疾 患	165.4	老 衰	114.0
15	"	212.9	"	185.8	脳 血 管 疾 患	177.7	胃 腸 炎 患 者	159.2	"	124.5
22	"	187.2	"	174.8	胃 腸 炎 患 者	136.8	脳 血 管 疾 患	129.4	"	100.3
23	"	179.9	脳 血 管 疾 患	117.9	"	109.9	肺炎・気管支炎	98.6	"	79.5
24	"	168.8	"	122.6	肺炎・気管支炎	100.0	胃 腸 炎 患 者	92.6	"	80.2
25	"	146.4	"	127.1	"	93.2	"	82.4	悪 性 新 生 物	77.4
26	脳 血 管 疾 患	125.2	全 結 核	110.3	"	82.2	悪 性 新 生 物	78.5	老 衰	70.7
27	"	128.5	"	82.2	悪 性 新 生 物	80.9	老 衰	69.3	肺炎・気管支炎	67.1
28	"	133.7	悪 性 新 生 物	82.2	老 衰	77.6	肺炎・気管支炎	71.3	全 結 核	66.5
29	"	132.4	"	85.3	"	69.5	全 結 核	62.4	心 疾 患	60.2
30	"	136.1	"	87.1	"	67.1	心 疾 患	60.9	全 結 核	52.3
33	"	148.6	"	95.5	心 疾 患	64.8	心 老 衰	55.5	肺炎・気管支炎	47.6
35	"	160.7	"	100.4	"	73.2	"	58.0	"	49.3
40	"	175.8	"	108.4	"	77.0	"	50.0	不 慮 の 事 故	40.9
45	"	175.3	"	116.3	"	86.7	不 慮 の 事 故	42.5	老 衰	38.1
50	"	156.7	"	122.6	"	89.2	肺炎・気管支炎	33.7	不 慮 の 事 故	30.3
51	"	154.5	"	125.3	"	92.2	"	32.6	"	28.0
52	"	149.8	"	128.4	"	91.2	"	28.6	"	26.7
53	"	146.2	"	131.3	"	93.3	"	30.3	"	26.2
54	"	137.7	"	135.7	"	96.9	"	28.5	老 衰	25.5
55	"	139.5	"	139.1	"	106.2	"	33.7	"	27.6
56	悪 性 新 生 物	142.0	脳 血 管 疾 患	134.3	"	107.5	"	33.7	"	25.5
57	"	144.2	"	125.0	"	106.7	"	35.0	不 慮 の 事 故	24.7
58	"	148.3	"	122.8	"	111.3	"	39.3	"	25.0
59	"	152.5	"	117.2	"	113.9	"	37.6	"	24.6
60	"	156.1	心 疾 患	117.3	脳 血 管 疾 患	112.2	"	42.7	"	24.6
61	"	158.5	"	117.9	"	106.9	"	43.9	"	23.7

昭和 6 1 年 簡 易 生 命 表

1 主な年齢の平均余命

昭和61年簡易生命表によると、男の平均寿命は75.23年で前年（第16回生命表（昭和60年）、以下同じ。）に比べ0.45年の伸びを示し、女の平均寿命は、80.93年で前年に比べ0.45年の伸びを示した。

男女の平均寿命の差は5.70年で、前年と同一であった。

各年齢の平均余命も前年に比べ伸びを示し、その伸びはおおむね高年齢になるほど小さくなっている。（表1）

表1 主な年齢の平均余命とその伸び

（単位：年）

	男			女		
	61年	60年	延び	61年	60年	延び
0歳	75.23	74.78	0.45	80.93	80.48	0.45
5	70.81	70.39	0.42	76.45	76.03	0.42
10	65.89	65.47	0.42	71.50	71.08	0.42
15	60.96	60.54	0.42	66.54	66.13	0.41
20	56.15	55.74	0.41	61.62	61.20	0.42
25	51.37	50.97	0.40	56.72	56.30	0.42
30	46.56	46.16	0.40	51.84	51.41	0.43
35	41.76	41.36	0.40	46.96	46.54	0.42
40	37.02	36.63	0.39	42.13	41.72	0.41
45	32.40	32.01	0.39	37.37	36.96	0.41
50	27.93	27.56	0.37	32.68	32.28	0.40
55	23.72	23.36	0.36	28.10	27.71	0.39
60	19.70	19.34	0.36	23.62	23.24	0.38
65	15.86	15.52	0.34	19.29	18.94	0.35
70	12.33	12.00	0.33	15.19	14.89	0.30
75	9.24	8.93	0.31	11.45	11.19	0.26
80	6.72	6.51	0.21	8.25	8.07	0.18
85	4.80	4.64	0.16	5.70	5.60	0.10
90	3.38	3.28	0.10	3.78	3.82	△0.04

注：昭和60年は完全生命表による。

2 平均寿命の年次推移

戦前に作成された最後の生命表である第6回生命表（昭和10年～11年）によると日本人の平均寿命は、男46.92年、女49.63年であったが、昭和22年の臨時国勢調査を基に作成された第8回生命表では男50.06年、女53.96年と男女とも50年を超えている。

その後、昭和25年から27年までの間は、男女とも平均寿命は毎年1年以上という大幅な伸びをみせ、この間の昭和25年に女の平均寿命が60年を超え、男も昭和26年に60年を超えた。

以来、平均寿命の伸びは多少緩やかにはなったものの昭和31年、32年を除いては着実に改善を重ね、昭和34年には男が65年を超え、昭和35年に女が70年を超えた。更に、昭和46年には男70年、女75年を超えた。

その後も平均寿命の伸びは続いたが、昭和55年及び58年の男は平均寿命が前年を下回った。昭和59年には、女は初めて80年を超えた。昭和61年は前年に比べ男女とも伸びを示し、男は初めて75年を超えた。（表2及び図1）

0歳と65歳の平均余命の年次推移を図示すると図1のとおりである。

表2 平均余命の年次推移

(単位：年)

	男				女			
	0歳	20歳	40歳	65歳	0歳	20歳	40歳	65歳
昭和22年*	50.06	40.89	26.88	10.16	53.96	44.87	30.39	12.22
23	55.6	43.6	29.1	12.0	59.4	47.3	32.5	14.2
24	56.2	44.3	29.2	11.7	59.8	47.9	32.6	14.0
25	58.0	45.3	29.4	11.5	61.5	48.7	32.7	13.9
25-27*	59.57	46.43	29.65	11.35	62.97	49.58	32.77	13.36
27	61.9	48.0	30.9	12.5	65.5	51.4	34.2	14.8
28	61.9	48.0	30.6	11.9	65.7	51.4	33.9	14.2
29	63.41	48.87	31.45	12.88	67.69	52.86	35.22	15.00
30*	63.60	48.47	30.85	11.82	67.75	52.25	34.34	14.13
31	63.59	48.21	30.45	11.36	67.54	51.92	33.85	13.54
32	63.24	47.87	30.04	11.01	67.60	51.48	33.39	12.93
33	64.98	49.19	31.29	12.12	69.61	53.48	35.23	14.71
34	65.21	49.31	31.30	11.91	69.88	53.45	35.08	14.37
35*	65.32	49.08	31.02	11.62	70.19	53.39	34.90	14.10
36	66.03	49.58	31.44	11.88	70.79	53.72	35.10	14.10
37	66.23	49.44	31.19	11.55	71.16	53.85	35.15	14.09
38	67.21	50.10	31.79	12.10	72.34	54.70	35.89	14.70
39	67.67	50.33	31.96	12.19	72.87	54.99	36.11	14.83
40*	67.74	50.18	31.73	11.88	72.92	54.85	35.91	14.56
41	68.35	50.78	32.33	12.42	73.61	55.53	36.55	15.11
42	68.91	51.06	32.56	12.50	74.15	55.82	36.79	15.26
43	69.05	51.17	32.61	12.48	74.30	55.93	36.86	15.26
44	69.18	51.24	32.71	12.53	74.67	56.24	37.17	15.51
45*	69.31	51.26	32.68	12.50	74.66	56.11	37.01	15.34
46	70.17	52.05	33.42	13.08	75.58	56.99	37.85	16.00
47	70.50	52.33	33.67	13.25	75.94	57.28	38.11	16.17
48	70.70	52.46	33.74	13.22	76.02	57.33	38.12	16.10
49	71.16	52.79	33.99	13.38	76.31	57.54	38.30	16.18
50*	71.73	53.27	34.41	13.72	76.89	58.04	38.76	16.56
51	72.15	53.60	34.68	13.91	77.35	58.43	39.11	16.80
52	72.69	54.07	35.12	14.29	77.95	58.99	39.63	17.24
53	72.97	54.32	35.32	14.40	78.33	59.32	39.95	17.48
54	73.46	54.72	35.70	14.75	78.89	59.83	40.42	17.92
55*	73.35	54.56	35.52	14.56	78.76	59.66	40.23	17.68
56	73.79	54.95	35.88	14.85	79.13	60.00	40.55	17.93
57	74.22	55.33	36.24	15.18	79.66	60.48	41.02	18.35
58	74.20	55.25	36.20	15.19	79.78	60.56	41.10	18.40
59	74.54	55.56	36.47	15.43	80.18	60.93	41.46	18.71
60*	74.78	55.74	36.63	15.52	80.48	61.20	41.72	18.94
61	75.23	56.15	37.02	15.86	80.93	61.62	42.13	19.29

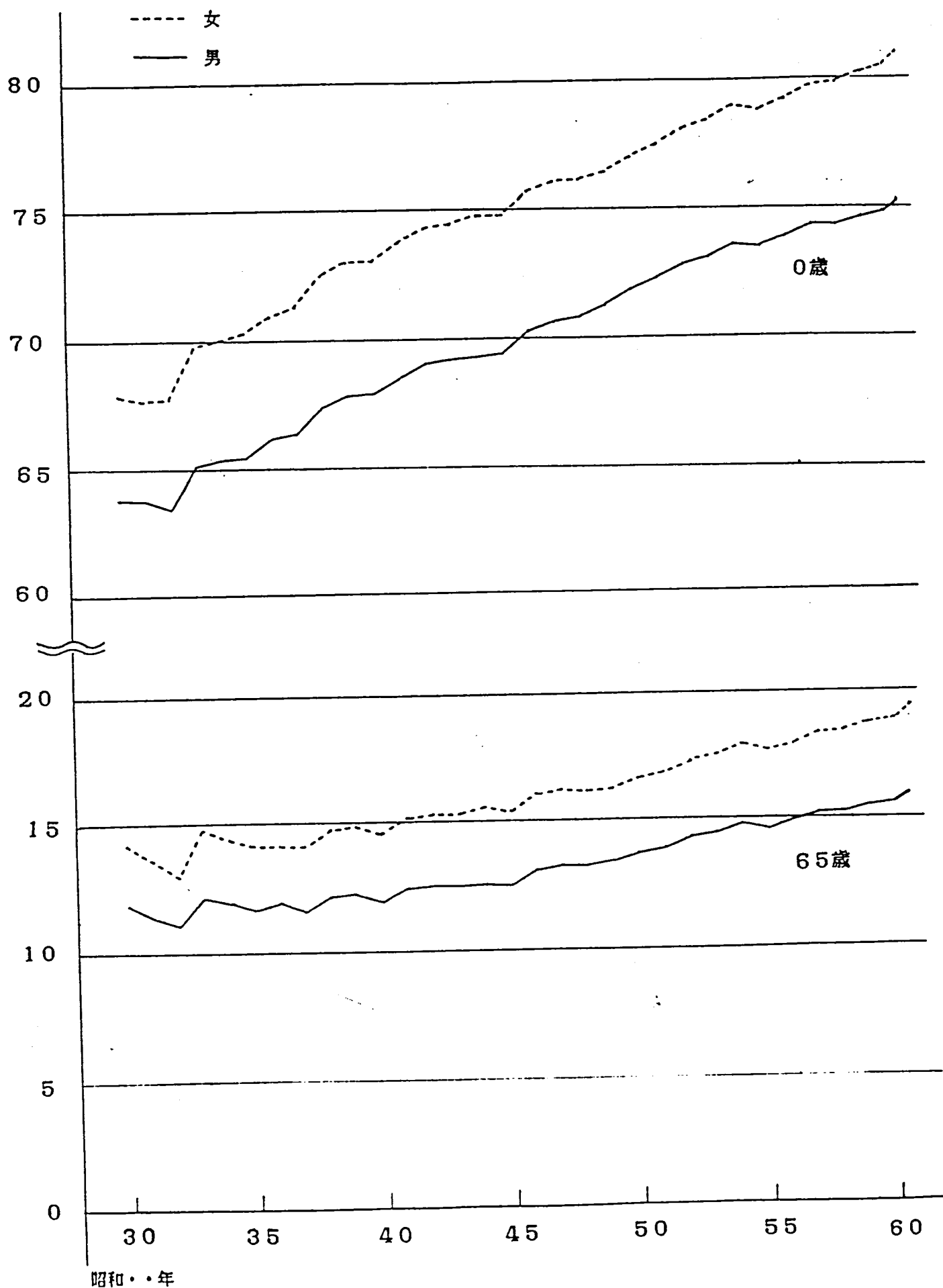
注： *印は完全生命表、その他は簡易生命表による。

昭和26年の平均寿命は、男60.8、女64.9である。

昭和46年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均余命の年次推移

平均余命(年)



注：昭和46年以前は、沖縄県を除く値である。

3 生命表での特定年齢の生存数

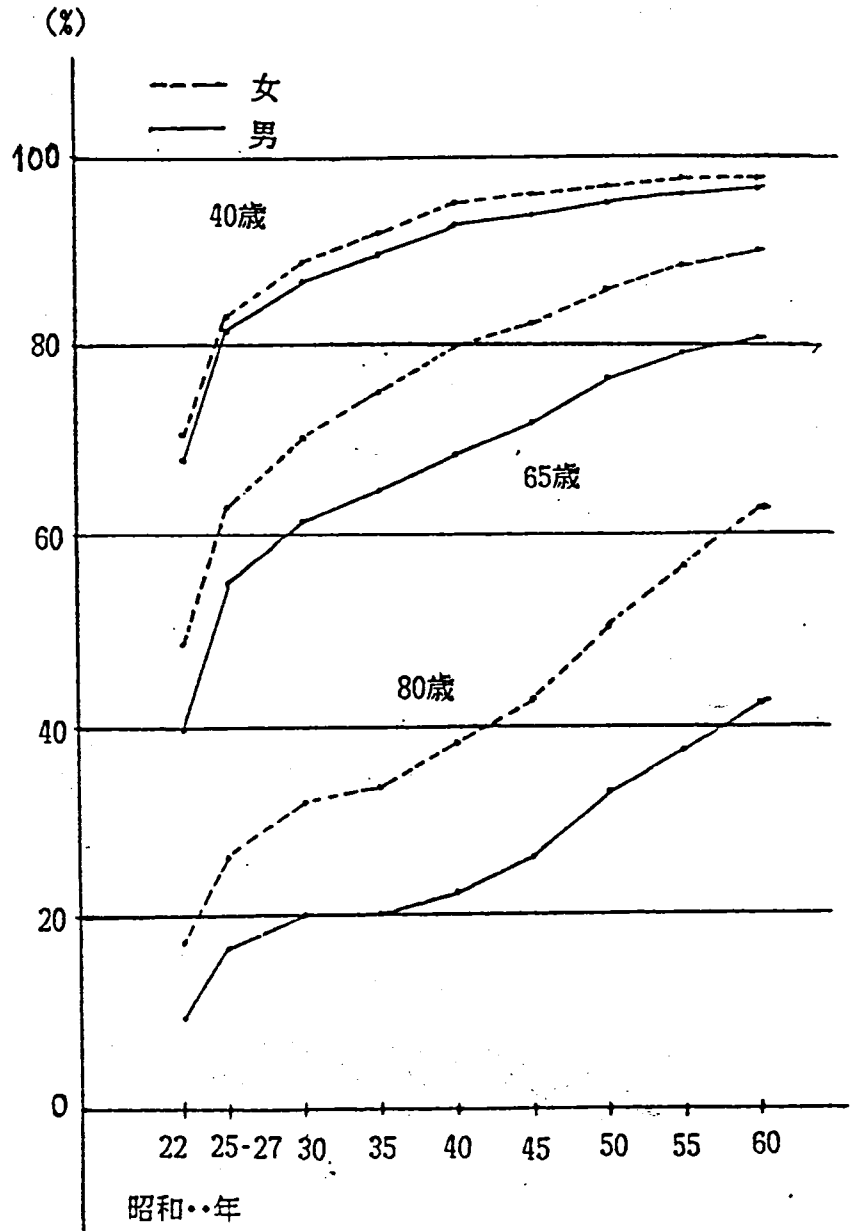
昭和61年簡易生命表によると、65歳の生存数は男81,621人、女90,509人となっている。これは10万人の出生のうち65歳まで生存する者の割合が男で81.6%、女で90.5%であることを示している。同様に、80歳までは男で44.6%、女で64.7%が生存する。(表3)

これを時系列でみると、40歳まで生存する者の割合は、すでに高原状態であるのに対して、65歳まで生存する者の割合は、昭和30年の男61.8%、女70.6%から60年までの30年間に男女とも19ポイント増加しており、さらに、80歳まで生存する者の割合は過去30年間に約2倍となっている。(表3、図2)

表3 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合
(単位：%)

	男			女		
	40歳	65歳	80歳	40歳	65歳	80歳
昭和22年	68.0	39.8	9.5	70.9	49.1	17.3
25-27	81.8	55.1	16.6	83.2	62.8	26.1
30	87.0	61.8	20.0	89.0	70.6	31.9
35	89.7	64.8	20.1	92.2	75.2	33.8
40	92.6	69.1	22.6	95.0	80.0	38.4
45	93.7	72.1	26.1	96.1	82.6	43.0
50	95.1	76.8	33.2	96.9	86.1	50.7
55	96.1	79.4	37.8	97.6	88.5	57.0
60	96.7	81.1	42.8	98.0	90.1	63.0
61	96.8	81.6	44.6	98.1	90.5	64.7

図2 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合



注：1 昭和60年までは完全生命表による。

2 本表は、生命表作成時点における死亡状況を一定不変とした場合の状態を表しており、現実の生存者の割合とは異なっている。昭和61年における現実の生存者の割合は65歳で男37.9%、女56.3%であり、80歳で男18.7%、女31.4%である。

4 平均寿命の国際比較

平均寿命の諸外国との比較は、国により作成基礎期間等が異なるので厳密な比較は困難である。しかし、現在入手している資料を用いて比較すると表4のとおりである。(図3)

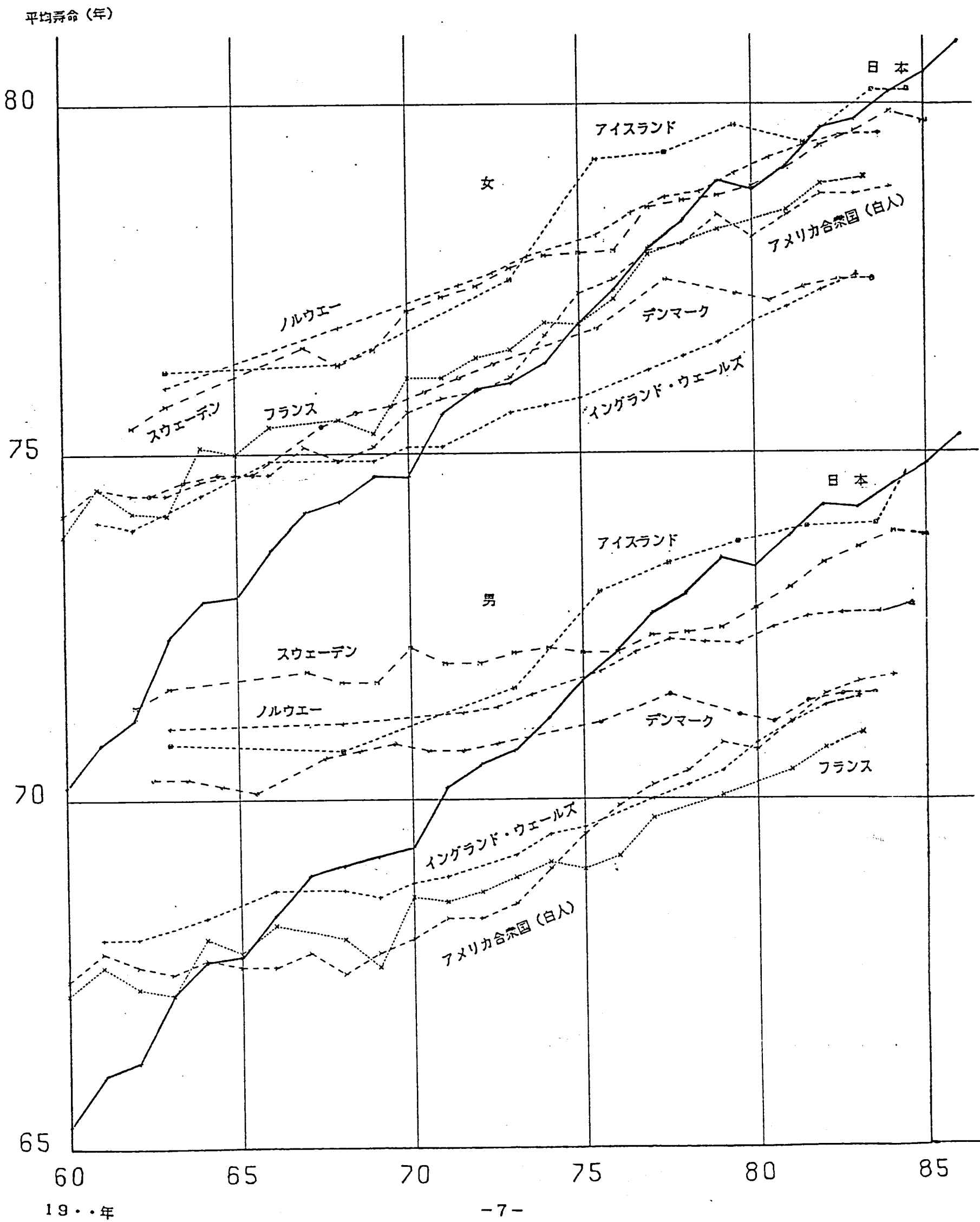
男で73年を超えている国は、日本、アイスランド、スウェーデン、イスラエル及びオランダであり、女で79年を超えている国は、日本、アイスランド、スウェーデン、オランダ、ノルウェー、スイス及びオーストラリアである。

表4 平均寿命の国際比較 (単位：年)

地域	国名	作成基礎期間	男	女
	日本	1986	75.23	80.93
アフリカ	エジプト	1980-85	56.80	59.50
	ナイジェリア	1980-85	46.90	50.20
アメリカ	アルゼンチン	1975-80	65.43	72.12
	ブラジル	1980-85	60.90	66.00
	カナダ	1980-82	71.88	78.98
	メキシコ	1979	62.10	66.00
	プエルトリコ	1981-83	70.53	77.39
	アメリカ合衆国(白人)	1984	71.8	78.7
アジア	中国	1980-85	66.70	68.90
	インド	1980-85	55.60	55.20
	インドネシア	1980-85	52.20	54.90
	イスラエル	1984	73.10	76.60
	韓国	1978-79	62.70	69.07
ヨーロッパ	オーストリア	1984	70.07	77.25
	チェコスロバキヤ	1984	67.11	74.31
	デンマーク	1983-84	71.50	77.50
	フィンランド	1984	70.44	78.76
	フランス	1982-84	70.86	78.99
	ドイツ民主共和国	1984	69.64	75.42
	ドイツ連邦共和国	1983-85	71.18	77.79
	アイスランド	1984-85	74.74	80.22
	イタリア	1977-79	70.61	77.19
	オランダ	1985	73.07	79.66
	ノルウェー	1984-85	72.80	79.51
	スウェーデン	1985	73.79	79.68
	スイス	1982-83	72.80	79.50
	イングランドウェールズ	1982-84	71.61	77.59
オセアニア	オーストラリア	1984	72.59	79.09
	ニュージーランド	1984	71.19	77.67
ソビエト	ソビエト連邦	1975-80	65.00	74.30

資料：Demographic Yearbook 1985 U.N.等

図3 平均寿命の国際比較



5 死因分析

(1) 死因別死亡確率

人はいずれかの時期に、何らかの傷病（死因）で死亡するが、生命表上のある年齢の者が将来特定の死因で死亡すると
思われる確率を計算したものが死因別死亡確率である。

昭和61年の死亡状況からみれば、0歳の男は悪性新生物による死亡確率が最も高く（24.50%）、次いで心疾患
（19.48%）、脳血管疾患（16.74%）となっている。また、0歳の女では心疾患（22.66%）、脳血管疾
患（20.85%）、悪性新生物（16.48%）の順となっている。（表5）

表5 0歳の死因別死亡確率

（単位：%）

	男				女			
	30年	40年	50年	61年	30年	40年	50年	61年
全 結 核 5,6	5.6	3.5	1.84	0.72	3.7	1.7	0.76	0.24
悪性新生物 28-37	11.9	15.0	18.56	24.50	10.6	12.4	13.86	16.48
高血圧性疾患 48,49	1.7	2.8	2.92	1.51	1.9	3.5	4.23	2.71
心 疾 患 46,51,52,54-56	8.7	11.4	14.94	19.48	8.9	12.3	16.86	22.66
脳 血 管 疾 患 58-60	21.3	27.4	26.55	16.74	21.7	27.0	28.28	20.85
肺炎・気管支炎 62,63,66	5.4	5.3	6.35	9.47	5.0	5.4	6.00	8.22
慢性肝疾患・肝硬変 73	2.27	2.06	1.06	1.09
腎炎・腎臓病候群・腎臓病 76,77	1.88	1.99
不慮の事故・有害作用 E104-114	...	5.1	4.03	3.41	...	2.1	1.94	1.85
自動車事故（再） E104	1.65	1.33	0.61	0.54
自 殺 E115	...	1.5	1.90	2.40	...	1.2	1.54	1.54

注：死因欄の数字は、人口動態統計死因簡単分類番号である。

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び

ある死因を除去すれば、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。
この結果死亡時期の繰延べが起こり、余命が延びることとなる。この伸びは、その死因のために失われた余命としてみ
ることができ、これによって各死因の平均余命への影響の大きさを測ることができる。

昭和61年についてみると、0歳の男では悪性新生物（3.39年）が最も大きな影響を与える死因であり、次いで
心疾患（2.03年）、脳血管疾患（1.64年）となっている。また、0歳の女でも悪性新生物（2.46年）が最
も大きく、次いで心疾患（2.10年）、脳血管疾患（1.93年）の順となっている。

平均寿命に影響を与える死因で男女差の大きなものは、悪性新生物（男女差0.93年）と不慮の事故・有害作用（
男女差0.51年）である。

1 9 8 7 年 世 界 人 口 白 書 の 概 要

1. 今年世界の人口は人類史上初めて50億人を突破

- ① 1950年には25億人だったので、わずか37年間で倍増。
- ② 現在、世界人口は1分ごとに150人、1日ごとに22万人、1年ごとに8,000万人増加。
- ③ この勢いで増え続けると、西暦2000年までに60億人、2010年には70億人、2022年には80億人に達する見込み。

(増加のほとんどは発展途上国。100年後に約100億人で安定するだろうと予想。)

世界における平均寿命と乳児死亡率ならびに人口増加の推移

世界人口				
人口	到達年	所要年数	平均寿命(歳)	乳児死亡率(%)
5億人	17世紀半ば頃	1世紀半程度	-	-
10億人	19世紀初頭以後		-	-
20億人	1918年~1927年の間のある時点	1世紀程度	-	-
30億人	1960年	30~40数年間	49.6	135
40億人	1974年	14年	56.3	95
50億人	1987年	13年	60.9	73
60億人	1999年	12年	64.2	55
70億人	2010年	11年	67.3	43
80億人	2022年	12年	70.3	36
82.06億人	2025年		71.1	27
発展途上地域				
人口	到達年	所要年数	平均寿命(歳)	乳児死亡率(%)
5億人	1950年以前		-	-
10億人	1950年以前		-	-
20億人	1958年	17年	44.2	172
30億人	1975年	15年	54.2	94
40億人	1990年	12年	61.2	68
50億人	2002年	12年	63.8	57
60億人	2014年		67.1	43
68.09億人	2025年		70.2	30
先進地域				
人口	到達年	所要年数	平均寿命(歳)	乳児死亡率(%)
5億人	1950年以前		-	-
10億人	1965年		71.5	28
13.96億人	2025年		78.4	7
20億人	20億人に達する見通しなし		-	-

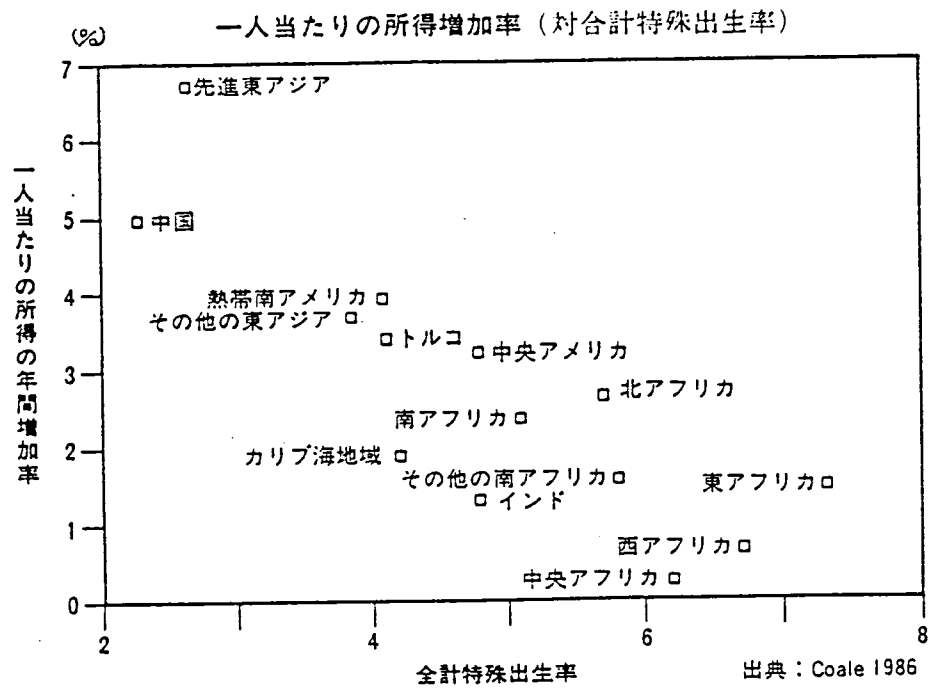
出典：1973年と1984年の国連資料から国連人口活動基金において推計。

- (注) 1. 国連は、1987年7月11日を「世界人口50億人の日」と設定し、様々な啓発活動を計画。我が国においては、人口問題協議会及び家族計画国際協力財団の主催により、同日「世界人口50億人の日」特別講演会が開催され、世界のなかでの日本の立場とその将来の役割が取り上げられる。
2. 国連人口活動基金(UNFPA)は、刻々と増え続ける世界の人口と自国の人口がひと目でわかる「世界人口時計」を日本の時計メーカーの協力で制作し、それを国連加盟159か国の大統領、首相などに贈呈することを決定している。

2. 人口増加に伴う諸問題

(1) 人口増加は、経済開発に悪い影響を与える。

① 一人当たり所得の増加と出生率とは明確な関係がある。



② 日本とブラジルの比較

経済成長率が高い場合でさえも、高い出生率が所得水準に影響を与える。

		1960年	→	現在 (1985年)
日 本	国民一人当たり国民総生産	1,400ドル	→	16,900ドル (1986年)
	人口	9,430万人	→	12,105万人
	合計特殊出生率	2.00	→	1.76
	乳児死亡率	30.7	→	5.5 (出生千対)
ブ ラ ジ ル	国民一人当たり国民総生産	900ドル	→	2,000ドル
	人口	7,259万人	→	13,556万人
	合計特殊出生率	6.15	→	3.46
	乳児死亡率	109	→	63 (出生千対)

↓
 発展途上国においては、出生率が低下すれば、国民一人当たり利用可能な資本額、労働生産性、識字率、教育水準はすべて上昇する。

(2) 人口増加は、人間と自然のバランスに影響を与える。

① 森林の伐採 ----- 現在、発展途上国では、伐採される樹木の10分の1から20分の1しか植林は行われていない。

② 種の絶滅 ----- 2000年までに毎日100種ずつ種を失っていくと予想。

↓
 人口の増加が緩慢であれば、生態上の環境問題も減少

3. 人口増加への対応策

- (1) 自主性を基本とする人口抑制策
- (2) 個人の立場を尊重した家族計画の推進
(特に、婦人の地位向上が重要)
- (3) 国際協力の必要性

(参考) 先進諸国に押し寄せる高齢化の波

- (1) 世界人口の増加率は1970年頃から低下傾向。(先進諸国を中心に低下)
- (2) 先進諸国の人口増加率が低下した理由 ----- 婚姻率の減少、ピル解禁による避妊革命など。
- (3) 出生率の低下等によって、21世紀前半には、我が国を始め先進諸国は未曾有の「超高齢社会」を迎える。

主要地域及び先進諸国等の人口、老年人口比率、出生率の推移

地域・国	年央推計人口(単位:億人)						老年人口(65歳以上人口)比率(%)			合計特殊出生率
	1985年		2000年		2025年		1985年	2000年	2025年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比				
世界全域	48.37	100.0%	61.22	100.0%	82.06	100.0%	5.9	6.8	9.7	3.52(1980~85年)
先進地域	11.74	24.3	12.77	20.9	13.96	17.0	11.2	13.3	17.4	1.97(1980~85年)
発展途上地域	36.63	75.7	48.45	79.1	68.09	83.0	4.2	5.1	8.2	4.06(1980~85年)
日本	1.21	2.5	1.31	2.1	1.35	1.6	10.3	16.3	23.4	1.76(1985年)
アメリカ合衆国	2.39	4.9	2.68	4.4	3.12	3.8	12.0	12.0	17.2	1.83(1982年)
イギリス	0.57	1.2	0.56	0.9	0.56	0.7	15.1	15.3	18.7	1.77(1984年)
西ドイツ	0.61	1.3	0.59	1.0	0.53	0.7	14.7	16.7	22.5	1.29(1984年)
フランス	0.55	1.1	0.57	0.9	0.58	0.7	12.8	14.7	19.3	1.81(1984年)
スウェーデン	0.08	0.2	0.08	0.1	0.08	0.1	17.4	17.2	22.2	1.65(1984年)
スイス	0.06	0.1	0.06	0.1	0.06	0.1	14.0	16.7	23.8	1.52(1984年)
中国	10.60	21.9	12.56	20.5	14.75	18.0	5.3	7.2	12.9	2.36(1980~85年)
インド	7.59	15.7	9.64	15.7	12.29	15.0	4.3	5.6	9.7	4.30(1980~85年)
ソビエト連邦	2.79	5.8	3.15	5.1	3.68	4.5	9.3	11.9	14.8	2.35(1980~85年)
ナイジェリア	0.95	2.0	1.62	2.6	3.38	4.1	2.4	2.4	2.9	7.10(1980~85年)
インドネシア	1.66	3.4	2.11	3.5	2.73	3.3	3.5	5.0	9.7	4.10(1980~85年)
ブラジル	1.36	2.8	1.79	2.9	2.46	3.0	4.3	5.4	9.3	3.81(1980~85年)

資料 2

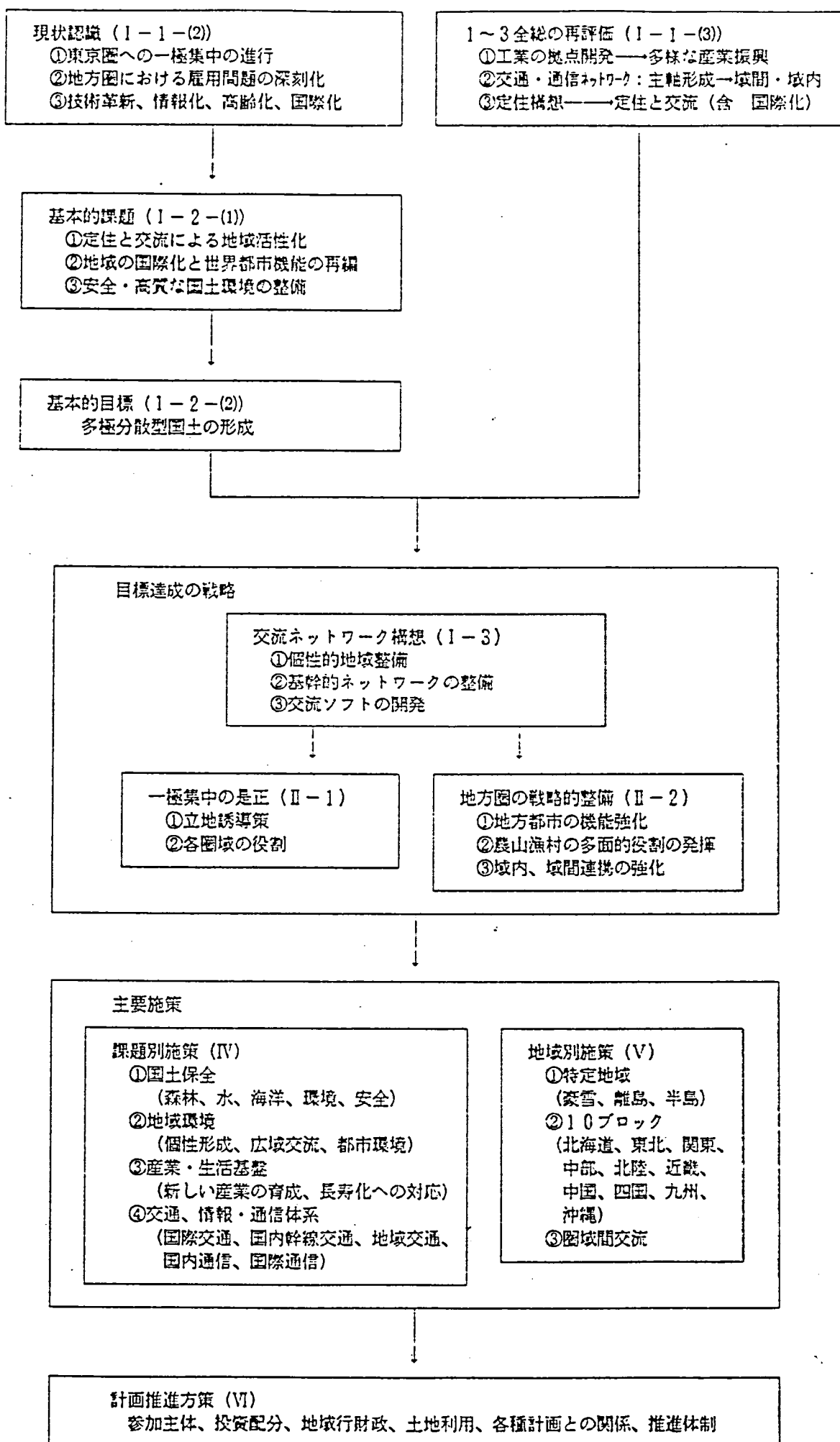
第四次全国総合開発計画について

参考図表

国土庁計画・調整局

計画官 野村 誠

第1図 四全総の政策体系



第2表 第1次～第4次 全国総合開発計画 対照表

	全国総合開発計画	新全国総合開発計画	第三次全国総合開発計画	第四次全国総合開発計画
1. 策定期期	昭和三十七年十月五日閣議決定（池田内閣）	昭和三十四年五月三十日閣議決定（佐藤内閣）	昭和三十二年十一月四日閣議決定（福田内閣）	昭和三十二年六月三十日閣議決定（中曾根内閣）
2. 期間及び目標年次	昭和三十七年～昭和三十九年	昭和三十四年～昭和三十九年	昭和三十二年～昭和三十九年 昭和三十九年を昭和三十五年とし、昭和三十五年を昭和三十二年として作業	昭和三十二年～昭和三十九年（西暦二〇〇〇年）を目標年次
3. 方針	1. 低成長から高成長経済への移行 2. 地域的課題の顕在化 (1) 過大都市問題 (2) 地域間の所得格差の拡大 3. 所得倍増計画の策定 （太平洋ベルト地帯構想）	1. 高成長経済 2. 人口、産業の大都市集中 3. 地域所得格差 4. 資源の有効利用の促進	1. 安定成長経済 2. 人口の地方定着、産業の地方分散の兆し 3. 地域の総合的格差 4. 資源制約の顕在化 5. 国民意識の変化	1. 中成長経済 2. 東京圏への高次機能の一極集中と人口の再集中 3. 急速な産業構造の転換と地方圏における経済の停滞 4. 高齢化、国際化、技術革新、情報化等の進展
4. 基本的目標	地域間の均衡ある発展 (1) 都市の過大化の防止と地域格差の縮小 (2) 自然資源の有効利用 (3) 資本、労働、技術等の諸資源の適切な地域配分	豊かな環境の創造 (1) 長期にわたる人間と自然との調和、自然の恒久的保護、保存 (2) 開発の基礎条件整備による開発可能性の全国上への拡大、均質化 (3) 地域特性を活かした開発整備による国土利用の再編効率化 (4) 安全、快適、文化的環境条件の整備保全	人間居住の総合的環境の整備 (1) 限られた国土資源を前提とする (2) 地域特性、歴史的伝統的文化を尊重する (3) 人間と自然との調和をめざす	多極分散型国土の形成 (1) 定住と交流による地域の活性化 (2) 国際化と世界都市機能の再編成 (3) 安全で質の高い国土環境の整備
5. 開発方式	拠点開発構想 目標達成のため工業の分散を図ることが必要であり、東京等の既成大集積と関連させつつ開発拠点を配置し、交通通信施設によりこれを有機的に連絡させ、相互に影響させると同時に、周辺地域の特性を活かしながら連鎖反動的に開発を進め、地域間の均衡ある発展を実現する。	大規模プロジェクト構想 新幹線、高速道路等のネットワークを整備し、大規模プロジェクトを推進することにより、国土利用の偏在を是正し、過密過疎、地域格差を解消する。	定住構想 大都市への人口と産業の集中を抑制し、一方、地方を振興し、過密過疎問題に対処しながら、国土の利用の均衡を図りつつ、人間居住の総合的環境の形成を図る。	交流ネットワーク構想 交流の拡大による地域相互の分担と連携関係の深化を基本とする交流ネットワーク構想の推進により多極分散型国土の形成をめざす。
6. GNP水準	十年後のGNP 26兆円 （所得倍増計画）	昭和三十六年の GNPは 130兆円～150兆円	GNPは昭和三十六年に約 260兆円程度 昭和三十五年に約 330兆円程度	昭和三十五年の GNPはおおむね 500兆円程度
7. GNP成長率	7.8%	昭和三十四年GNP 30兆円をベースに130兆円～150兆円は、平均成長率7.6～8.4%と計算される	昭和三十五年代の成長率は68%程度、60年以降はそれよりも低い成長率となる	内需主導による低成長
8. 総人口（百万人）	昭和三十五年には昭和三十五年の1.09倍	昭和三十六年 1億2000万人～1億2500万人 （昭和三十年の約1.22～1.25倍）	昭和三十六年 1億2975万人（昭和三十年の1.11倍） 昭和三十五年 1億2827万人（昭和三十年の1.15倍）	昭和三十五年 1億3120万人（昭和三十年の1.08倍）

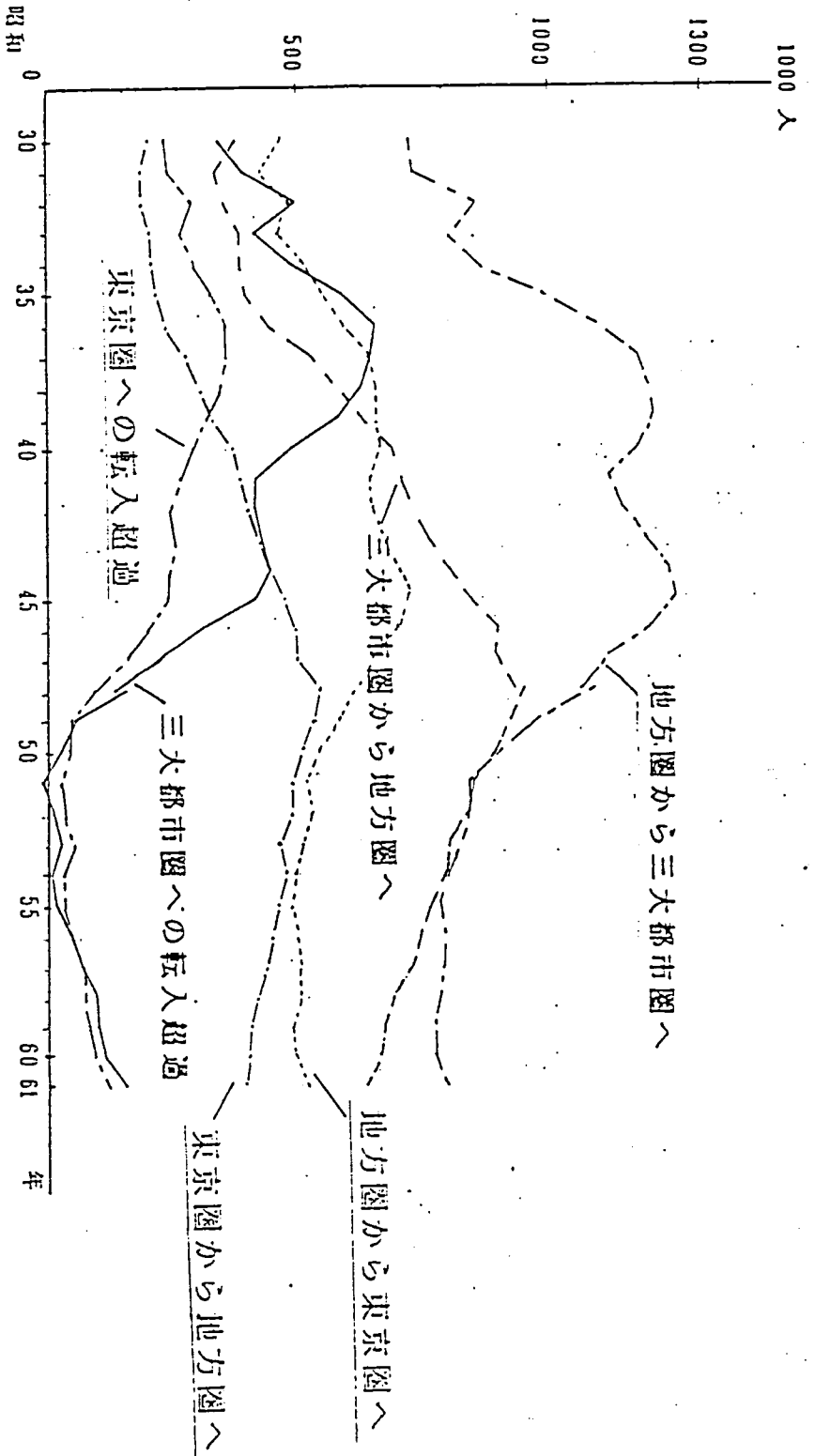
第3表 ブロック別人口 厚生省推計との比較

(単位；千人，%)

	昭和60年	昭和75年				
	実績	四全総 (1)	厚生省推計			
			閉鎖型 (2)	(1)-(2)	趨勢型 (3)	(1)-(3)
北海道	5,679 (4.7)	6,200 (4.7)	6,133 (4.7)	67	5,831 (4.4)	369
東北	12,209 (10.1)	13,100 (10.0)	13,040 (9.9)	60	12,304 (9.4)	796
関東	37,618 (31.1)	41,300 (31.5)	41,141 (31.4)	159	43,304 (33.0)	-2004
東京圏	30,273 (25.0)	33,100 (25.2)	33,167 (25.3)	-67	35,069 (26.7)	-1969
中部	19,031 (15.7)	20,600 (15.7)	20,772 (15.8)	-172	20,621 (15.7)	-21
北陸	3,088 (2.6)	3,300 (2.5)	3,291 (2.5)	9	3,230 (2.5)	70
近畿	20,081 (16.6)	21,800 (16.6)	21,716 (16.6)	84	21,532 (16.4)	268
中国	7,748 (6.4)	8,300 (6.3)	8,259 (6.3)	41	8,064 (6.1)	236
四国	4,227 (3.5)	4,400 (3.4)	4,437 (3.4)	-37	4,292 (3.3)	108
九州	13,276 (11.0)	14,300 (10.9)	14,275 (10.9)	25	13,838 (10.5)	462
沖縄	1,179 (1.0)	1,400 (1.0)	1,422 (1.1)	-22	1,407 (1.1)	-7
全国	121,049 (100.)	131,200 (100.)	131,192 (100.)	8	131,192 (100.)	8

(注) 厚生省75年推計値は、厚生省人口問題研究所「都道府県将来推計人口—昭和62年1月推計」
 閉鎖型は、推計期間中移動が全く起らない(純移動(流出入超過)率0)と仮定した場合の推計値
 趨勢型は、昭和55~60年の全国都道府県の純移動率が推計期間中変化しないと仮定した場合の推計値

第4図 三大都市圏への人口移動



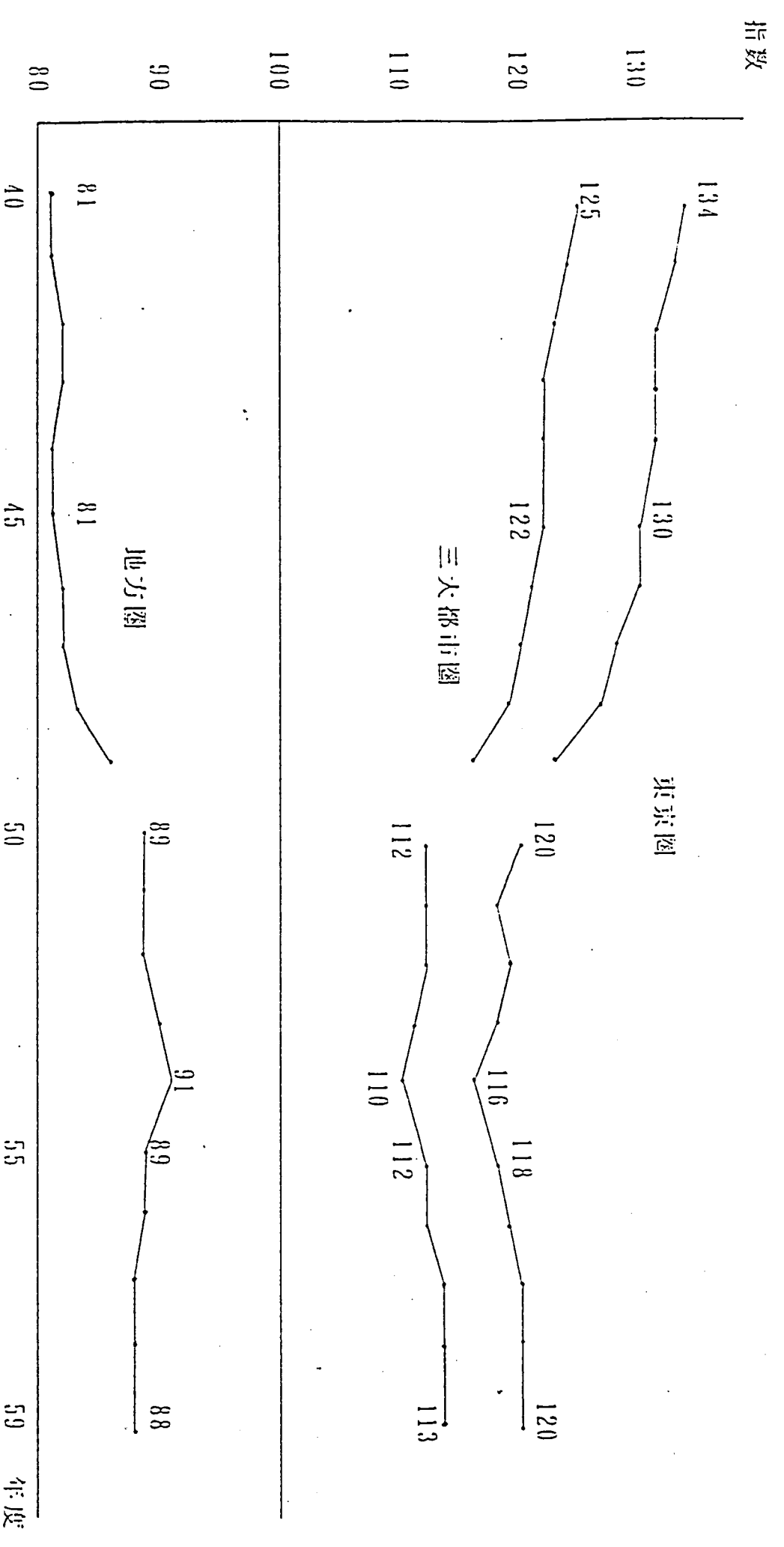
三大都市圏の転入超過数の内訳

	昭和50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東京圏	65.8	44.4	56.8	69.7	53.1	49.9	74.9	89.5	109.3	112.6	122.6	155.7
名古屋圏	△ 9.6	△ 11.8	△ 2.8	△ 3.4	△ 6.3	△ 2.6	△ 1.7	△ 1.9	△ 4.0	△ 2.3	6.9	11.0
関西圏	△ 35.2	△ 42.8	△ 44.9	△ 39.9	△ 40.9	△ 35.0	△ 27.7	△ 21.4	△ 12.8	△ 11.2	△ 18.9	△ 8.5
合計	21.1	△ 10.2	9.1	26.4	6.0	12.3	45.5	66.1	92.5	99.1	110.6	158.2

(単位：千人)

- (注) 1. 建設庁統計局「住民基本台帳人口移動報告」による。
 2. ここで三大都市圏とは、① 東京圏……埼玉、千葉、東京の3県、神奈川の1部3県、三重の3県、奈良の2府2県をとっている。
 ② 名古屋圏……岐阜、愛知、三重、大阪、兵庫、奈良の2府2県をとっている。
 ③ 関西圏……京都、大阪、兵庫、奈良の2府2県をとっている。
 3. 圏別内訳は、3大都市圏間の移動を含む。
 4. 補填超過により、48年に転入超過がある。

第5図 一人当たり県民所得格差 (全国 = 100)



(注) 1. 40～49年度は経済企画庁「県民所得統計年報」。
 2. 50～59年度は経済企画庁「県民経済計算年報」。
 3. 推計基準変更のため49年度と50年度の値は接線しない。
 4. 地域区分は以下による。
 東京圏 …… 埼玉、千葉、東京、神奈川(1都3県)。岐阜。京都、大阪、兵庫、奈良(1都2府8県)。
 三大都市圏 …… 埼玉、千葉、東京、神奈川。愛知、三重、岐阜。京都、大阪、兵庫、奈良(1都2府8県)。
 地方圏 …… 三大都市圏以外の道県(1道35県)。

第6表 普通世帯数の推移

(単位：万世帯)

世帯類型	昭和45年	昭和60年	昭和75年
二人以上から成る世帯	2,416 (89)	3,009 (82)	3,400程度(81)
核家族世帯	1,719 (64)	2,280 (63)	2,580 * (61)
三世帯等世帯	548 (20)	610 (17)	680 * (16)
その他の世帯	149 (6)	119 (3)	140 * (3)
単身世帯	291 (11)	639 (18)	810 * (19)
うち65歳以上	40 (1)	115 (3)	170 * (4)
普通世帯計	2,707 (100)	3,648 (100)	4,210 * (100)
普通世帯の平均世帯人員	3.69人	3.22人	3.05人*

- (注) 1. 昭和45年の値には、復帰前の沖縄県を含む。
 2. 三世帯等世帯とは夫婦とその(両)親を含む世帯をいう。
 3. その他の世帯は国勢調査の
 夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯、
 夫婦、子供と他の親族(親を含まない)から成る世帯、
 兄弟姉妹のみから成る世帯、
 他に分類されない親族世帯、
 非親族世帯、
 をいう。
 4. ()内は構成比、単位：％
 5. 実績値は総務庁統計局「国勢調査」による。
 昭和75年値は国土庁計画・調整局推計による。

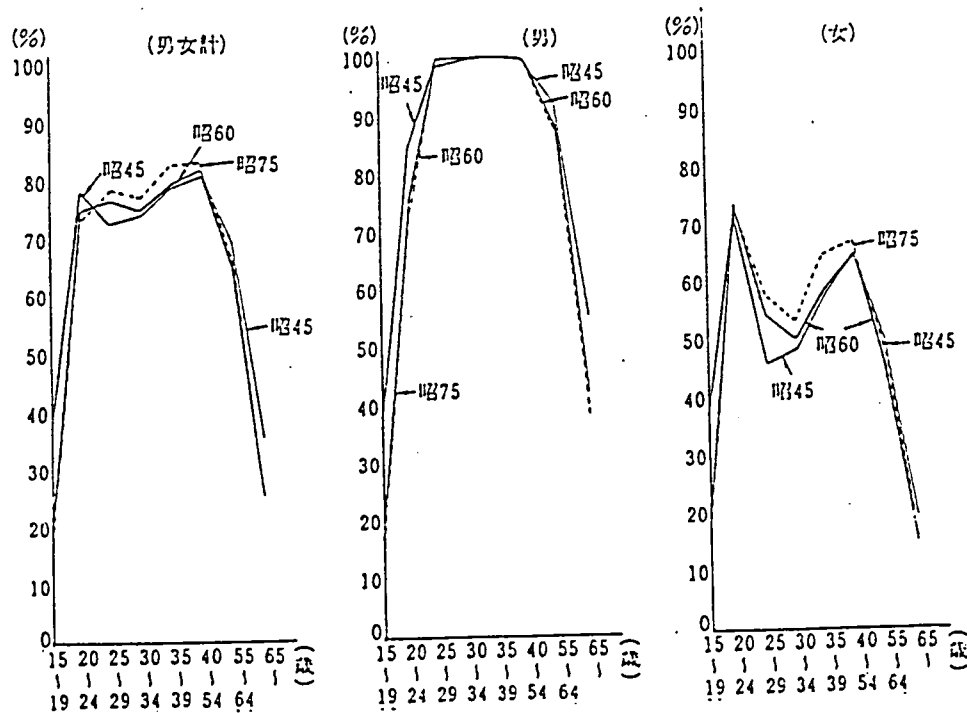
第7表 労働力人口の推移

(単位：万人)

	昭和45年	昭和60年	昭和75年
全 国	5,332 (100)	6,027 (100)	6,650程度(100)
年齢構成			
15～24歳	1,159 (22)	775 (13)	730程度(11)
25～64歳	3,915 (73)	4,932 (82)	5,390 * (81)
65～	258 (5)	321 (5)	530 * (8)

- (注) 1. ()内は構成比、単位：％
 2. 実績値は総務庁統計局「国勢調査」による。
 3. 75年値は厚生省人口問題研究所による。

第8図 労働力率の推移



- (注) 実績値は総務庁統計局「国勢調査」による。
 昭和75年値は国土庁計画・調整局推計による。

第9表 国民総生活時間の推移

(単位：個人・時間)

区分	昭和45年	昭和60年	昭和75年	75/60	(備考) 1人当たり時間 75/60
必需的時間	4,212	4,827	5,250程度	1.09	1.00
拘束的時間	3,197	3,479	3,390	0.97	0.92
労働時間	1,445	1,549	1,440	0.93	0.84
家事時間	889	1,021	1,080	1.06	0.95
自由時間	1,765	2,304	2,870	1.25	1.12
総生活時間	9,174	10,611	11,510	1.08	1.00

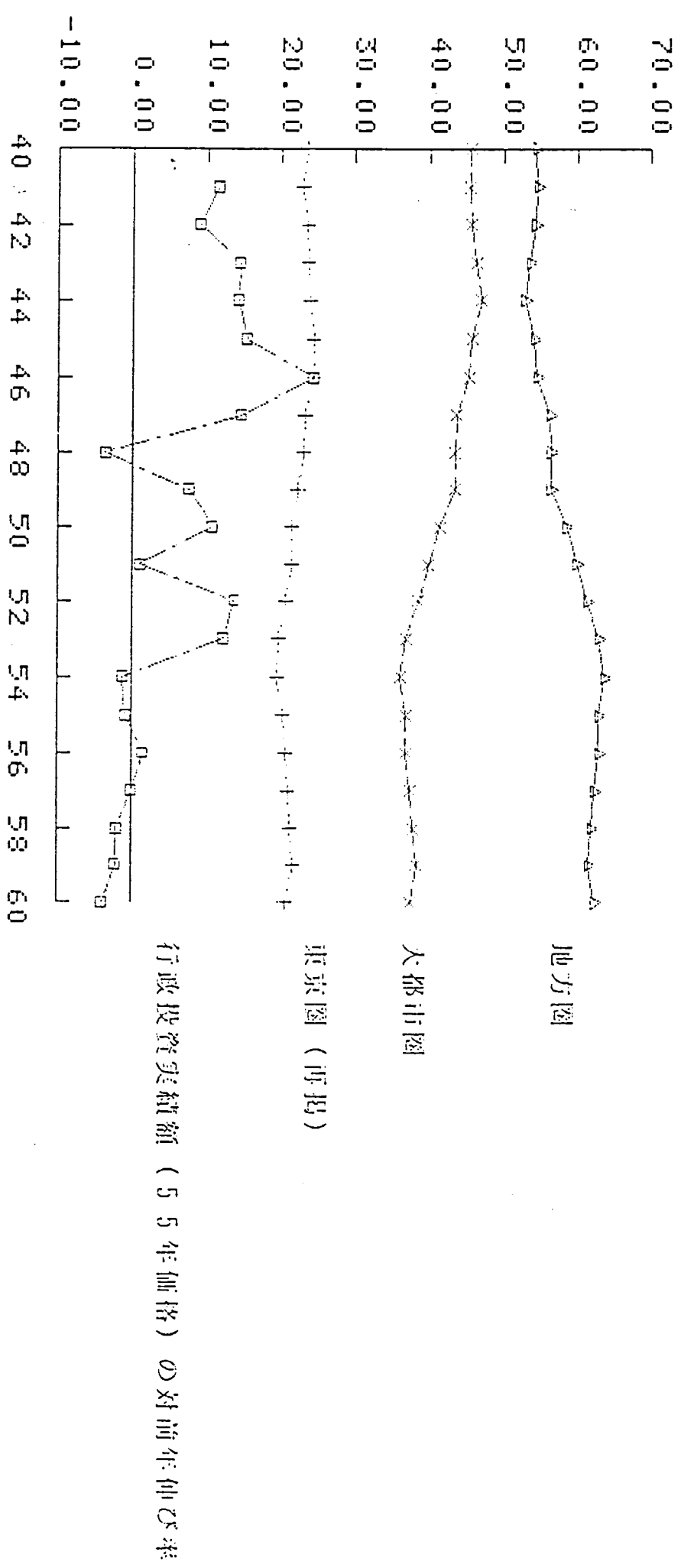
- (注) 1. 必需的時間とは、睡眠、食事及び身の回りの用事の合計時間。
 拘束的時間とは、労働、家事、通勤・通学及び授業等の合計時間。
 自由時間とは、生活時間の全体から必需的時間と拘束的時間を引いた残余の時間である。
2. 1人当たり時間は、人口の年齢構成の変化の影響を消去するため、各年齢ごとの時間を単純平均している。
3. 実績はNHK生活時間調査による。
 昭和75年値は国土庁計画・調整局推計による。

第10表 人口集中地区人口等の推移

年	地区数	人口		面積		人口密度 (1km ² 当たり)
		(千人)	増加率 (%)	(km ²)	増加率 (%)	
昭和35年	891	40,830	—	3,865.2	—	10,563
昭和40年	1,002	47,261	15.8	4,604.9	19.1	10,263
昭和45年	1,156	55,997	17.5	6,444.1	39.0	8,690
昭和50年	1,257	63,823	14.0	8,275.4	28.4	7,712
昭和55年	1,320	69,935	9.6	10,014.7	21.0	6,983
昭和60年	1,368	73,344	4.9	10,570.7	5.6	6,938
昭和75年	—	85,000程度	—	—	—	—

- (注) 1. 昭和35年及び40年には沖縄県を含まない。
2. 人口集中地区とは、都市人口及び都市区域を明らかにするために設定されたもので、人口密度4,000人/km²の区域が果まって人口5,000人以上の区域を形成している地区をいう。
3. 実績値は総務庁統計局「国勢調査」による。
 昭和75年値は国土庁計画・調整局推計による。

第11図 地域別行政投資シェア及び対前年伸び率の変化



(注) シェアについては、自治省「地方自治便覧」による。
 対前年伸び率は、国土庁計画・調整局計画課推計

資料 3

わが国世帯数の将来推計(試算)

昭和60年～100年

(昭和62年10月推計)

I. まえがき

昨年 8月に「日本の将来推計人口（昭和61年 8月暫定推計）」、12月に「日本の将来推計人口（昭和61年12月推計）」を公表して以来、厚生省人口問題研究所ではこの新しい推計人口をベースにした全国世帯数の将来推計の準備を進めてきた。このたび推計の結果がまとまったので、ここに推計方法と推計結果の概要を報告する。

II. 推計方法の概要

1. 推計期間

推計期間は、昭和60年（1985年）10月 1日を出発点として、5年間隔で昭和 100年（2025年）までの40年間とした。

2. 推計結果の種類

推計の種類は以下の通りであり、仮定の違いによりケース1、ケース2、ケース3、ケース4の推計を行った。

- (1) 全国の（世帯主の男女・年齢・配偶関係別）一般世帯数。
- (2) 全国一般世帯数のうち核家族世帯（夫婦のみ、親と子供）、その他の親族世帯、非親族世帯、単身世帯の数。

3. 推計方法の概略

本世帯数推計では、一般世帯数の推計に際して世帯主率法（headship rate method）を用いた。世帯主率法とは、属性別人口中の世帯主の割合（世帯主率）を推計し、これを属性別の将来推計人口に乗じて世帯数を求める方法である。本推計では属性別人口として男女・年齢・配偶関係別人口を用いた。

本推計の手順は図1の通りである。

- (1) 世帯数推計の基礎となる将来推計人口としては、厚生省人口問題研究所の「日本の将来推計人口（昭和61年12月推計）中位推計値」を用いた。
- (2) まず、男女年齢 5歳階級別、配偶関係別人口構成割合の推計を行う。
- (3) 将来推計人口に、(2) で推計された男女年齢 5歳階級別、配偶関係別人口構成割合を乗ずることにより、将来の男女年齢 5歳階級別、配偶関係別人口が推計される。
- (4) ついで、世帯主の男女年齢 5歳階級別、配偶関係別一般世帯主率の推計を行う。
- (5) 男女年齢 5歳階級別、配偶関係別人口に、(4) で推計された世帯主率を乗ずることにより、世帯主の男女年齢 5歳階級別、配偶関係別一般世帯数が推計される。
- (6) さらに世帯主の年齢 5歳階級別、家族類型別世帯構成割合の推計を行う。
- (7) 世帯主の年齢別一般世帯数に、(6) で推計された家族類型別構成割合を乗ずることにより、世帯主の年齢別、家族類型別一般世帯数が推計される。

4. 配偶関係別人口の推計方法

配偶関係別人口については、（5歳階級別の）出生コーホート毎に、過去の男女年齢別・配偶関係別人口構成と最近の年齢別初婚率、離婚率、死別率、再婚率に基づいてモデル配偶関係構造表を作成し、これを用いて将来の男女・年齢別配偶関係別人口を推定する方法をとった。

具体的手順は以下の通りである。

- (1) 出生コーホート毎に、男女・年齢別初婚率の推移を検討し、最近のデータを用いて、将来の男女別モデル初婚率表を作成する。
- (2) 男女・年齢別離婚率の推移を検討し、最近のデータを用いて出生コーホート毎に男女別モデル離婚率表を作成する。
- (3) （厚生省人口問題研究所「日本の将来推計人口（昭和61年12月推計）」による）将来生命表を用いて、出生コーホート毎に男女別モデル死別率表を作成する。
- (4) （死別と離別に分けたうえで）男女・年齢別再婚率の推移を検討し、最近のデータを用いて出生コーホート毎に男女別モデル再婚率表を作成する。
- (5) 以上のモデル初婚率表、離婚率表、死別率表、再婚率表を用いて、コーホート毎に、15歳時に100,000人の未婚人口が加齢とともにどのような配偶関係別人口を呈するようになるかを示すモデル配偶関係構造表を男女別に作成する。
- (6) 出生コーホート毎に、男女年齢別、配偶関係別割合の実績値と(1)～(5)で作成されたモデル配偶関係構造表とを用いて、将来の男女年齢別、配偶関係別人口構成を補外推計する。
- (7) コーホート法により作成された男女年齢別、配偶関係別構造を年次別に合成し、配偶関係別構造の年齢別パターンを調整する。
- (8) (7)で推計された男女年齢別、配偶関係別構造を男女・年齢別将来推計人口（厚生省人口問題研究所「日本の将来推計人口（昭和61年12月推計）」）に乗じて、男女・年齢・配偶関係別人口を推計する。
- (9) 最後に、年次別に男女の有配偶人口の総数が一致するよう全体を調整する。

推計の結果は、男子については、今後中高年の未婚者割合ならびに全般的な離別者割合が上昇し、中高年の有配偶者割合ならびに老年の死別者割合が低下すること、女子については、中高年の死別者割合が低下する反面、中高年の離別者割合ならびに有配偶者割合が上昇することを示した（図2、表1）。

5. 世帯主率の推計方法

将来の一般世帯についての男女・年齢・配偶関係別世帯主率を以下の四通りの方法で求め、各々をケース1、ケース2、ケース3、ケース4の仮定として設定した。

(1) ケース1の仮定

戦後の世帯の動向をみると、東京都の平均世帯人員は全国で最も小さく、単独世帯率は全国で最も高い（参考表6、7）。また東京の男女・年齢・配偶関係別世帯主率を全国平均のそれと比べると、ほぼ例外なく東京の世帯主率が全国平均を上回る。さらに全国平均と東京の平均世帯人員の推移を比較すると、全国平均の平均世

帯人員が東京のそれを後追いする型で進んでいることが分かる。これは核家族化率、単独世帯率についても当てはまる。

そこで、全国平均の男女年齢 5歳階級別、配偶関係別世帯主率が20年後の昭和80年に昭和60年の東京と同一の水準に達し、さらに20年後の昭和 100年には昭和60年の東京の世帯主率と全国のそれとの差の半分だけ変化し、さらにその後の20年間では 4分の 1だけ変化すると仮定し、昭和60年以降を曲線当てはめにより補間することによって、昭和65年～ 100年の 5年毎の世帯主率を決めた。

(2) ケース2の仮定

東京の単独世帯主率は他県に抜きんでて高いが、これは他県からの就学人口と若年の就業人口が東京に集中しているため、東京を全国平均の先行モデルと考えるのはやや極端と考えられる。そこで、東京を含む大都市 4県（東京、神奈川、大阪、兵庫）の昭和60年における男女年齢 5歳階級別、配偶関係別世帯主率の平均値を求め、高位の場合と同様に全国平均が20年後の昭和80年にその平均値に達すると仮定する。さらに20年後の昭和 100年には昭和60年の大都市 4県の世帯主率と全国のそれとの差の半分だけ変化し、さらにその後の20年間では 4分の 1だけ変化すると仮定し、昭和60年以降を曲線当てはめにより補間することによって、昭和65年～ 100年の 5年毎の世帯主率を決めた（図 3、表 2）。

(3) ケース3の仮定

全国についての男女年齢 5歳階級別、配偶関係別世帯主率を時系列的に検討すると、昭和50年代以前と以後で趨勢に変化がみられる。とくに男女の未婚者の世帯主率の低下、男子中年有配偶者の世帯主率の低下がみられる。その背景としては、低成長経済の下で人口移動が沈静化しているうえに、長男長女時代を迎えて、三世同居がこれまでほどには減少しなくなったという事情が考えられる。

このような最近10年間の趨勢を踏まえ、昭和60年の男女年齢 5歳階級別、配偶関係別世帯主率が40年後の昭和 100年までに $\pm 10\%$ 以上変化しないという前提で、昭和50～60年の世帯主率に曲線を当てはめ、昭和65～100年の5年毎の世帯主率を決めた。

(4) ケース4の仮定

昭和60年の男女年齢 5歳階級別、配偶関係別世帯主率を今後一定とする。

6. 家族類型別配分係数の推計方法

本推計では一般世帯総数を以下の 5つの家族類型に分類した。

- ①夫婦のみの世帯
- ②親と子供の世帯（夫婦と未婚の子供の世帯、片親と未婚の子供の世帯を含む）
- ③その他の親族世帯（夫婦と〔子供と〕両親の世帯、夫婦と〔子供と〕片親の世帯、夫婦と〔子供と〕他の親族の世帯、などを含む）
- ④非親族世帯（非親族者を含む世帯）
- ⑤単独世帯（一戸を構える単身者、間借り・下宿などの単身者、会社などの独身寮の単身者を含む）

そのうち、①～③を親族世帯、①～②を核家族世帯と呼ぶ。

将来の一般世帯数の家族類型別構成割合は、世帯主率の四通りの推計（ケース1、ケース2、ケース3、ケース4）に対応して以下のように設定した。

(1) 世帯主率ケース1の場合

全国の世帯主の年齢別、家族類型別一般世帯構成割合が、20年後の昭和80年に、昭和60年の東京のそれと同一になると仮定し、曲線当てはめによって、昭和65～100年の5年毎の構成割合を求めた（参考表4）。

(2) 世帯主率ケース2の場合

全国の世帯主の年齢別、家族類型別一般世帯構成割合が、20年後の昭和80年に、昭和60年の東京を含む大都市4県（東京、神奈川、大阪、兵庫）の構成割合に達すると仮定し、曲線当てはめによって昭和65～100年の5年毎の構成割合を求めた（参考表5）。

(3) 世帯主率ケース3の場合

最近10年間の世帯主の年齢別、家族類型別一般世帯構成割合の推移に対して、40年後の昭和100年までに $\pm 10\%$ 以上の変化はないという前提で、曲線当てはめによって、昭和65～100年の5年毎の構成割合を求めた。

(4) 世帯主率ケース4の場合

昭和60年の世帯主の年齢別、家族類型別一般世帯構成割合を今後一定とする。

III. 推計結果

1. 一般世帯総数の見通し

わが国の世帯総数は、戦後総人口の伸びを大きく上回って増加を続け、昭和60年10月1日現在、3,800万世帯に達した（参考表1、2）。今回のケース2の推計によると、一般世帯総数は昭和75年（2000年）には4,700万世帯、昭和100年（2025年）には5,000万世帯に達する（図4、表3）。

一般世帯総数の今後の伸び率は総人口の伸びをかなり上回る。総人口は、昭和75年までに昭和60年の1.08倍、昭和100年までに1.11倍の増加が見込まれるのに対して、一般世帯総数は、昭和75年には昭和60年の1.24倍、昭和100年には1.32倍の増加となる（表3、表4）。

昭和60年から100年の一般世帯総数の伸びを人口学的要因分解法によって、(1) 男女年齢別人口の変化、(2) 男女年齢別、配偶関係別人口構造の変化、(3) 男女年齢別、配偶関係別世帯主率の変化の三つの要因に分解すると、人口変化による部分が67.6%、世帯主率変化による部分が46.7%、配偶関係変化による部分が-16.6%、残差が2.3%となる（参考表9）。換言すれば、今後の世帯数変化に対して、配偶関係の変化はむしろ若干伸びを抑える方向に働くのに対して、人口変化と世帯主率変化はほぼ6対4の割合で世帯数の伸びに寄与することが予想される。

ケース1の推計によれば、一般世帯数は昭和75年に5,000万世帯、昭和100年には5,600万世帯にまで大きく増加することになり、ケース3の推計によれば、昭和75年の4,400万世帯、昭和100年の4,500万世帯までの増加にとどまる(表6、表9)。

2. 平均世帯人員

わが国の平均世帯人員は戦後縮小の一途を辿り、昭和60年には3.14人となった(参考表2)。国際的に比較すると、わが国の平均世帯人員は現在カナダ、オーストラリアなどと並んで先進国中比較的高いグループに属する(参考表8)。

今回のケース2の推計によれば、平均世帯人員は今後も縮小を続け、昭和75年には2.75人、昭和100年には2.62人に達し、現在の米国並の水準になるものと見込まれる(図5、表4)。これは、今回の推計においては一般的に世帯主率の上昇を見込んだためである。

ケース1の推計では世帯主率の上昇を一層大きく見込んだため、平均世帯人員は昭和75年の2.60人、昭和100年の2.36人まで大きく低下するが、ケース3の推計では世帯主率の変化が小幅なため、昭和75年の2.92人、昭和100年の2.90人までしか低下しない(表7、表10)。

3. 単独世帯数の見通し

単独世帯数は昭和60年現在、790万世帯、世帯総数の20.8%を占める。今回のケース2の推計によると、単独世帯数は今後一貫して増加を続け、昭和75年に1,150万世帯、昭和100年には1,360万世帯になる。世帯総数は、今後40年間で1.32倍となるのに対し、単独世帯数は実に1.73倍の伸びを示すことになる(図6、表3)。その結果、単独世帯数が世帯総数に占める割合は昭和75年には24.4%、昭和100年には26.4%に達する。

ケース1の推計によれば、単独世帯数は昭和75年の1,400万世帯、昭和100年の1,810万世帯まで増加するのに対し、ケース3の推計では昭和75年の1,010万世帯、昭和100年の1,160万世帯までの増加にとどまる。(表6、表9)。

4. 核家族世帯数の見通し

「夫婦のみの世帯」と「親と子供の世帯」を加えたものを核家族世帯と呼ぶ。核家族世帯数は、戦後大きく増加し、一般世帯総数に占める割合も徐々に上昇してきた。しかしながら、昭和55年から60年にかけては伸びが鈍く、一般世帯総数に占める割合はわずかながら低下した(参考表1)。昭和60年の核家族世帯数は2,280万世帯、世帯総数の60.0%を占める。

今回のケース2の推計によると、核家族世帯数は昭和90年の3,070万世帯まで増加を続けるが、その後は減少に向かい、昭和100年には3,050万世帯となる(図7、表3)。今後の核家族世帯数の増加率は世帯総数のそれとあまり変わらないため、世帯総数に占める割合は今後それほど大きく変化しない。

ケース1の推計によれば、核家族世帯数は、今後一貫して増え続け、昭和100年には3,190万世帯となるが、世帯総数に占める割合は57.3%まで低下する。ケース3の推計によれば、核家族世帯数は、昭和80年の2,560万世帯まで増加した後減少に向かい、昭和100年には2,430万世帯、世帯総数に占める割合も54.4%まで低下する(表6、表9)。

5. 核家族（世帯）化の見通し

核家族（世帯）化を測る尺度のひとつとして、親族世帯数に占める核家族世帯数の割合が用いられる。この指標によると、わが国は戦後一貫して核家族化が進行してきたことになり、核家族化率は昭和60年現在76.0%である。

今回のケース2の推計によると核家族化率は今後も上昇を続け、昭和75年に80.8%、昭和100年には84.0%となる（図8）。

核家族化率はケース1の推計でもほぼ一貫して上昇を続け、昭和75年に81.6%、昭和100年に85.5%に達する。ケース3の推計では逆に今後一貫して低下を続け、昭和100年には73.6%となる。

6. 世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数の見通し

世帯主の年齢が65歳以上の一般世帯数（以下「65歳以上世帯数」と略称）は、人口の高齢化と核家族化とが相まって近年著しい伸びを示してきた（参考表3）。すなわち昭和50年から60までの10年間に世帯総数は1.13倍の伸びにとどまったのに対して、「65歳以上世帯数」は1.53倍の伸びを示した。

今回のケース2の推計によると、「65歳以上世帯数」は昭和60年の520万世帯から今後一貫して増え続け、昭和75年には960万世帯、昭和100年には1,400万世帯に達する（図9、表5）。

「65歳以上世帯数」の伸びは世帯総数の伸びを大きく上回る。世帯総数は昭和75年に昭和60年の1.24倍、昭和100年には1.32倍となるのに対して、「65歳以上世帯数」は昭和75年に昭和60年の1.84倍、昭和100年には2.68倍となる。その結果、「65歳以上世帯数」が世帯総数に占める割合は昭和60年の13.8%から、昭和75年の20.5%を経て、昭和100年には28.0%に達する。

ケース1の推計では65歳以上世帯数は昭和75年に1,050万、昭和100年には1,670万となる。ケース3の推計では、昭和75年に748万、昭和100年には1,240万となる（表8、表11）。

7. 世帯主の年齢65歳以上の夫婦世帯数ならびに単独世帯数の見通し

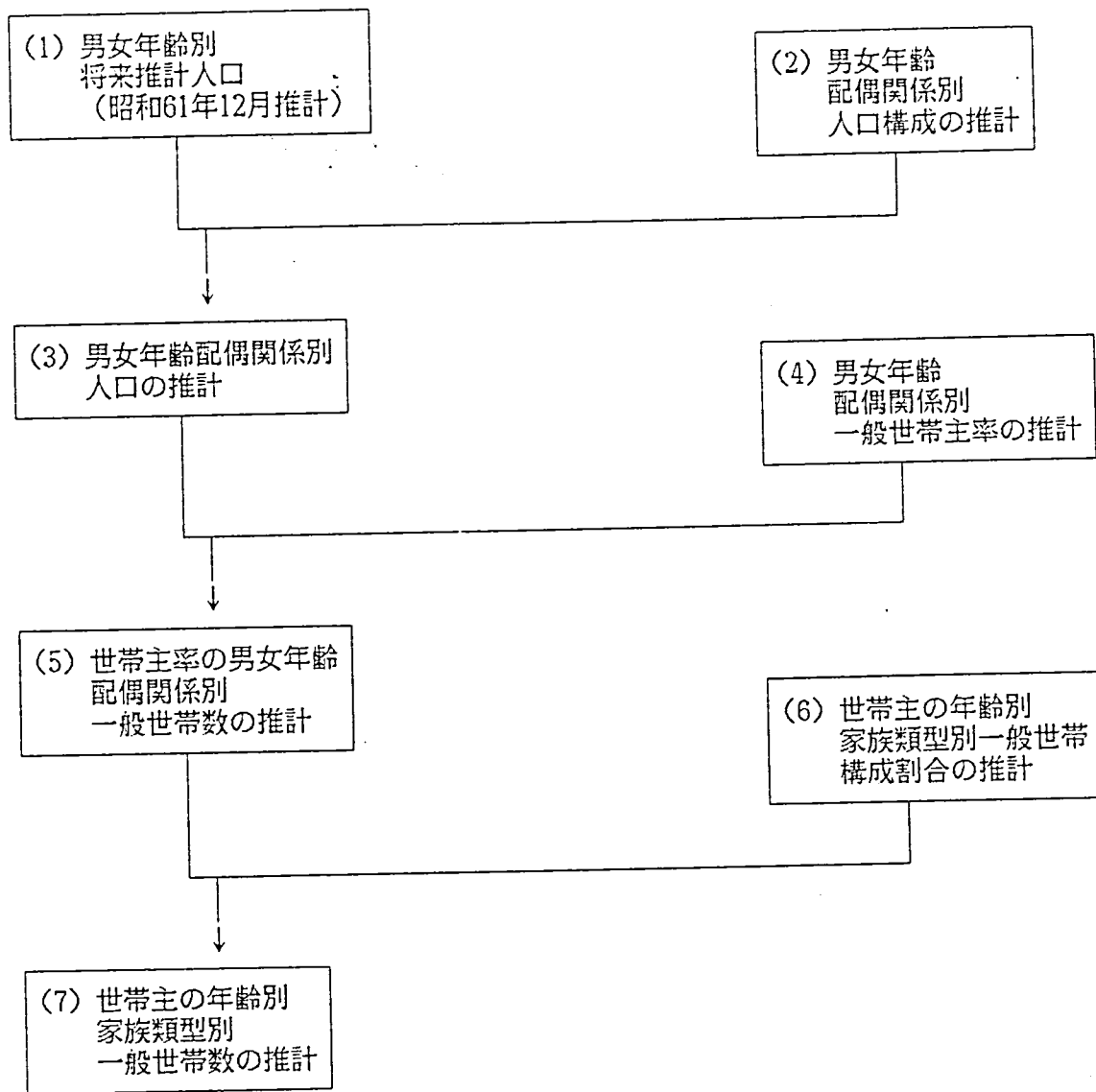
世帯主の年齢が65歳以上の夫婦世帯数ならびに単独世帯数（以下「65歳以上夫婦ならびに単独世帯数」と略称）は昭和50年から60年にかけてそれぞれ1.83倍、1.87倍の伸びを示した（参考表3）。

今回のケース2の推計によれば、「65歳以上夫婦ならびに単独世帯数」は昭和60年のそれぞれ160万世帯、120万世帯（合計280万世帯）からほぼ一貫して増加を続け、昭和75年にはそれぞれ310万世帯、240万世帯（合計550万世帯）、昭和100年にはそれぞれ460万世帯、380万世帯（合計840万世帯）となる（図10、表5）。

「65歳以上夫婦ならびに単独世帯数」は、昭和75年に昭和60年のそれぞれ1.95倍、2.01倍、昭和100年にはそれぞれ2.90倍、3.21倍となる。その結果、「65歳以上夫婦ならびに単独世帯数」が世帯総数に占める割合は昭和60年のそれぞれ4.2%、3.1%（合計7.3%）から、昭和75年のそれぞれ6.6%、5.1%（合計11.7%）を経て、昭和100年にはそれぞれ9.3%、7.6%（合計16.9%）に達する。

ケース1の推計では、「65歳以上夫婦ならびに単独世帯数」は、昭和75年にそれぞれ340万世帯、260万世帯（合計600万世帯）、昭和100年にはそれぞれ540万世帯、440万世帯（980万世帯）となる。ケース3の推計では、昭和75年にそれぞれ316万世帯、202万世帯（合計518万世帯）、昭和100年にはそれぞれ426万世帯、332万世帯（合計758万世帯）となる（表8、表11）。

図1. 世帯数推計のフローチャート



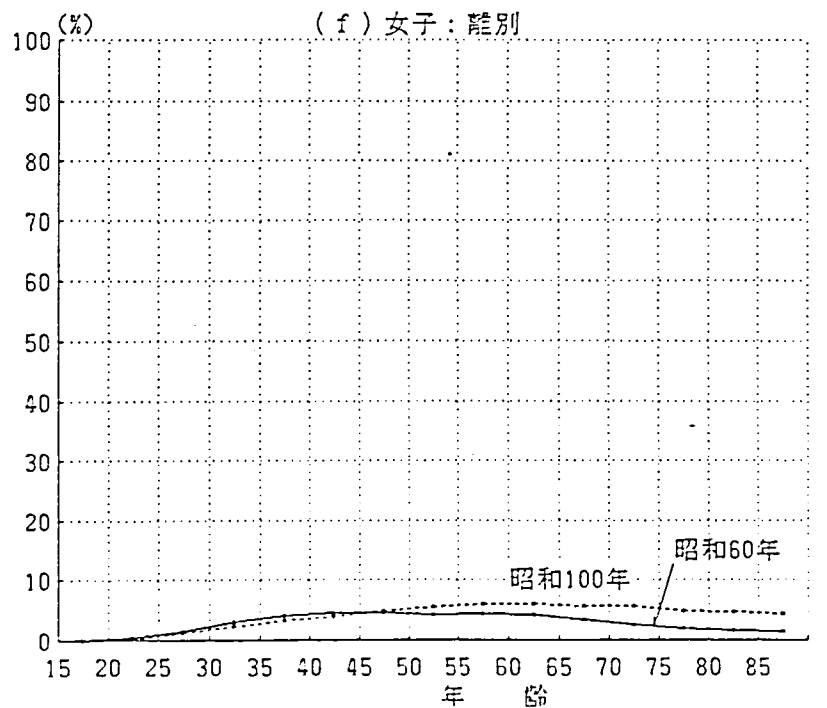
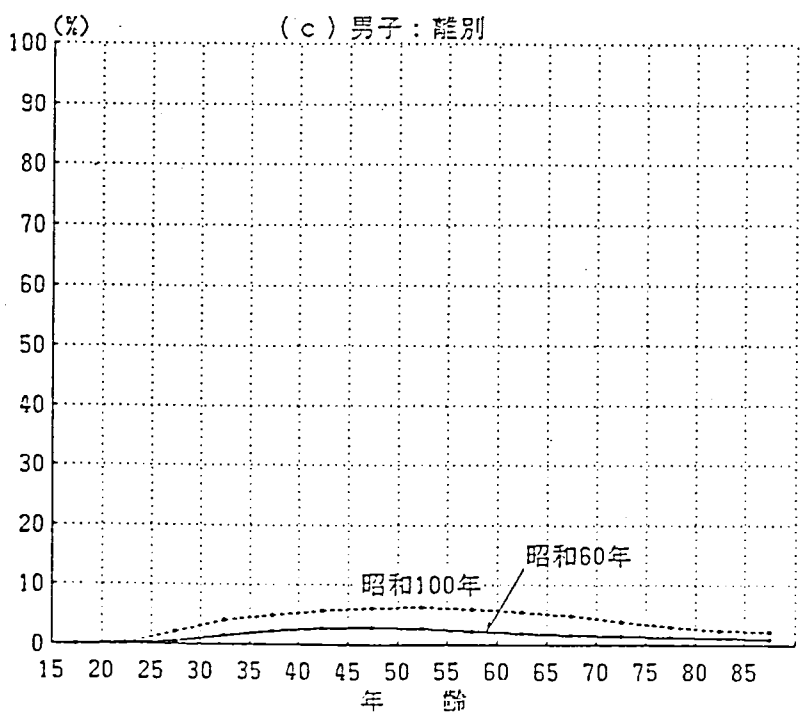
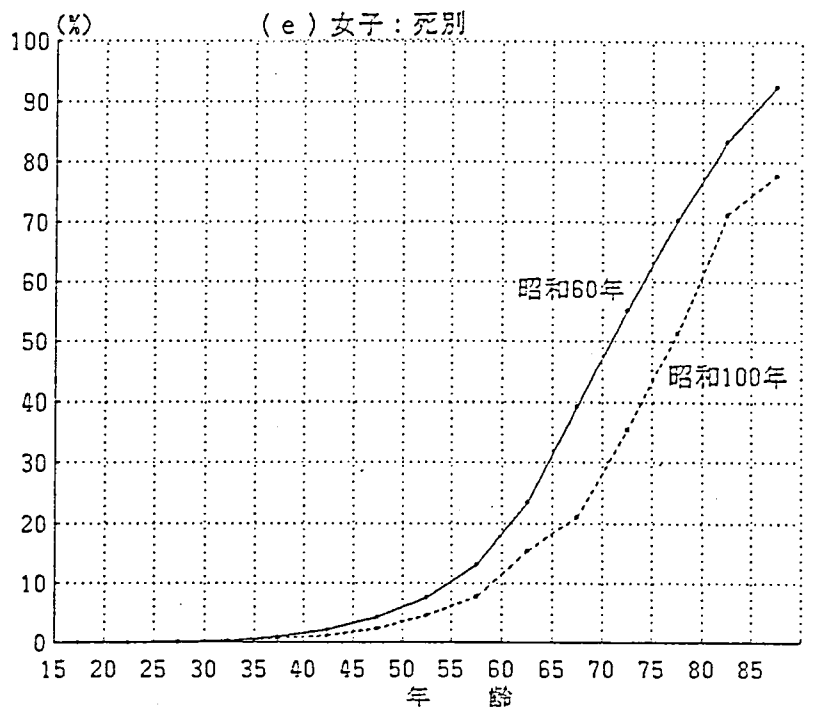
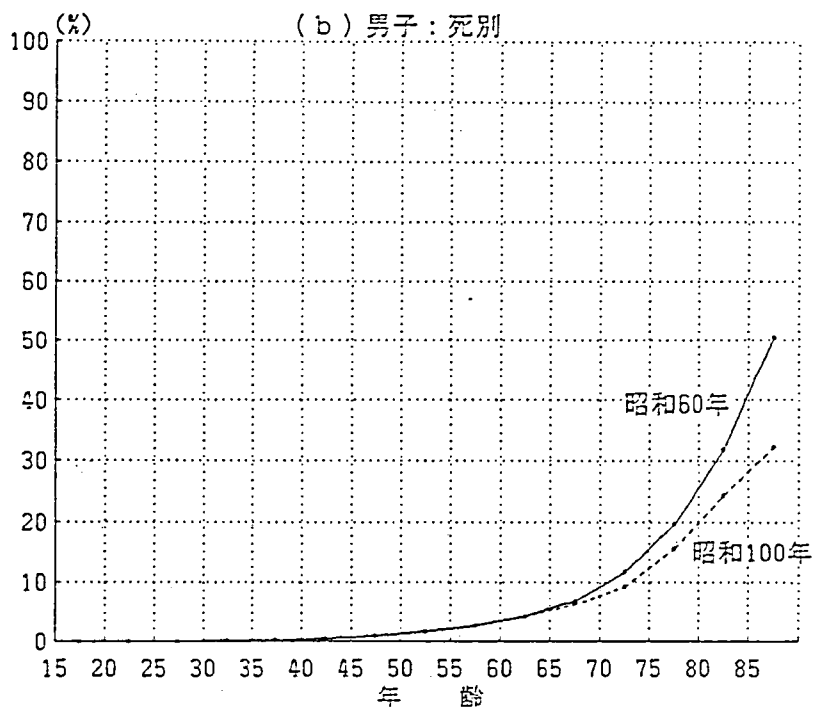
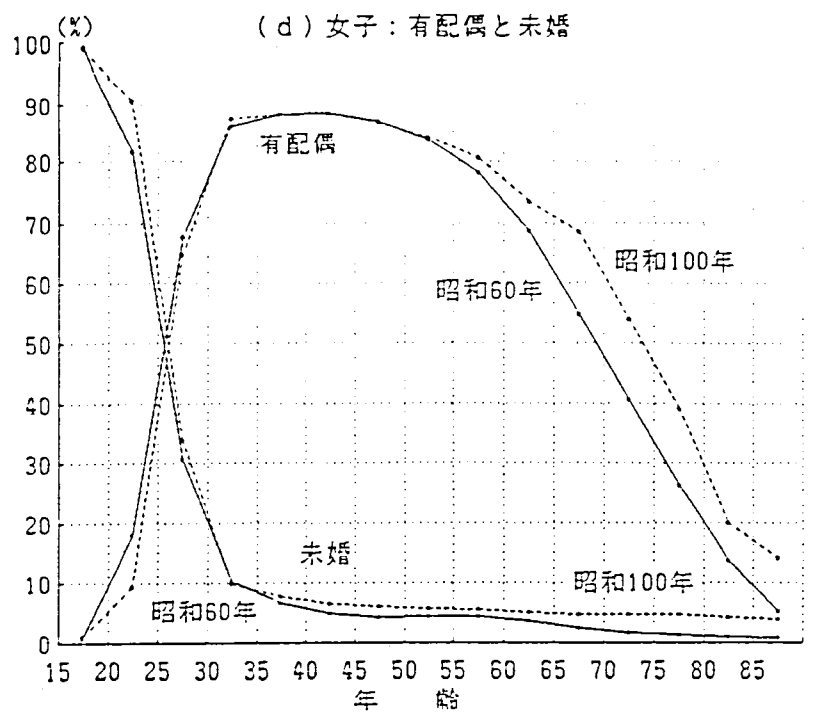
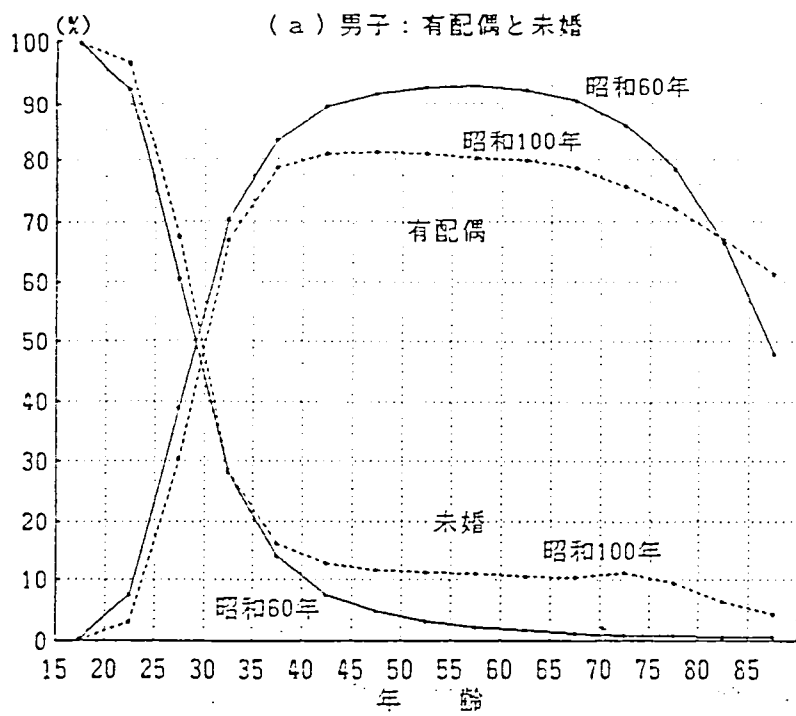
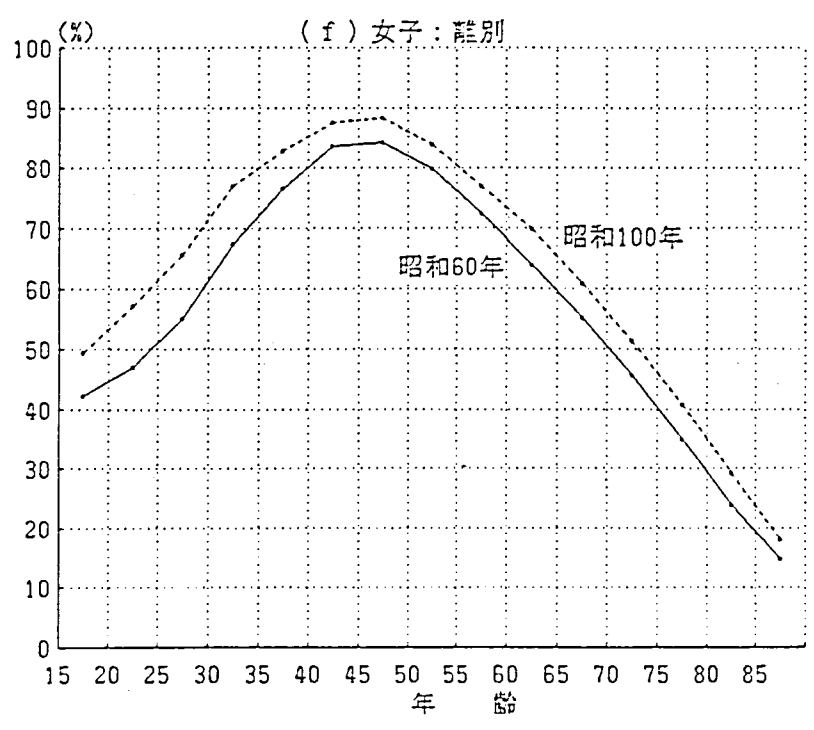
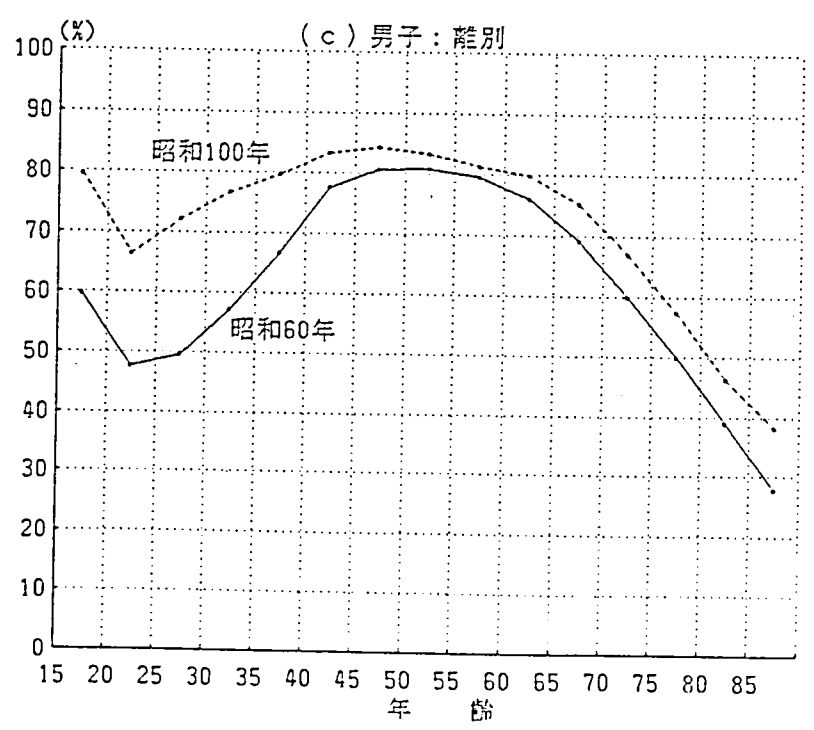
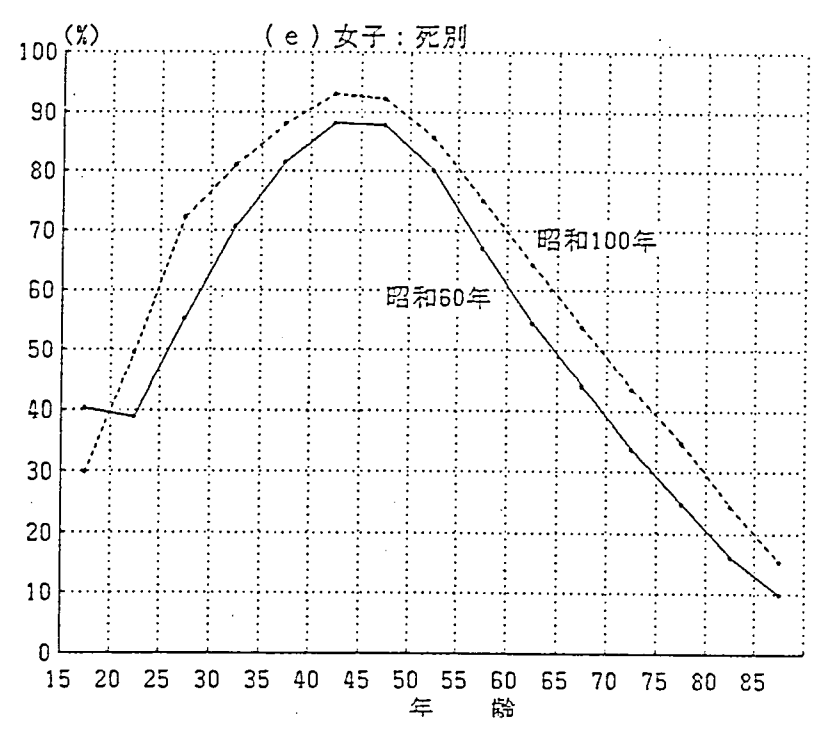
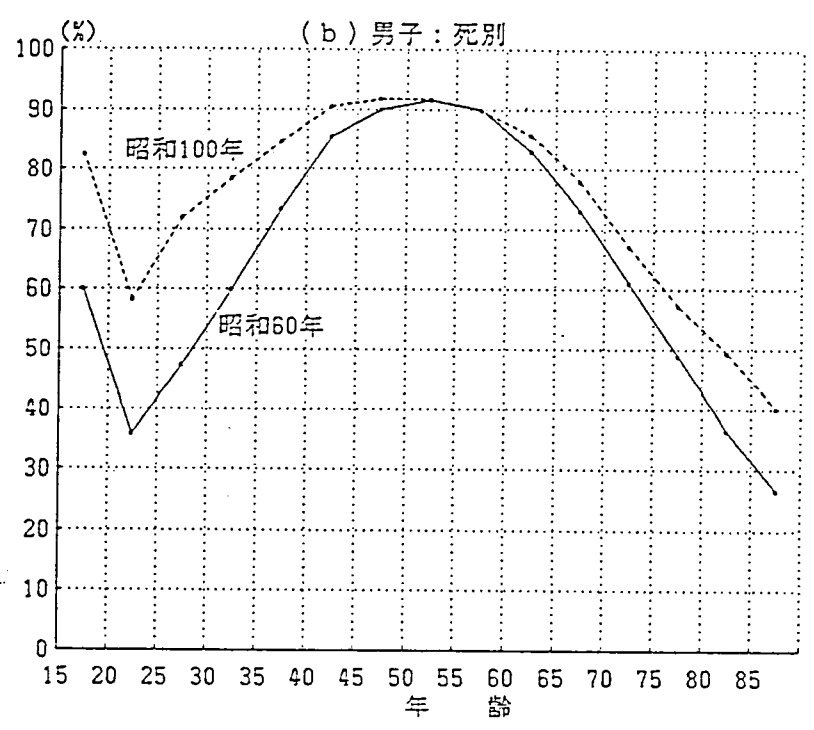
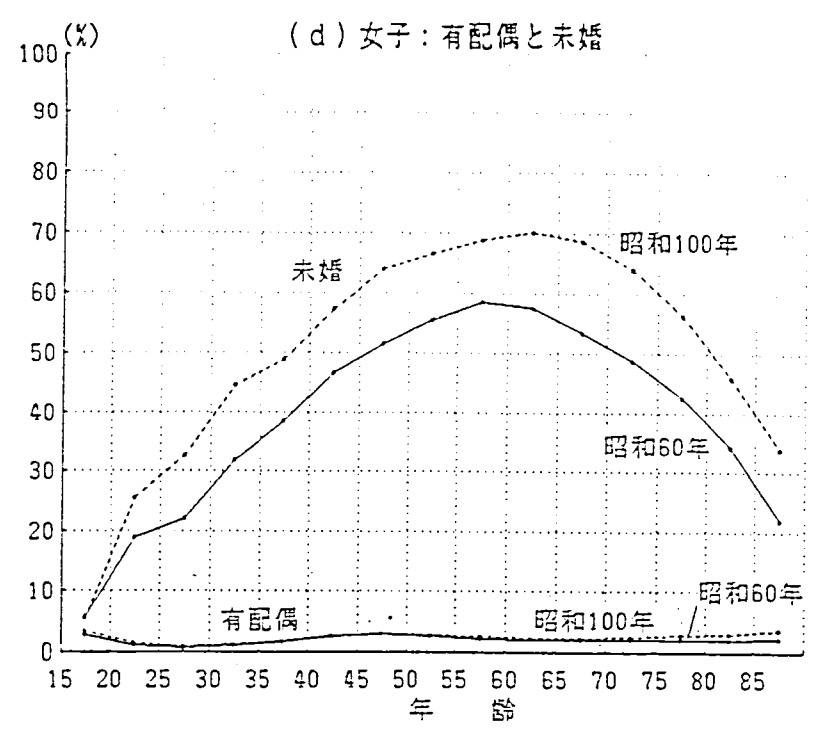
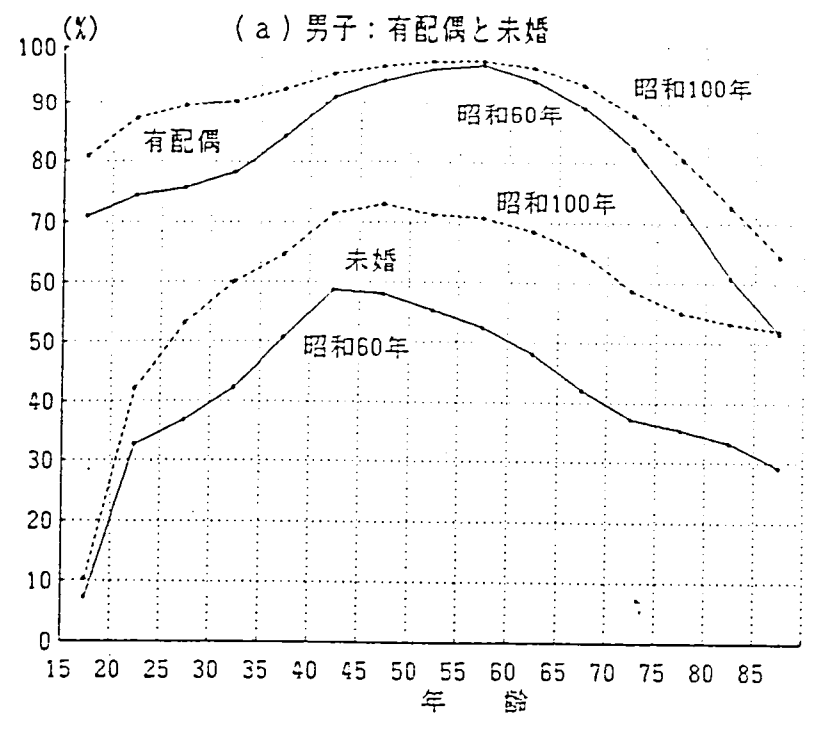
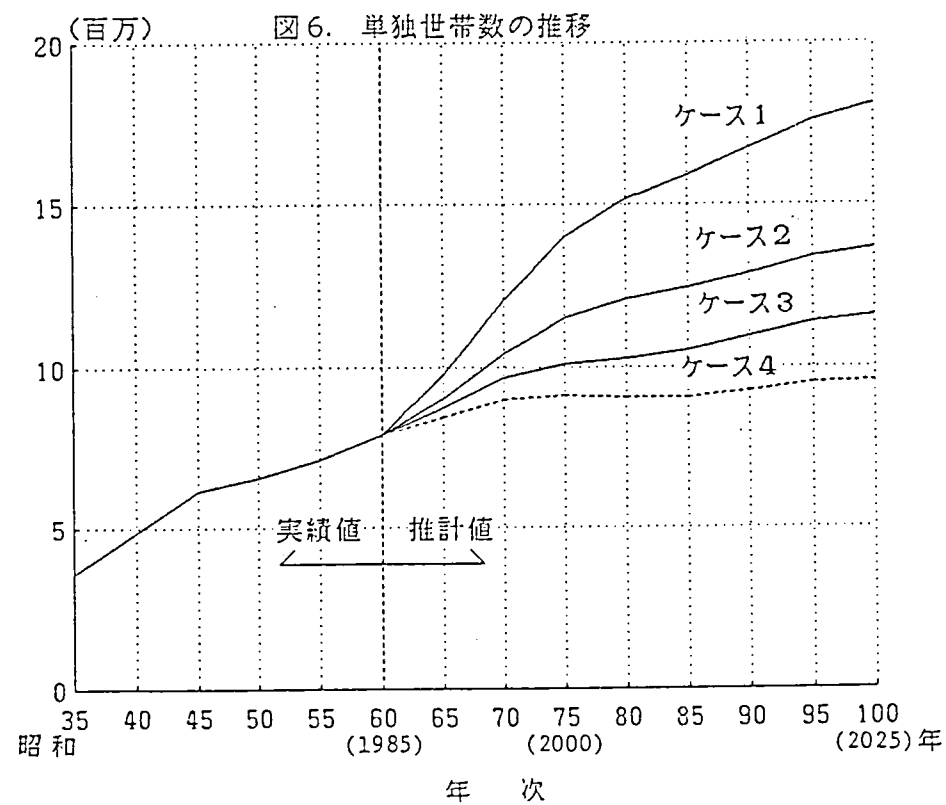
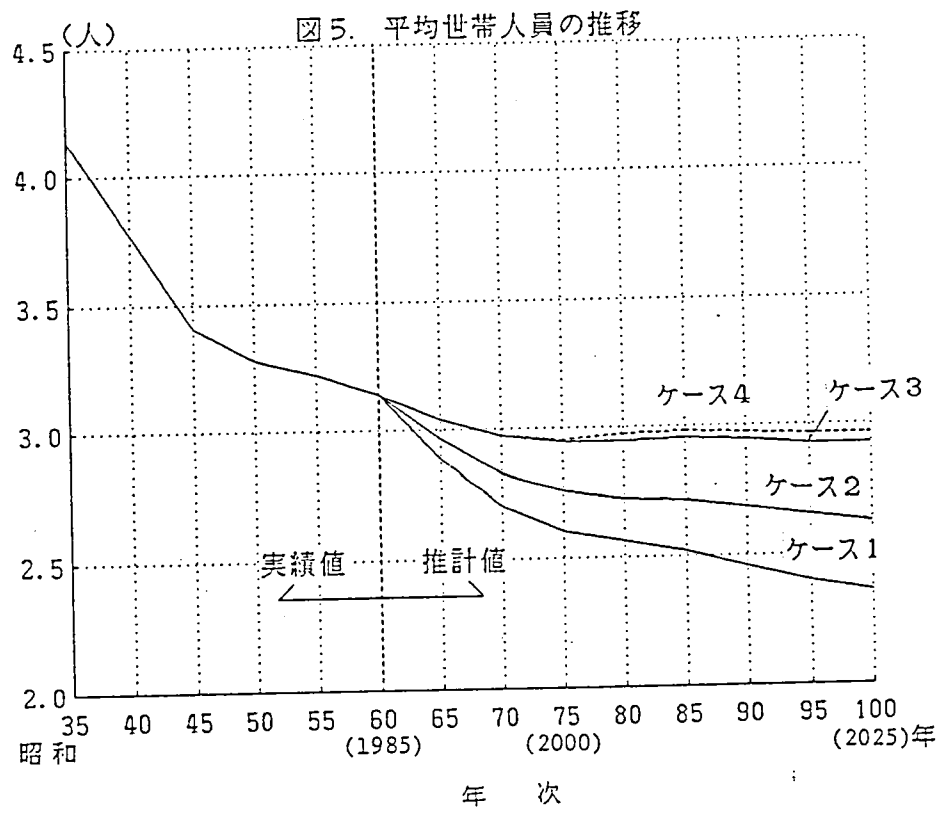
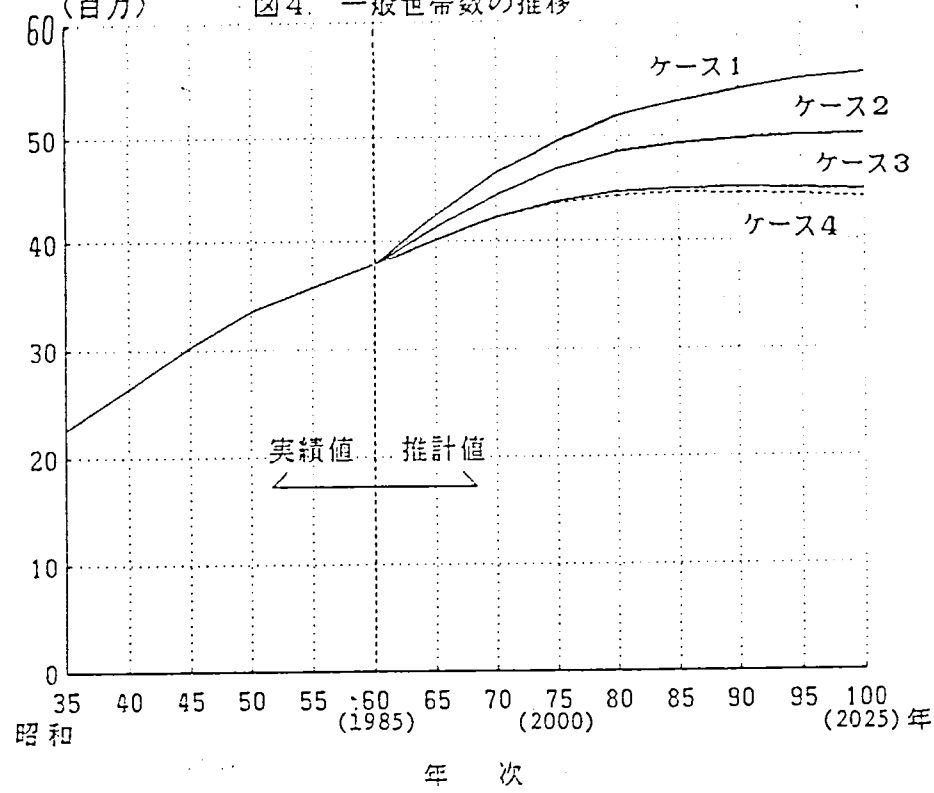
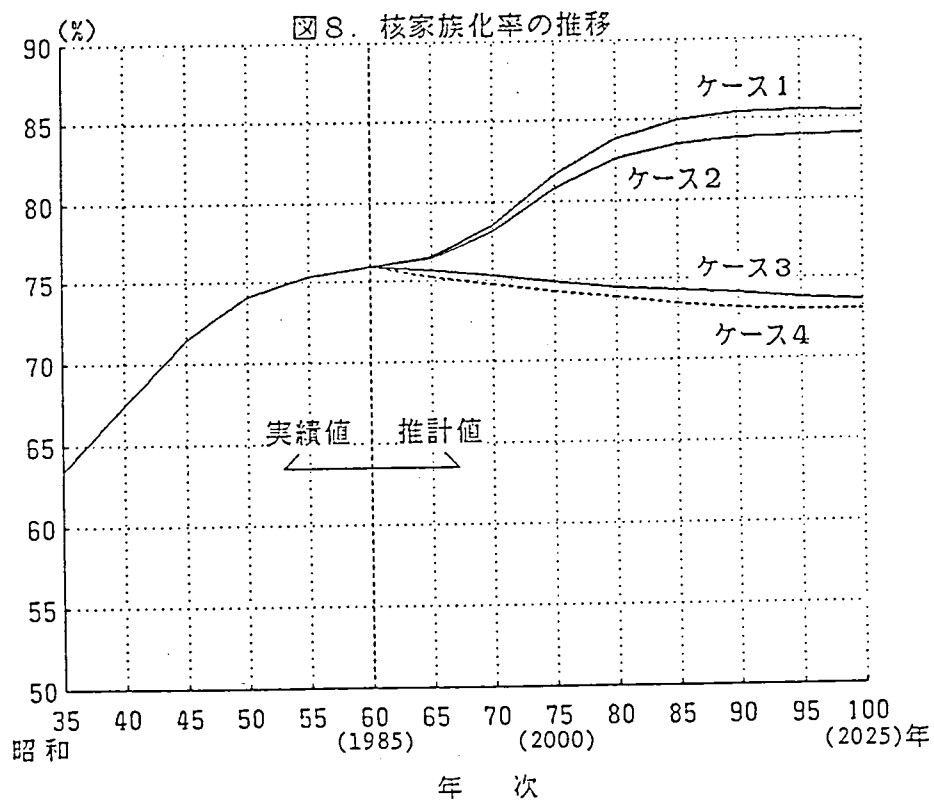
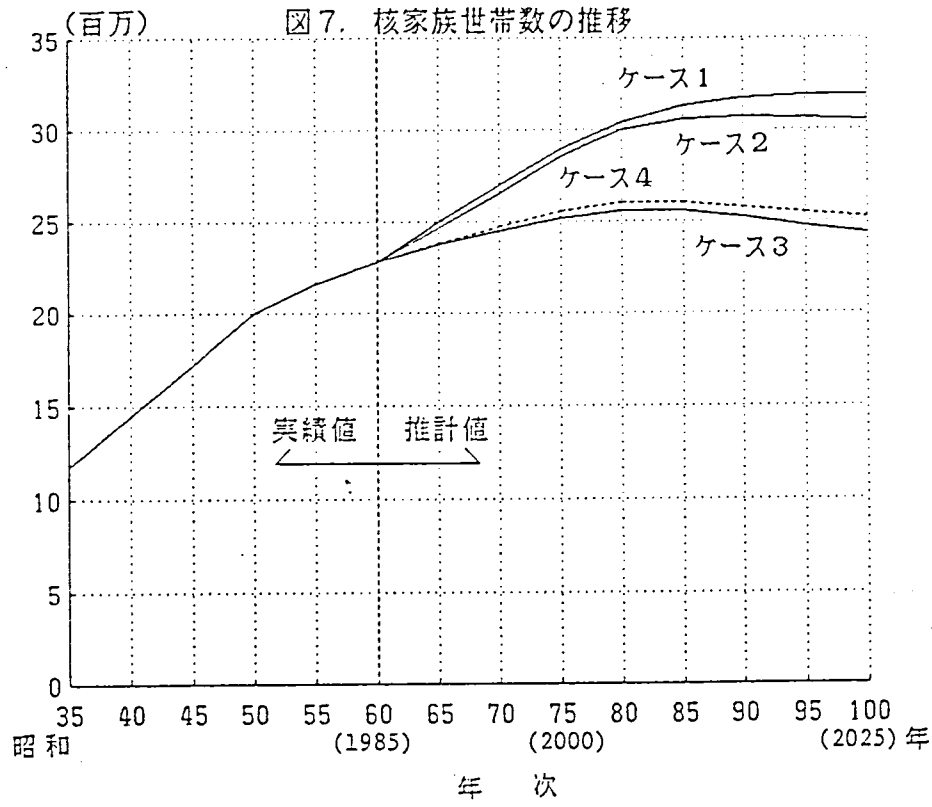


図3. 男女年齢別、配偶関係別世帯主率（ケース2）の推移







(注) 核家族化率 = (核家族世帯数 / 親族世帯数) × 100

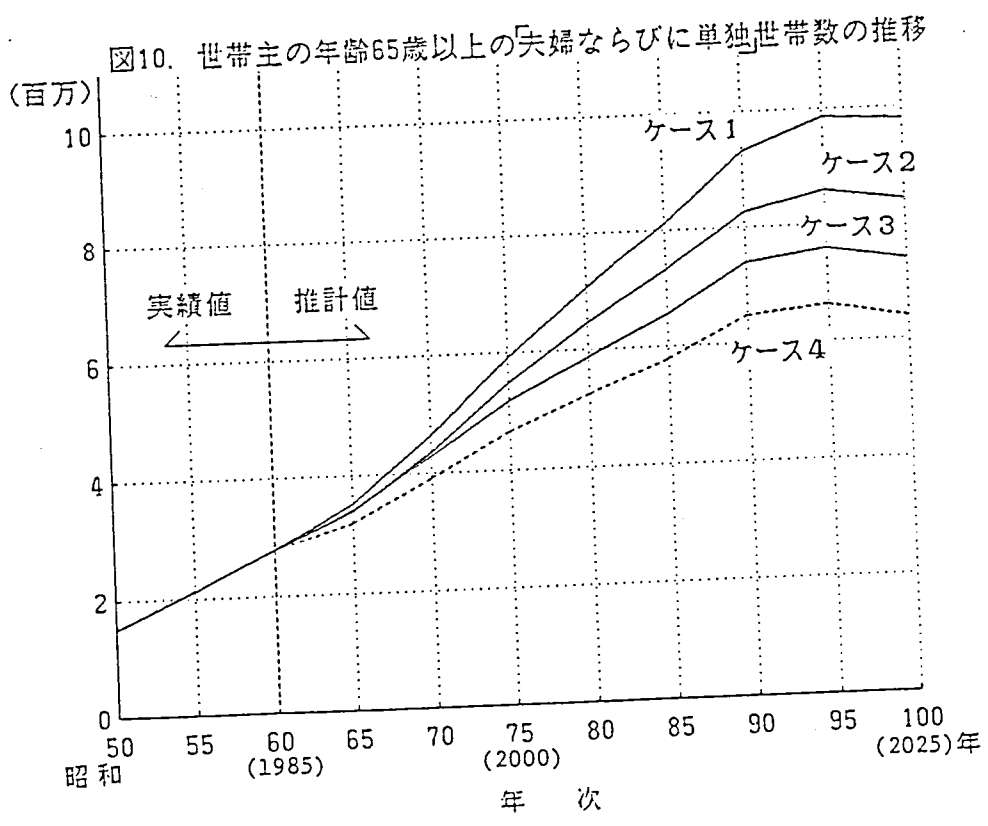
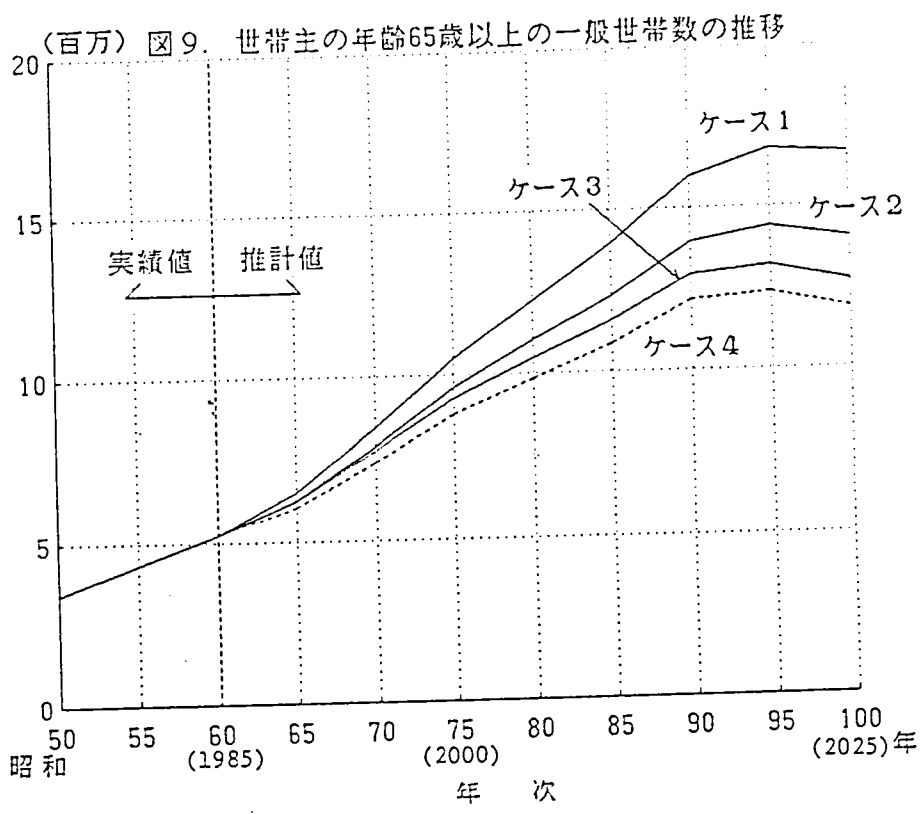


表1. 男女年齢別，配偶関係別人口割合の推移

(%)

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
昭和 60(1985)年								
15-19	99.74	0.25	0.00	0.00	99.12	0.86	0.00	0.02
20-24	92.45	7.42	0.01	0.12	81.59	17.98	0.03	0.41
25-29	60.57	38.83	0.03	0.57	30.63	67.75	0.12	1.50
30-34	28.19	70.31	0.10	1.40	10.43	86.17	0.39	3.01
35-39	14.20	83.35	0.22	2.23	6.64	88.32	0.91	4.13
40-44	7.44	89.35	0.47	2.74	4.90	88.39	2.13	4.58
45-49	4.67	91.61	0.87	2.85	4.28	86.95	4.29	4.48
50-54	3.11	92.65	1.55	2.69	4.35	83.71	7.65	4.28
55-59	2.12	93.05	2.62	2.21	4.38	78.19	13.07	4.36
60-64	1.55	92.27	4.29	1.89	3.52	68.71	23.59	4.18
65-69	1.16	90.37	6.85	1.62	2.38	54.91	39.33	3.38
70-74	0.88	86.06	11.62	1.43	1.68	40.57	55.18	2.57
75-79	0.77	78.36	19.64	1.23	1.31	26.32	70.35	2.02
80-84	0.71	66.43	31.80	1.07	0.97	13.87	83.50	1.65
85+	0.66	47.90	50.51	0.93	0.82	5.23	92.52	1.43
昭和 65(1990)年								
15-19	99.74	0.25	0.00	0.01	99.12	0.87	0.00	0.02
20-24	96.81	3.11	0.00	0.08	90.92	8.93	0.01	0.15
25-29	61.15	37.94	0.03	0.88	29.55	68.53	0.17	1.74
30-34	25.32	72.68	0.10	1.90	9.84	87.18	0.35	2.63
35-39	16.36	80.73	0.24	2.68	6.40	88.28	0.98	4.34
40-44	11.03	85.34	0.47	3.16	5.73	88.39	1.74	4.14
45-49	6.87	88.88	0.92	3.33	4.52	87.14	3.91	4.43
50-54	4.41	90.87	1.50	3.23	4.01	84.74	7.00	4.25
55-59	3.02	91.75	2.47	2.75	4.19	79.45	12.40	3.96
60-64	2.10	91.38	4.21	2.31	4.33	72.79	18.50	4.37
65-69	1.54	89.76	6.76	1.95	3.51	62.03	30.30	4.16
70-74	1.15	86.28	11.05	1.52	2.19	45.33	49.15	3.33
75-79	0.85	84.08	13.56	1.52	1.65	27.10	68.88	2.37
80-84	0.75	72.03	25.97	1.25	1.28	14.52	82.38	1.82
85+	0.71	54.71	43.51	1.07	1.02	10.28	87.27	1.43
昭和 70(1995)年								
15-19	99.74	0.25	0.00	0.01	99.11	0.87	0.00	0.02
20-24	96.81	3.10	0.00	0.09	90.88	8.97	0.01	0.15
25-29	67.49	31.61	0.02	0.88	36.43	62.23	0.08	1.27
30-34	25.64	72.13	0.11	2.12	10.35	86.02	0.50	3.14
35-39	14.97	81.54	0.23	3.26	6.76	88.75	0.79	3.70
40-44	13.25	82.68	0.43	3.64	5.58	87.54	1.91	4.97
45-49	10.13	85.31	0.90	3.67	5.21	87.12	3.20	4.46
50-54	6.56	88.35	1.62	3.46	4.45	84.42	6.66	4.47
55-59	4.34	90.11	2.38	3.17	3.91	80.97	10.91	4.22
60-64	2.99	90.68	3.73	2.60	4.16	74.01	17.87	3.96
65-69	2.08	89.61	6.12	2.20	4.34	64.75	26.69	4.23
70-74	1.53	88.08	8.57	1.82	3.50	50.45	41.88	4.17
75-79	1.13	82.29	15.21	1.37	1.99	31.24	63.53	3.24
80-84	0.84	75.08	22.56	1.52	1.63	14.44	81.74	2.20
85+	0.74	57.97	40.09	1.21	1.46	10.23	86.67	1.64

表1. 男女年齢別，配偶関係別人口割合の推移（つづき）

(%)

年 齢	男				女			
	未 婚	有 配 偶	死 別	離 別	未 婚	有 配 偶	死 別	離 別
昭和 75(2000)年								
15-19	99.74	0.25	0.00	0.01	99.11	0.87	0.00	0.02
20-24	96.81	3.09	0.00	0.10	90.86	8.99	0.01	0.15
25-29	67.49	31.52	0.03	0.97	36.27	62.39	0.08	1.26
30-34	28.69	69.02	0.10	2.18	11.67	85.32	0.30	2.71
35-39	15.16	81.21	0.24	3.39	7.17	87.43	1.05	4.35
40-44	12.13	83.15	0.43	4.29	5.74	87.95	1.63	4.68
45-49	12.17	82.86	0.78	4.20	5.18	85.93	3.53	5.36
50-54	9.75	84.88	1.57	3.81	4.93	84.74	5.74	4.59
55-59	6.43	87.66	2.61	3.30	4.40	80.56	10.56	4.48
60-64	4.29	89.12	3.63	2.97	3.86	75.38	16.51	4.24
65-69	2.96	88.97	5.64	2.44	4.14	65.70	26.19	3.98
70-74	2.06	86.85	9.11	1.98	4.33	52.63	38.80	4.24
75-79	1.53	83.65	13.18	1.64	3.50	34.64	57.69	4.18
80-84	1.13	73.75	23.85	1.27	1.82	16.64	78.34	3.19
85+	0.84	58.31	39.40	1.45	1.60	10.18	86.18	2.04
昭和 80(2005)年								
15-19	99.74	0.24	0.00	0.01	99.10	0.88	0.00	0.02
20-24	96.81	3.05	0.00	0.14	90.74	9.11	0.01	0.15
25-29	67.49	31.11	0.04	1.37	35.48	63.21	0.07	1.23
30-34	28.69	68.29	0.14	2.88	11.06	86.10	0.28	2.56
35-39	16.14	79.74	0.26	3.86	7.84	88.21	0.59	3.35
40-44	12.28	82.40	0.48	4.84	6.09	87.02	1.93	4.96
45-49	11.14	82.70	0.84	5.32	5.28	86.88	2.89	4.95
50-54	11.71	82.10	1.44	4.75	4.95	83.78	5.99	5.28
55-59	9.58	83.76	2.70	3.96	4.78	81.62	9.11	4.49
60-64	6.35	86.06	4.30	3.28	4.35	75.44	15.79	4.42
65-69	4.25	86.95	5.86	2.94	3.85	67.29	24.64	4.22
70-74	2.94	85.64	9.04	2.38	4.13	53.71	38.19	3.97
75-79	2.06	81.73	14.34	1.86	4.33	36.34	55.09	4.24
80-84	1.52	75.48	21.44	1.55	3.50	18.51	73.81	4.18
85+	1.12	60.74	36.91	1.22	1.66	11.81	83.43	3.10
昭和 85(2010)年								
15-19	99.74	0.24	0.00	0.01	99.09	0.90	0.00	0.02
20-24	96.81	3.01	0.00	0.18	90.61	9.24	0.01	0.15
25-29	67.49	30.69	0.05	1.77	34.66	64.07	0.07	1.21
30-34	28.69	67.56	0.17	3.58	10.42	86.90	0.26	2.42
35-39	16.14	79.11	0.30	4.45	7.10	88.83	0.74	3.33
40-44	12.78	81.39	0.50	5.32	6.55	87.99	1.22	4.24
45-49	11.28	81.96	0.91	5.85	5.58	85.69	3.43	5.30
50-54	10.72	81.86	1.52	5.91	5.02	84.88	5.04	5.06
55-59	11.50	81.03	2.56	4.91	4.84	80.44	9.47	5.24
60-64	9.46	82.26	4.38	3.90	4.72	76.77	14.00	4.50
65-69	6.30	83.67	6.87	3.16	4.31	67.38	23.88	4.44
70-74	4.24	83.63	9.30	2.83	3.83	55.03	36.90	4.24
75-79	2.94	80.42	14.36	2.28	4.12	37.10	54.80	3.99
80-84	2.05	74.02	22.17	1.76	4.32	19.43	71.99	4.25
85+	1.52	60.69	36.33	1.46	3.50	13.11	79.22	4.18

表1. 男女年齢別，配偶関係別人口割合の推移（つづき）

(%)

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
昭和 90(2015)年								
15-19	99.74	0.24	0.00	0.02	99.08	0.91	0.00	0.02
20-24	96.81	2.98	0.00	0.21	90.53	9.32	0.01	0.15
25-29	67.49	30.41	0.05	2.05	34.10	64.64	0.07	1.19
30-34	28.69	67.06	0.19	4.06	9.99	87.44	0.25	2.32
35-39	16.14	78.68	0.33	4.85	7.84	89.27	0.43	2.46
40-44	12.78	81.00	0.53	5.68	6.55	88.42	1.13	3.90
45-49	11.64	81.24	0.91	6.20	5.99	86.73	2.36	4.92
50-54	10.86	81.30	1.59	6.25	5.29	83.15	5.99	5.58
55-59	10.53	80.95	2.62	5.90	4.89	81.58	8.34	5.19
60-64	11.37	79.77	4.15	4.71	4.80	75.14	14.70	5.35
65-69	9.38	80.19	6.79	3.64	4.69	68.88	21.80	4.63
70-74	6.26	80.14	10.65	2.95	4.27	54.98	36.25	4.51
75-79	4.23	78.56	14.55	2.67	3.83	37.91	53.97	4.29
80-84	2.93	72.60	22.23	2.25	4.12	19.79	72.08	4.01
85+	2.04	62.69	33.62	1.65	4.32	13.73	77.70	4.25
昭和 95(2020)年								
15-19	99.74	0.24	0.00	0.02	99.07	0.91	0.00	0.02
20-24	96.81	2.97	0.00	0.21	90.50	9.35	0.01	0.15
25-29	67.51	30.32	0.05	2.11	33.93	64.81	0.07	1.18
30-34	28.74	66.90	0.20	4.16	9.96	87.60	0.14	2.30
35-39	16.19	78.55	0.33	4.93	7.80	88.40	0.57	3.23
40-44	12.82	80.87	0.54	5.76	6.51	88.55	1.11	3.84
45-49	11.68	81.12	0.92	6.28	5.95	86.86	2.33	4.86
50-54	11.20	80.88	1.52	6.40	5.64	84.30	4.51	5.55
55-59	10.70	80.66	2.63	6.01	5.09	79.26	9.82	5.83
60-64	10.45	79.97	4.11	5.47	4.80	76.41	13.35	5.43
65-69	11.31	78.18	6.23	4.28	4.75	66.70	23.01	5.53
70-74	9.38	77.07	10.24	3.31	4.65	56.60	33.94	4.80
75-79	6.28	74.73	16.30	2.69	4.22	37.76	53.43	4.59
80-84	4.25	70.98	22.27	2.50	3.82	20.15	71.70	4.33
85+	2.95	61.95	32.96	2.14	4.11	13.93	77.94	4.01
昭和 100(2025)年								
15-19	99.74	0.24	0.00	0.02	99.08	0.91	0.00	0.02
20-24	96.81	2.98	0.00	0.21	90.51	9.34	0.01	0.15
25-29	67.51	30.36	0.05	2.08	34.01	64.74	0.07	1.19
30-34	28.74	66.96	0.19	4.11	9.91	87.53	0.25	2.31
35-39	16.19	78.60	0.33	4.89	7.80	88.34	0.58	3.28
40-44	12.82	80.92	0.53	5.72	6.51	88.49	1.12	3.88
45-49	11.68	81.16	0.92	6.24	5.95	86.80	2.35	4.90
50-54	11.20	80.93	1.51	6.36	5.64	84.25	4.54	5.57
55-59	11.00	80.44	2.48	6.09	5.49	80.70	7.86	5.96
60-64	10.58	79.86	4.08	5.49	5.00	73.50	15.45	6.05
65-69	10.36	78.56	6.14	4.94	4.78	68.49	21.07	5.66
70-74	11.26	75.67	9.19	3.88	4.74	54.11	35.45	5.69
75-79	9.35	72.04	15.61	3.01	4.65	39.13	51.28	4.94
80-84	6.25	66.91	24.36	2.47	4.20	20.04	71.13	4.63
85+	4.23	61.27	32.24	2.26	3.82	14.16	77.69	4.34

表2. 男女年齢別, 配偶関係別世帯主率 (ケース2) の推移

(%)

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
昭和 60(1985)年								
15-19	7.36	70.92	60.00	59.71	5.67	2.77	40.30	42.14
20-24	32.62	74.41	35.73	47.57	18.83	1.02	38.84	46.84
25-29	36.70	75.70	47.20	49.49	22.01	0.68	55.19	55.05
30-34	42.13	78.22	59.87	57.20	31.85	1.00	70.68	67.29
35-39	50.64	84.08	73.42	66.74	38.42	1.59	81.50	76.46
40-44	58.84	90.89	85.44	77.54	46.57	2.55	88.23	83.57
45-49	58.19	93.87	89.92	80.65	51.46	2.95	87.85	84.28
50-54	55.36	96.06	91.59	80.92	55.53	2.64	80.24	79.85
55-59	52.50	96.87	89.92	79.59	58.56	2.13	66.99	72.42
60-64	48.09	93.93	82.89	76.00	57.71	1.93	54.61	64.00
65-69	42.03	89.06	73.03	69.16	53.43	1.98	44.05	55.24
70-74	37.11	82.26	61.10	60.10	48.75	1.98	33.74	45.65
75-79	35.35	72.34	48.92	50.04	42.56	1.89	24.82	34.87
80-84	33.32	60.95	36.43	38.91	34.25	1.87	16.23	23.94
85+	29.25	51.67	26.66	27.79	21.96	2.17	9.87	14.70
昭和 65(1990)年								
15-19	7.99	74.07	64.77	63.91	5.65	2.89	38.08	43.67
20-24	34.60	78.41	40.51	51.55	20.25	1.13	41.10	49.01
25-29	40.19	80.05	52.45	54.29	24.27	0.73	58.82	57.30
30-34	45.92	82.07	63.80	61.33	34.53	1.03	72.86	69.34
35-39	53.60	86.72	75.80	69.50	40.65	1.59	82.88	77.80
40-44	61.51	92.25	86.48	78.76	48.85	2.53	89.23	84.41
45-49	61.33	94.76	90.31	81.40	54.10	2.95	88.79	85.12
50-54	58.73	96.54	91.60	81.42	57.87	2.67	81.41	80.71
55-59	56.39	97.15	89.89	79.97	60.75	2.22	68.72	73.39
60-64	52.41	94.72	83.49	76.82	60.35	2.01	56.65	65.23
65-69	46.89	90.37	74.09	70.41	56.65	2.04	46.13	56.45
70-74	41.72	84.00	62.36	61.57	51.98	2.09	35.83	46.85
75-79	39.53	74.98	50.70	51.61	45.49	2.07	26.93	36.12
80-84	37.54	64.69	39.17	40.48	36.74	2.10	17.99	25.05
85+	34.10	55.73	29.48	30.00	24.50	2.49	11.03	15.41
昭和 70(1995)年								
15-19	8.51	76.73	68.79	67.45	5.63	2.99	36.22	44.97
20-24	36.28	81.78	44.53	54.90	21.44	1.22	43.00	50.85
25-29	43.12	83.71	56.88	58.32	26.17	0.76	61.87	59.18
30-34	49.11	85.31	67.11	64.81	36.79	1.05	74.70	71.06
35-39	56.09	88.94	77.80	71.83	42.52	1.59	84.03	78.93
40-44	63.76	93.39	87.36	79.79	50.76	2.51	90.07	85.11
45-49	63.97	95.50	90.63	82.03	56.33	2.95	89.58	85.82
50-54	61.57	96.94	91.61	81.84	59.83	2.69	82.38	81.43
55-59	59.65	97.38	89.86	80.30	62.59	2.29	70.18	74.21
60-64	56.05	95.39	83.99	77.51	62.57	2.08	58.37	66.26
65-69	50.98	91.47	74.97	71.47	59.36	2.09	47.88	57.47
70-74	45.59	85.47	63.42	62.81	54.70	2.17	37.59	47.86
75-79	43.04	77.20	52.19	52.94	47.96	2.22	28.70	37.18
80-84	41.10	67.84	41.48	41.79	38.84	2.29	19.47	25.98
85+	38.18	59.15	31.85	31.86	26.64	2.75	12.01	16.00

表2. 男女年齢別，配偶関係別世帯主率（ケース2）の推移（つづき）

(%)

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
昭和 75(2000)年								
15-19	8.96	78.96	72.16	70.42	5.62	3.07	34.65	46.06
20-24	37.68	84.61	47.91	57.72	22.45	1.29	44.59	52.39
25-29	45.59	86.79	60.60	61.71	27.76	0.79	64.44	60.77
30-34	51.79	88.04	69.89	67.73	38.69	1.07	76.24	72.50
35-39	58.18	90.81	79.48	73.79	44.09	1.59	85.01	79.88
40-44	65.65	94.35	88.09	80.66	52.37	2.49	90.78	85.70
45-49	66.20	96.13	90.90	82.56	58.19	2.94	90.25	86.42
50-54	63.95	97.27	91.62	82.20	61.49	2.71	83.20	82.03
55-59	62.40	97.58	89.83	80.57	64.15	2.35	71.41	74.89
60-64	59.10	95.95	84.41	78.09	64.44	2.13	59.82	67.13
65-69	54.41	92.39	75.72	72.36	61.63	2.14	49.35	58.33
70-74	48.84	86.71	64.31	63.85	56.98	2.25	39.06	48.70
75-79	45.99	79.06	53.45	54.05	50.04	2.35	30.19	38.07
80-84	44.09	70.49	43.42	42.90	40.61	2.46	20.71	26.76
85+	41.61	62.03	33.84	33.43	28.44	2.97	12.84	16.50
昭和 80(2005)年								
15-19	9.33	80.84	75.00	72.92	5.60	3.14	33.33	46.97
20-24	38.87	86.99	50.75	60.08	23.29	1.35	45.94	53.68
25-29	47.66	89.38	63.72	64.56	29.10	0.82	66.60	62.10
30-34	54.04	90.33	72.23	70.19	40.29	1.09	77.53	73.72
35-39	59.94	92.38	80.89	75.43	45.41	1.59	85.82	80.68
40-44	67.23	95.15	88.71	81.39	53.72	2.48	91.37	86.20
45-49	68.06	96.66	91.13	83.01	59.76	2.94	90.81	86.92
50-54	65.95	97.56	91.62	82.50	62.88	2.73	83.90	82.55
55-59	64.71	97.74	89.81	80.80	65.45	2.40	72.44	75.47
60-64	61.67	96.42	84.77	78.58	66.01	2.18	61.04	67.86
65-69	57.30	93.17	76.35	73.11	63.54	2.17	50.58	59.05
70-74	51.58	87.74	65.06	64.72	58.90	2.31	40.30	49.41
75-79	48.47	80.63	54.51	54.99	51.78	2.46	31.45	38.82
80-84	46.60	72.72	45.05	43.83	42.09	2.59	21.75	27.41
85+	44.49	64.44	35.51	34.75	29.95	3.15	13.53	16.92
昭和 85(2010)年								
15-19	9.65	80.84	77.39	75.02	5.59	3.20	32.23	47.74
20-24	39.86	86.99	53.14	62.07	24.00	1.40	47.07	54.77
25-29	49.41	89.38	66.35	66.95	30.23	0.84	68.41	63.22
30-34	55.94	90.33	74.19	72.26	41.63	1.10	78.62	74.74
35-39	61.42	92.38	82.08	76.82	46.52	1.59	86.51	81.36
40-44	68.57	95.15	89.23	82.00	54.86	2.47	91.87	86.62
45-49	69.63	96.66	91.33	83.38	61.09	2.94	91.28	87.34
50-54	67.64	97.56	91.63	82.75	64.05	2.75	84.48	82.97
55-59	66.65	97.74	89.79	80.99	66.55	2.45	73.31	75.96
60-64	63.84	96.42	85.06	78.99	67.33	2.22	62.06	68.47
65-69	59.73	93.17	76.87	73.74	65.15	2.20	51.62	59.65
70-74	53.88	87.74	65.69	65.45	60.52	2.36	41.35	50.01
75-79	50.56	80.63	55.39	55.78	53.25	2.55	32.50	39.45
80-84	48.71	72.72	46.43	44.62	43.34	2.71	22.63	27.96
85+	46.92	64.44	36.92	35.85	31.22	3.31	14.11	17.27

表2. 男女年齢別, 配偶関係別世帯主率 (ケース2) の推移 (つづき)

(%)

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
昭和 90(2015)年								
15-19	9.91	80.84	79.39	76.78	5.59	3.25	31.29	48.39
20-24	40.70	86.99	55.14	63.75	24.60	1.45	48.01	55.69
25-29	50.87	89.38	68.56	68.97	31.18	0.86	69.94	64.17
30-34	57.53	90.33	75.85	74.00	42.76	1.11	79.54	75.60
35-39	62.66	92.38	83.08	77.98	47.46	1.59	87.09	81.92
40-44	69.69	95.15	89.67	82.52	55.81	2.46	92.29	86.97
45-49	70.95	96.66	91.49	83.70	62.20	2.94	91.67	87.69
50-54	69.06	97.56	91.64	82.96	65.03	2.76	84.97	83.34
55-59	68.28	97.74	89.78	81.15	67.47	2.48	74.04	76.37
60-64	65.65	96.42	85.32	79.34	68.44	2.25	62.92	68.99
65-69	61.78	93.17	77.32	74.27	66.50	2.23	52.50	60.16
70-74	55.82	87.74	66.22	66.07	61.87	2.41	42.23	50.52
75-79	52.31	80.63	56.14	56.44	54.48	2.63	33.39	39.98
80-84	50.49	72.72	47.58	45.28	44.39	2.81	23.37	28.43
85+	48.96	64.44	38.10	36.78	32.29	3.44	14.60	17.57
昭和 95(2020)年								
15-19	10.13	80.84	81.08	78.27	5.58	3.30	30.51	48.93
20-24	41.40	86.99	56.83	65.15	25.10	1.48	48.81	56.46
25-29	52.10	89.38	70.42	70.66	31.98	0.88	71.22	64.96
30-34	58.87	90.33	77.24	75.46	43.71	1.12	80.31	76.32
35-39	63.71	92.38	83.92	78.96	48.24	1.59	87.58	82.40
40-44	70.64	95.15	90.03	82.95	56.62	2.45	92.65	87.27
45-49	72.07	96.66	91.63	83.96	63.13	2.94	92.00	87.99
50-54	70.25	97.56	91.64	83.13	65.86	2.77	85.38	83.64
55-59	69.65	97.74	89.76	81.28	68.25	2.51	74.65	76.71
60-64	67.18	96.42	85.53	79.63	69.38	2.28	63.64	69.42
65-69	63.50	93.17	77.69	74.71	67.64	2.25	53.23	60.59
70-74	57.45	87.74	66.67	66.59	63.02	2.44	42.97	50.94
75-79	53.79	80.63	56.77	57.00	55.52	2.69	34.13	40.42
80-84	51.98	72.72	48.55	45.83	45.27	2.89	23.99	28.82
85+	50.67	64.44	39.10	37.57	33.19	3.55	15.01	17.82
昭和 100(2025)年								
15-19	10.32	80.84	82.50	79.52	5.57	3.33	29.85	49.39
20-24	41.99	86.99	58.25	66.34	25.52	1.52	49.48	57.10
25-29	53.14	89.38	71.99	72.09	32.65	0.89	72.30	65.63
30-34	60.00	90.33	78.41	76.69	44.51	1.13	80.96	76.93
35-39	64.59	92.38	84.63	79.78	48.90	1.60	87.98	82.79
40-44	71.43	95.15	90.34	83.31	57.30	2.44	92.94	87.52
45-49	73.00	96.66	91.74	84.18	63.92	2.94	92.28	88.24
50-54	71.25	97.56	91.64	83.28	66.55	2.78	85.72	83.89
55-59	70.81	97.74	89.75	81.40	68.90	2.54	75.17	77.00
60-64	68.47	96.42	85.70	79.87	70.16	2.30	64.25	69.79
65-69	64.94	93.17	78.00	75.09	68.60	2.27	53.85	60.95
70-74	58.81	87.74	67.05	67.03	63.98	2.47	43.59	51.29
75-79	55.03	80.63	57.30	57.47	56.40	2.75	34.76	40.79
80-84	53.24	72.72	49.36	46.30	46.02	2.96	24.51	29.15
85+	52.11	64.44	39.94	38.23	33.94	3.64	15.36	18.03

表3. 家族類型別一般世帯数：ケース2推計結果

(単位千)

年次	一般世帯								
	総数	親族世帯					その他親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯	夫婦のみ	親子帯	その他			
昭和 60(1985)	37,980	30,013	22,804	5,212	17,592	7,209	73	7,895	
65(1990)	41,324	32,206	24,632	5,920	18,711	7,574	85	9,032	
70(1995)	44,463	33,934	26,538	6,733	19,805	7,397	104	10,422	
75(2000)	46,936	35,330	28,535	7,585	20,950	6,796	123	11,478	
80(2005)	48,562	36,336	30,008	8,255	21,753	6,328	136	12,084	
85(2010)	49,241	36,664	30,584	8,617	21,966	6,081	144	12,426	
90(2015)	49,639	36,611	30,682	8,776	21,906	5,929	152	12,868	
95(2020)	49,985	36,448	30,612	8,850	21,762	5,836	160	13,367	
100(2025)	50,105	36,292	30,491	8,923	21,569	5,800	166	13,638	
昭和60年を基準とした指数(%)									
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
65(1990)	108.8	107.3	108.0	113.6	106.4	105.1	117.5	114.4	
70(1995)	117.1	113.1	116.4	129.2	112.6	102.6	143.3	132.0	
75(2000)	123.6	117.7	125.1	145.5	119.1	94.3	169.3	145.4	
80(2005)	127.9	121.1	131.6	158.4	123.7	87.8	187.5	153.1	
85(2010)	129.6	122.2	134.1	165.3	124.9	84.4	198.9	157.4	
90(2015)	130.7	122.0	134.5	168.4	124.5	82.2	209.9	163.0	
95(2020)	131.6	121.4	134.2	169.8	123.7	81.0	220.8	169.3	
100(2025)	131.9	120.9	133.7	171.2	122.6	80.5	228.0	172.8	
一般世帯数に対する割合(%)									
昭和 60(1985)	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8	
65(1990)	100.0	77.9	59.6	14.3	45.3	18.3	0.2	21.9	
70(1995)	100.0	76.3	59.7	15.1	44.5	16.6	0.2	23.4	
75(2000)	100.0	75.3	60.8	16.2	44.6	14.5	0.3	24.5	
80(2005)	100.0	74.8	61.8	17.0	44.8	13.0	0.3	24.9	
85(2010)	100.0	74.5	62.1	17.5	44.6	12.3	0.3	25.2	
90(2015)	100.0	73.8	61.8	17.7	44.1	11.9	0.3	25.9	
95(2020)	100.0	72.9	61.2	17.7	43.5	11.7	0.3	26.7	
100(2025)	100.0	72.4	60.9	17.8	43.0	11.6	0.3	27.2	
年平均増加率(%)									
1985-1990	1.70	1.42	1.55	2.58	1.24	0.99	3.28	2.73	
1990-1995	1.48	1.05	1.50	2.60	1.14	-0.47	4.05	2.90	
1995-2000	1.09	0.81	1.46	2.41	1.13	-1.68	3.39	1.95	
2000-2005	0.68	0.56	1.01	1.71	0.76	-1.42	2.06	1.03	
2005-2010	0.28	0.18	0.38	0.86	0.20	-0.79	1.18	0.56	
2010-2015	0.16	-0.03	0.06	0.37	-0.06	-0.50	1.09	0.70	
2015-2020	0.14	-0.09	-0.05	0.17	-0.13	-0.31	1.02	0.76	
2020-2025	0.05	-0.09	-0.08	0.16	-0.18	-0.12	0.64	0.40	

表4. 世帯類型別世帯人員：ケース2推計結果 (単位千)

年次	総人口	一般世帯人員	平均世帯人員	施設世帯人員
昭和 60(1985)	121,049	119,375	3.14	1,674
65(1990)	124,225	122,389	2.96	1,836
70(1995)	127,565	125,601	2.82	1,964
75(2000)	131,192	129,124	2.75	2,068
80(2005)	134,247	132,030	2.72	2,217
85(2010)	135,823	133,299	2.71	2,524
90(2015)	135,938	133,108	2.68	2,830
95(2020)	135,304	132,227	2.65	3,077
100(2025)	134,642	131,412	2.62	3,231
昭和60年を基準とした指数 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	102.6	102.5	94.2	109.7
70(1995)	105.4	105.2	89.9	117.3
75(2000)	108.4	108.2	87.5	123.5
80(2005)	110.9	110.6	86.5	132.5
85(2010)	112.2	111.7	86.1	150.8
90(2015)	112.3	111.5	85.3	169.1
95(2020)	111.8	110.8	84.2	183.8
100(2025)	111.2	110.1	83.4	193.0
総人口に対する割合 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	98.6		1.4
65(1990)	100.0	98.5		1.5
70(1995)	100.0	98.5		1.5
75(2000)	100.0	98.4		1.6
80(2005)	100.0	98.3		1.7
85(2010)	100.0	98.1		1.9
90(2015)	100.0	97.9		2.1
95(2020)	100.0	97.7		2.3
100(2025)	100.0	97.6		2.4
年平均増加率 (%)				
1985-1990	0.52	0.50	-1.18	1.86
1990-1995	0.53	0.52	-0.94	1.36
1995-2000	0.56	0.55	-0.53	1.04
2000-2005	0.46	0.45	-0.24	1.41
2005-2010	0.23	0.19	-0.09	2.63
2010-2015	0.02	-0.03	-0.19	2.32
2015-2020	-0.09	-0.13	-0.27	1.68
2020-2025	-0.10	-0.12	-0.17	0.98

表5. 世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数：ケース2推計結果
(単位千)

年次	世帯総数	夫婦のみ	単独	その他
昭和 60(1985)	5,234	1,597	1,181	2,456
65(1990)	6,260	1,927	1,447	2,886
70(1995)	7,893	2,483	1,873	3,537
75(2000)	9,610	3,109	2,374	4,127
80(2005)	11,019	3,626	2,820	4,573
85(2010)	12,310	4,073	3,211	5,026
90(2015)	13,916	4,617	3,654	5,644
95(2020)	14,380	4,780	3,827	5,773
100(2025)	14,031	4,638	3,791	5,603
昭和60年を基準とした指数 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	119.6	120.7	122.5	117.5
70(1995)	150.8	155.5	158.6	144.0
75(2000)	183.6	194.7	201.0	168.1
80(2005)	210.5	227.0	238.8	186.2
85(2010)	235.2	255.0	272.0	204.7
90(2015)	265.9	289.1	309.5	229.8
95(2020)	274.8	299.3	324.2	235.1
100(2025)	268.1	290.4	321.0	228.1
一般世帯数に対する割合 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	30.5	22.6	46.9
65(1990)	100.0	30.8	23.1	46.1
70(1995)	100.0	31.5	23.7	44.8
75(2000)	100.0	32.4	24.7	42.9
80(2005)	100.0	32.9	25.6	41.5
85(2010)	100.0	33.1	26.1	40.8
90(2015)	100.0	33.2	26.3	40.6
95(2020)	100.0	33.2	26.6	40.1
100(2025)	100.0	33.1	27.0	39.9
年平均増加率 (%)				
1985-1990	3.65	3.83	4.15	3.28
1990-1995	4.74	5.20	5.30	4.15
1995-2000	4.01	4.60	4.85	3.13
2000-2005	2.77	3.12	3.51	2.07
2005-2010	2.24	2.35	2.63	1.91
2010-2015	2.48	2.54	2.62	2.35
2015-2020	0.66	0.70	0.93	0.45
2020-2025	-0.49	-0.60	-0.19	-0.60

表6. 家族類型別一般世帯数：ケース1推計結果

(単位千)

年次	一般世帯								
	総数	親族世帯					その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯	夫婦のみ	親子帯	その他			
昭和 60(1985)	37,980	30,013	22,804	5,212	17,592	7,209	73	7,895	
65(1990)	42,505	32,633	25,007	6,065	18,942	7,625	94	9,776	
70(1995)	46,512	34,324	26,980	6,964	20,016	7,344	126	12,055	
75(2000)	49,592	35,438	28,916	7,866	21,050	6,522	161	13,983	
80(2005)	51,630	36,267	30,402	8,600	21,803	5,864	187	15,164	
85(2010)	52,991	36,851	31,289	9,115	22,174	5,561	204	15,923	
90(2015)	54,101	37,126	31,694	9,424	22,270	5,432	221	16,739	
95(2020)	55,116	37,262	31,857	9,600	22,258	5,404	237	17,601	
100(2025)	55,709	37,326	31,898	9,736	22,162	5,428	247	18,117	
昭和60年を基準とした指数(%)									
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
65(1990)	111.9	108.7	109.7	116.4	107.7	105.8	129.1	123.8	
70(1995)	122.5	114.4	118.3	133.6	113.8	101.9	173.0	152.7	
75(2000)	130.6	118.1	126.8	150.9	119.7	90.5	221.5	177.1	
80(2005)	135.9	120.8	133.3	165.0	123.9	81.3	256.9	192.1	
85(2010)	139.5	122.8	137.2	174.9	126.0	77.1	281.2	201.7	
90(2015)	142.4	123.7	139.0	180.8	126.6	75.3	304.0	212.0	
95(2020)	145.1	124.2	139.7	184.2	126.5	75.0	325.7	222.9	
100(2025)	146.7	124.4	139.9	186.8	126.0	75.3	340.6	229.5	
一般世帯数に対する割合(%)									
昭和 60(1985)	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8	
65(1990)	100.0	76.8	58.8	14.3	44.6	17.9	0.2	23.0	
70(1995)	100.0	73.8	58.0	15.0	43.0	15.8	0.3	25.9	
75(2000)	100.0	71.5	58.3	15.9	42.4	13.2	0.3	28.2	
80(2005)	100.0	70.2	58.9	16.7	42.2	11.4	0.4	29.4	
85(2010)	100.0	69.5	59.0	17.2	41.8	10.5	0.4	30.0	
90(2015)	100.0	68.6	58.6	17.4	41.2	10.0	0.4	30.9	
95(2020)	100.0	67.6	57.8	17.4	40.4	9.8	0.4	31.9	
100(2025)	100.0	67.0	57.3	17.5	39.8	9.7	0.4	32.5	
年平均増加率(%)									
1985-1990	2.28	1.69	1.86	3.08	1.49	1.13	5.24	4.37	
1990-1995	1.82	1.02	1.53	2.80	1.11	-0.75	6.03	4.28	
1995-2000	1.29	0.64	1.40	2.46	1.01	-2.35	5.07	3.01	
2000-2005	0.81	0.46	1.01	1.80	0.71	-2.10	3.01	1.64	
2005-2010	0.52	0.32	0.58	1.17	0.34	-1.05	1.83	0.98	
2010-2015	0.42	0.15	0.26	0.67	0.09	-0.47	1.57	1.00	
2015-2020	0.37	0.07	0.10	0.37	-0.01	-0.10	1.38	1.01	
2020-2025	0.21	0.03	0.03	0.28	-0.09	0.09	0.90	0.58	

表7. 世帯類型別世帯人員：ケース1推計結果 (単位千)

年次	総人口	一般世帯人員	平均世帯人員	施設世帯人員
昭和 60(1985)	121,049	119,375	3.14	1,674
65(1990)	124,225	122,372	2.88	1,853
70(1995)	127,565	125,582	2.70	1,982
75(2000)	131,192	129,120	2.60	2,072
80(2005)	134,247	132,037	2.56	2,210
85(2010)	135,823	133,296	2.52	2,527
90(2015)	135,938	133,080	2.46	2,858
95(2020)	135,304	132,182	2.40	3,122
100(2025)	134,642	131,366	2.36	3,277
昭和60年を基準とした指数 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	102.6	102.5	91.6	110.7
70(1995)	105.4	105.2	85.9	118.4
75(2000)	108.4	108.2	82.8	123.8
80(2005)	110.9	110.6	81.4	132.1
85(2010)	112.2	111.7	80.0	151.0
90(2015)	112.3	111.5	78.3	170.8
95(2020)	111.8	110.7	76.3	186.5
100(2025)	111.2	110.0	75.0	195.8
総人口に対する割合 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	98.6		1.4
65(1990)	100.0	98.5		1.5
70(1995)	100.0	98.4		1.6
75(2000)	100.0	98.4		1.6
80(2005)	100.0	98.4		1.6
85(2010)	100.0	98.1		1.9
90(2015)	100.0	97.9		2.1
95(2020)	100.0	97.7		2.3
100(2025)	100.0	97.6		2.4
年平均増加率 (%)				
1985-1990	0.52	0.50	-1.74	2.05
1990-1995	0.53	0.52	-1.28	1.36
1995-2000	0.56	0.56	-0.72	0.89
2000-2005	0.46	0.45	-0.36	1.30
2005-2010	0.23	0.19	-0.33	2.72
2010-2015	0.02	-0.03	-0.45	2.49
2015-2020	-0.09	-0.14	-0.51	1.78
2020-2025	-0.10	-0.12	-0.34	0.97

表8. 世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数：ケース1推計結果

(単位千)

年次	世帯総数	夫婦のみ	単独	その他
昭和 60(1985)	5,234	1,597	1,181	2,456
65(1990)	6,529	2,005	1,507	3,017
70(1995)	8,448	2,641	1,993	3,814
75(2000)	10,479	3,356	2,552	4,570
80(2005)	12,214	3,971	3,059	5,184
85(2010)	13,943	4,553	3,548	5,843
90(2015)	15,996	5,233	4,094	6,668
95(2020)	16,818	5,514	4,346	6,958
100(2025)	16,695	5,445	4,367	6,882
昭和60年を基準とした指数(%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	124.8	125.5	127.6	122.9
70(1995)	161.4	165.4	168.8	155.3
75(2000)	200.2	210.2	216.1	186.1
80(2005)	233.4	248.6	259.1	211.1
85(2010)	266.4	285.1	300.5	237.9
90(2015)	305.6	327.7	346.7	271.5
95(2020)	321.3	345.2	368.1	283.3
100(2025)	319.0	341.0	369.9	280.3
一般世帯数に対する割合(%)				
昭和 60(1985)	100.0	30.5	22.6	46.9
65(1990)	100.0	30.7	23.1	46.2
70(1995)	100.0	31.3	23.6	45.1
75(2000)	100.0	32.0	24.4	43.6
80(2005)	100.0	32.5	25.0	42.4
85(2010)	100.0	32.7	25.4	41.9
90(2015)	100.0	32.7	25.6	41.7
95(2020)	100.0	32.8	25.8	41.4
100(2025)	100.0	32.6	26.2	41.2
年平均増加率(%)				
1985-1990	4.52	4.65	5.00	4.20
1990-1995	5.29	5.67	5.75	4.80
1995-2000	4.40	4.91	5.07	3.68
2000-2005	3.11	3.42	3.69	2.55
2005-2010	2.68	2.77	3.01	2.42
2010-2015	2.78	2.83	2.91	2.68
2015-2020	1.01	1.05	1.20	0.85
2020-2025	-0.15	-0.25	0.10	-0.22

表9. 家族類型別一般世帯数：ケース3推計結果

(単位千)

年次	一般世帯								
	総数	親族世帯					その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯	夫婦のみ	親子と子供				
昭和 60(1985)	37,980	30,013	22,804	5,212	17,592	7,209	73	7,895	
65(1990)	40,178	31,373	23,752	5,954	17,799	7,620	83	8,725	
70(1995)	42,281	32,509	24,482	6,731	17,753	8,027	96	9,683	
75(2000)	43,822	33,630	25,187	7,483	17,708	8,443	106	10,092	
80(2005)	44,678	34,307	25,558	7,976	17,588	8,748	116	10,262	
85(2010)	45,013	34,392	25,551	8,126	17,431	8,840	127	10,503	
90(2015)	45,081	34,024	25,207	8,078	17,134	8,816	137	10,931	
95(2020)	45,041	33,531	24,734	7,980	16,759	8,796	148	11,375	
100(2025)	44,770	33,079	24,339	7,961	16,383	8,739	154	11,551	
昭和60年を基準とした指数(%)									
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
65(1990)	105.8	104.5	104.2	114.2	101.2	105.7	114.9	110.5	
70(1995)	111.3	108.3	107.4	129.1	100.9	111.3	132.4	122.7	
75(2000)	115.4	112.1	110.5	143.6	100.7	117.1	145.9	127.8	
80(2005)	117.6	114.3	112.1	153.0	100.0	121.4	159.5	130.0	
85(2010)	118.5	114.6	112.0	155.9	99.1	122.6	174.3	133.0	
90(2015)	118.7	113.4	110.5	155.0	97.4	122.3	189.2	138.5	
95(2020)	118.6	111.7	108.5	153.1	95.3	122.0	204.1	144.1	
100(2025)	117.9	110.2	106.7	152.8	93.1	121.2	212.2	146.3	
一般世帯数に対する割合(%)									
昭和 60(1985)	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8	
65(1990)	100.0	78.1	59.1	14.8	44.3	19.0	0.2	21.7	
70(1995)	100.0	76.9	57.9	15.9	42.0	19.0	0.2	22.9	
75(2000)	100.0	76.7	57.5	17.1	40.4	19.3	0.2	23.0	
80(2005)	100.0	76.8	57.2	17.9	39.4	19.6	0.3	23.0	
85(2010)	100.0	76.4	56.8	18.1	38.7	19.6	0.3	23.3	
90(2015)	100.0	75.5	55.9	17.9	38.0	19.6	0.3	24.2	
95(2020)	100.0	74.4	54.9	17.7	37.2	19.5	0.3	25.3	
100(2025)	100.0	73.9	54.4	17.8	36.6	19.5	0.3	25.8	
年平均増加率(%)									
1985-1990	1.13	0.89	0.82	2.70	0.23	1.12	2.81	2.02	
1990-1995	1.03	0.71	0.61	2.48	-0.05	1.05	2.89	2.11	
1995-2000	0.72	0.68	0.57	2.14	-0.05	1.02	1.96	0.83	
2000-2005	0.39	0.40	0.29	1.28	-0.14	0.71	1.79	0.33	
2005-2010	0.15	0.05	-0.01	0.37	-0.18	0.21	1.80	0.47	
2010-2015	0.03	-0.22	-0.27	-0.12	-0.34	-0.05	1.65	0.80	
2015-2020	-0.02	-0.29	-0.38	-0.24	-0.44	-0.05	1.52	0.80	
2020-2025	-0.12	-0.27	-0.32	-0.05	-0.45	-0.13	0.78	0.31	

表10. 世帯類型別世帯人員：ケース3推計結果

(単位千)

年次	総人口	一般世帯人員	平均世帯人員	施設世帯人員
昭和 60(1985)	121,049	119,375	3.14	1,674
65(1990)	124,225	122,336	3.03	1,889
70(1995)	127,565	125,441	2.95	2,126
75(2000)	131,192	128,811	2.92	2,382
80(2005)	134,247	131,563	2.93	2,688
85(2010)	135,823	132,780	2.93	3,047
90(2015)	135,938	132,555	2.92	3,390
95(2020)	135,304	131,640	2.90	3,672
100(2025)	134,642	130,777	2.90	3,875
昭和60年を基準とした指数 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	102.6	102.5	96.5	112.8
70(1995)	105.4	105.1	93.9	127.0
75(2000)	108.4	107.9	93.0	142.3
80(2005)	110.9	110.2	93.3	160.6
85(2010)	112.2	111.2	93.3	182.1
90(2015)	112.3	111.0	93.0	202.5
95(2020)	111.8	110.3	92.4	219.4
100(2025)	111.2	109.6	92.4	231.5
総人口に対する割合 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	98.6		1.38
65(1990)	100.0	98.5		1.52
70(1995)	100.0	98.3		1.67
75(2000)	100.0	98.2		1.82
80(2005)	100.0	98.0		2.00
85(2010)	100.0	97.8		2.24
90(2015)	100.0	97.5		2.49
95(2020)	100.0	97.3		2.71
100(2025)	100.0	97.1		2.88
年平均増加率 (%)				
1985-1990	0.52	0.49	-0.71	2.45
1990-1995	0.53	0.50	-0.53	2.39
1995-2000	0.56	0.53	-0.20	2.30
2000-2005	0.46	0.42	0.07	2.44
2005-2010	0.23	0.18	0.00	2.54
2010-2015	0.02	-0.03	-0.07	2.15
2015-2020	-0.09	-0.14	-0.14	1.61
2020-2025	-0.10	-0.13	0.00	1.08

表11. 世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数：ケース3推計結果

(単位千)

年次	世帯数	夫婦の	単独	その他
昭和 60(1985)	5,234	1,597	1,181	2,456
65(1990)	6,238	1,989	1,425	2,824
70(1995)	6,502	2,581	1,707	2,214
75(2000)	7,476	3,155	2,023	2,298
80(2005)	8,733	3,563	2,314	2,856
85(2010)	10,257	3,887	2,650	3,720
90(2015)	11,688	4,283	3,071	4,334
95(2020)	11,811	4,260	3,319	4,232
100(2025)	12,443	4,260	3,322	4,862
昭和60年を基準とした指数 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	119.2	124.5	120.7	115.0
70(1995)	124.2	161.6	144.6	90.2
75(2000)	142.9	197.6	171.3	93.6
80(2005)	166.9	223.1	196.0	116.3
85(2010)	196.0	243.4	224.4	151.5
90(2015)	223.3	268.2	260.1	176.5
95(2020)	225.7	266.7	281.1	172.3
100(2025)	237.8	266.7	281.3	198.0
一般世帯数に対する割合 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	30.5	22.6	46.9
65(1990)	100.0	31.9	22.8	45.3
70(1995)	100.0	39.7	26.3	34.1
75(2000)	100.0	42.2	27.1	30.7
80(2005)	100.0	40.8	26.5	32.7
85(2010)	100.0	37.9	25.8	36.3
90(2015)	100.0	36.6	26.3	37.1
95(2020)	100.0	36.1	28.1	35.8
100(2025)	100.0	34.2	26.7	39.1
年平均増加率 (%)				
1985-1990	3.57	4.49	3.84	2.83
1990-1995	0.83	5.35	3.67	-4.75
1995-2000	2.83	4.10	3.45	0.75
2000-2005	3.16	2.46	2.73	4.44
2005-2010	3.27	1.76	2.75	5.43
2010-2015	2.65	1.96	2.99	3.10
2015-2020	0.21	-0.11	1.56	-0.48

表12. 家族類型別一般世帯数：ケース4推計結果

(単位千)

年次	一般世帯								
	総数	親族世帯					その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯	夫婦のみ	親子と	その他			
昭和 60(1985)	37,980	30,013	22,804	5,212	17,592	7,209	73	7,895	
65(1990)	40,173	31,660	23,832	5,742	18,090	7,828	77	8,435	
70(1995)	42,190	33,104	24,739	6,344	18,395	8,365	83	9,002	
75(2000)	43,608	34,390	25,557	6,945	18,612	8,833	85	9,133	
80(2005)	44,334	35,192	25,995	7,346	18,649	9,196	86	9,057	
85(2010)	44,564	35,413	26,011	7,502	18,509	9,402	86	9,065	
90(2015)	44,542	35,198	25,747	7,509	18,238	9,451	88	9,256	
95(2020)	44,443	34,851	25,440	7,505	17,935	9,411	90	9,501	
100(2025)	44,163	34,503	25,178	7,540	17,637	9,326	92	9,566	
昭和60年を基準とした指数(%)									
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
65(1990)	105.8	105.5	104.5	110.2	102.8	108.6	106.6	106.8	
70(1995)	111.1	110.3	108.5	121.7	104.6	116.0	114.3	114.0	
75(2000)	114.8	114.6	112.1	133.3	105.8	122.5	117.5	115.7	
80(2005)	116.7	117.3	114.0	140.9	106.0	127.6	117.8	114.7	
85(2010)	117.3	118.0	114.1	143.9	105.2	130.4	118.6	114.8	
90(2015)	117.3	117.3	112.9	144.1	103.7	131.1	121.0	117.2	
95(2020)	117.0	116.1	111.6	144.0	102.0	130.5	124.3	120.4	
100(2025)	116.3	115.0	110.4	144.7	100.3	129.4	126.1	121.2	
一般世帯数に対する割合(%)									
昭和 60(1985)	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8	
65(1990)	100.0	78.8	59.3	14.3	45.0	19.5	0.2	21.0	
70(1995)	100.0	78.5	58.6	15.0	43.6	19.8	0.2	21.3	
75(2000)	100.0	78.9	58.6	15.9	42.7	20.3	0.2	20.9	
80(2005)	100.0	79.4	58.6	16.6	42.1	20.7	0.2	20.4	
85(2010)	100.0	79.5	58.4	16.8	41.5	21.1	0.2	20.3	
90(2015)	100.0	79.0	57.8	16.9	40.9	21.2	0.2	20.8	
95(2020)	100.0	78.4	57.2	16.9	40.4	21.2	0.2	21.4	
100(2025)	100.0	78.1	57.0	17.1	39.9	21.1	0.2	21.7	
年平均増加率(%)									
1985-1990	1.13	1.07	0.89	1.96	0.56	1.66	1.30	1.33	
1990-1995	0.98	0.90	0.75	2.01	0.33	1.34	1.40	1.31	
1995-2000	0.66	0.76	0.65	1.83	0.23	1.09	0.54	0.29	
2000-2005	0.33	0.46	0.34	1.13	0.04	0.81	0.06	-0.17	
2005-2010	0.10	0.13	0.01	0.42	-0.15	0.44	0.13	0.02	
2010-2015	-0.01	-0.12	-0.20	0.02	-0.29	0.10	0.40	0.42	
2015-2020	-0.04	-0.20	-0.24	-0.01	-0.33	-0.08	0.54	0.52	
2020-2025	-0.13	-0.20	-0.21	0.09	-0.33	-0.18	0.29	0.14	

(注) 表12~14は配偶関係については仮定どおり変化させ、世帯主率は昭和60年一定とした場合の推計結果を示す。

表13. 世帯類型別世帯人員：ケース4推計結果 (単位千)

年次	総人口	一般世帯人員	平均世帯人員	施設世帯人員
昭和 60(1985)	121,049	119,375	3.14	1,674
65(1990)	124,225	122,252	3.04	1,973
70(1995)	127,565	125,319	2.97	2,246
75(2000)	131,192	128,699	2.95	2,493
80(2005)	134,247	131,470	2.97	2,777
85(2010)	135,823	132,704	2.98	3,118
90(2015)	135,938	132,478	2.97	3,460
95(2020)	135,304	131,568	2.96	3,736
100(2025)	134,642	130,736	2.96	3,906
昭和60年を基準とした指数 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	102.6	102.4	96.8	117.9
70(1995)	105.4	105.0	94.5	134.2
75(2000)	108.4	107.8	93.9	148.9
80(2005)	110.9	110.1	94.3	165.9
85(2010)	112.2	111.2	94.7	186.3
90(2015)	112.3	111.0	94.6	206.7
95(2020)	111.8	110.2	94.2	223.2
100(2025)	111.2	109.5	94.2	233.4
総人口に対する割合 (%)				
昭和 60(1985)	100.0	98.6		1.4
65(1990)	100.0	98.4		1.6
70(1995)	100.0	98.2		1.8
75(2000)	100.0	98.1		1.9
80(2005)	100.0	97.9		2.1
85(2010)	100.0	97.7		2.3
90(2015)	100.0	97.5		2.5
95(2020)	100.0	97.2		2.8
100(2025)	100.0	97.1		2.9
年平均増加率 (%)				
1985-1990	0.52	0.48	-0.64	3.34
1990-1995	0.53	0.50	-0.48	2.63
1995-2000	0.56	0.53	-0.13	2.11
2000-2005	0.46	0.43	0.10	2.18
2005-2010	0.23	0.19	0.08	2.35
2010-2015	0.02	-0.03	-0.02	2.10
2015-2020	-0.09	-0.14	-0.09	1.55
2020-2025	-0.10	-0.13	-0.00	0.89

表14. 世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数：ケース4推計結果
(単位千)

年次	世帯総数	夫婦のみ	単独	その他
昭和 60(1985)	5,234	1,597	1,181	2,456
65(1990)	6,033	1,835	1,368	2,830
70(1995)	7,396	2,249	1,667	3,480
75(2000)	8,793	2,674	1,990	4,129
80(2005)	9,848	2,988	2,258	4,602
85(2010)	10,851	3,280	2,509	5,063
90(2015)	12,130	3,658	2,804	5,668
95(2020)	12,347	3,715	2,893	5,738
100(2025)	11,858	3,549	2,829	5,481
昭和60年を基準とした指数(%)				
昭和 60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
65(1990)	115.3	114.9	115.8	115.3
70(1995)	141.3	140.8	141.2	141.7
75(2000)	168.0	167.4	168.5	168.1
80(2005)	188.2	187.1	191.2	187.4
85(2010)	207.3	205.3	212.5	206.1
90(2015)	231.8	229.0	237.5	230.8
95(2020)	235.9	232.6	245.1	233.7
100(2025)	226.6	222.2	239.6	223.2
一般世帯数に対する割合(%)				
昭和 60(1985)	100.0	30.5	22.6	46.9
65(1990)	100.0	30.4	22.7	46.9
70(1995)	100.0	30.4	22.5	47.1
75(2000)	100.0	30.4	22.6	47.0
80(2005)	100.0	30.3	22.9	46.7
85(2010)	100.0	30.2	23.1	46.7
90(2015)	100.0	30.2	23.1	46.7
95(2020)	100.0	30.1	23.4	46.5
100(2025)	100.0	29.9	23.9	46.2
年平均増加率(%)				
1985-1990	2.89	2.82	2.98	2.88
1990-1995	4.16	4.15	4.04	4.22
1995-2000	3.52	3.53	3.60	3.48
2000-2005	2.29	2.24	2.56	2.19
2005-2010	1.96	1.88	2.13	1.93
2010-2015	2.25	2.21	2.25	2.28
2015-2020	0.36	0.31	0.63	0.25
2020-2025	-0.80	-0.91	-0.45	-0.91

参考表1. 全国の家族類型別一般世帯数の推移

(単位千)

年次	一般世帯								
	総数	親族世帯					その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯	夫婦のみ	親子と供	その他			
昭和 35(1960)	22,231	18,579	11,788	1,630	10,158	6,790	74	3,579	
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-	
45(1970)	30,297	24,059	17,186	2,972	14,214	6,874	100	6,137	
50(1975)	33,596	26,968	19,980	3,880	16,100	6,988	67	6,561	
55(1980)	35,824	28,657	21,594	4,460	17,134	7,063	62	7,105	
60(1985)	37,980	30,013	22,804	5,212	17,592	7,209	73	7,895	
昭和60年を基準とした指数(%)									
昭和 35(1960)	58.5	61.9	51.7	31.3	57.7	94.2	101.6	45.3	
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-	
45(1970)	79.8	80.2	75.4	57.0	80.8	95.3	137.8	77.7	
50(1975)	88.5	89.9	87.6	74.5	91.5	96.9	91.6	83.1	
55(1980)	94.3	95.5	94.7	85.6	97.4	98.0	84.7	90.0	
60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
一般世帯数に対する割合(%)									
昭和 35(1960)	100.0	83.6	53.0	7.3	45.7	30.5	0.3	16.1	
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-	
45(1970)	100.0	79.4	56.7	9.8	46.9	22.7	0.3	20.3	
50(1975)	100.0	80.3	59.5	11.6	47.9	20.8	0.2	19.5	
55(1980)	100.0	80.0	60.3	12.5	47.8	19.7	0.2	19.8	
60(1985)	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8	
年平均増加率(%)									
1960-1970	3.14	2.62	3.84	6.19	3.42	0.12	3.10	5.54	
1970-1975	2.09	2.31	3.06	5.48	2.52	0.33	-7.85	1.34	
1975-1980	1.29	1.22	1.57	2.82	1.25	0.21	-1.55	1.61	
1980-1985	1.18	0.93	1.10	3.16	0.53	0.41	3.37	2.13	

資料：総務庁統計局「国勢調査」による。

参考表2. 全国の平均世帯人員の推移

(単位千)

年次	総人口	一般世帯人員	平均世帯人員	施設世帯人員
昭和 35(1960)	93,419	-	4.14	879
40(1965)	-	-	-	-
45(1970)	104,665	103,351	3.41	1,307
50(1975)	111,940	110,338	3.28	1,568
55(1980)	117,060	115,451	3.22	1,537
60(1985)	121,049	119,334	3.14	1,674
昭和60年を基準とした指数(%)				
昭和 35(1960)	77.2	-	131.8	52.5
40(1965)	-	-	-	-
45(1970)	86.5	86.6	108.6	78.1
50(1975)	92.5	92.5	104.5	93.7
55(1980)	96.7	96.7	102.5	91.8
60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
一般世帯数に対する割合(%)				
昭和 35(1960)	100.0	-	-	0.9
40(1965)	-	-	-	-
45(1970)	100.0	98.7	-	1.2
50(1975)	100.0	98.6	-	1.4
55(1980)	100.0	98.6	-	1.3
60(1985)	100.0	98.6	-	1.4
年平均増加率(%)				
1960-1970	1.14	-	-1.92	4.05
1970-1975	1.35	1.32	-0.77	3.70
1975-1980	0.90	0.91	-0.37	-0.40
1980-1985	0.67	0.66	-0.50	1.72

資料：総務庁統計局「国勢調査」による。

参考表3. 全国の世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数の推移

(単位千)

年次	世帯総数	夫婦のみ	単独	その他
昭和 50(1975)	3,404	873	630	1,901
55(1980)	4,330	1,245	885	2,200
60(1985)	5,234	1,597	1,181	2,455
昭和60年を基準とした指数(%)				
昭和 50(1975)	65.0	54.6	53.3	77.4
55(1980)	82.7	78.0	74.9	89.6
60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0
一般世帯数に対する割合(%)				
昭和 50(1975)	100.0	25.6	18.5	55.9
55(1980)	100.0	28.8	20.4	50.8
60(1985)	100.0	30.5	22.6	46.9
年平均増加率(%)				
1975-1980	4.93	7.37	7.03	2.96
1980-1985	3.86	5.10	5.94	2.22

資料：総務庁統計局「国勢調査」による。

参考表4. 東京の家族類型別一般世帯数の推移

(単位千)

年次	一般世帯							
	総数	親族世帯				その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族	夫婦のみ	親子と子供			
昭和 35(1960)	2,712	2,001	1,478	278	1,201	523	22	689
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-
45(1970)	3,948	2,651	2,148	403	1,745	503	27	757
50(1975)	4,207	2,824	2,352	471	1,882	472	16	1,366
55(1980)	4,286	2,856	2,418	506	1,912	438	14	1,416
60(1985)	4,488	2,950	2,513	578	1,935	437	17	1,522
昭和60年を基準とした指数(%)								
昭和 35(1960)	60.4	67.9	58.8	48.1	62.0	119.8	126.5	45.3
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-
45(1970)	88.0	89.9	85.5	69.8	90.1	115.2	154.9	49.8
50(1975)	93.7	95.8	93.6	81.5	97.2	108.1	96.0	89.8
55(1980)	95.5	96.8	96.2	87.6	98.8	100.3	81.0	93.0
60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
一般世帯数に対する割合(%)								
昭和 35(1960)	100.0	73.8	54.5	10.2	44.3	19.3	0.8	25.4
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-
45(1970)	100.0	67.2	54.4	10.2	44.2	12.7	0.7	19.2
50(1975)	100.0	67.1	55.9	11.2	44.7	11.2	0.4	32.5
55(1980)	100.0	66.6	56.4	11.8	44.6	10.2	0.3	33.0
60(1985)	100.0	65.7	56.0	12.9	43.1	9.7	0.4	33.9
年平均増加率(%)								
1960-1970	3.83	2.85	3.81	3.79	3.81	-0.39	2.05	0.95
1970-1975	1.28	1.27	1.84	3.15	1.52	-1.28	-9.13	12.53
1975-1980	0.37	0.22	0.55	1.46	0.32	-1.48	-3.34	0.71
1980-1985	0.93	0.65	0.77	2.69	0.24	-0.06	4.30	1.46

資料：総務庁統計局「国勢調査」による。

参考表5. 大都市4県（東京、神奈川、大阪、兵庫）の家族類型別一般世帯数の推移（単位千）

年次	一般世帯							
	総数	親族世帯				その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族	夫婦のみ	親子と			
昭和 35(1960)	6,105	4,692	3,366	571	2,795	1,326	35	1,378
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-
45(1970)	9,577	6,867	5,467	978	4,520	1,370	50	2,147
50(1975)	10,485	7,706	6,357	1,189	5,168	1,349	31	2,748
55(1980)	10,864	8,031	6,721	1,304	5,417	1,310	27	2,807
60(1985)	11,511	8,404	7,075	1,518	5,557	1,329	33	3,074
昭和60年を基準とした指数（%）								
昭和 35(1960)	53.0	55.8	47.6	37.6	50.3	99.8	107.6	44.8
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-
45(1970)	83.2	81.7	77.3	64.4	81.3	103.1	152.3	69.8
50(1975)	91.1	91.7	89.9	78.3	93.0	101.5	95.7	89.4
55(1980)	94.4	95.6	95.0	85.9	97.5	98.6	82.9	91.3
60(1985)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
一般世帯数に対する割合（%）								
昭和 35(1960)	100.0	76.8	55.1	9.3	45.8	21.7	0.6	22.6
40(1965)	-	-	-	-	-	-	-	-
45(1970)	100.0	71.7	57.1	10.2	47.2	14.3	0.5	22.4
50(1975)	100.0	73.5	60.6	11.3	49.3	12.9	0.3	26.2
55(1980)	100.0	73.9	61.9	12.0	49.9	12.1	0.2	25.8
60(1985)	100.0	73.0	61.5	13.2	48.3	11.5	0.3	26.7
年平均増加率（%）								
1960-1970	4.60	3.88	4.97	5.53	4.92	0.32	3.53	4.53
1970-1975	1.83	2.33	3.06	3.99	2.72	-0.31	-8.87	5.06
1975-1980	0.71	0.83	1.12	1.86	0.94	-0.58	-2.84	0.42
1980-1985	1.16	0.91	1.03	3.10	0.51	0.29	3.83	1.84

資料：総務庁統計局「国勢調査」による。

参考表6. 都道府県別にみた世帯の家族類型別一般世帯数割合—昭和60年—

(%)

都道府県	一般世帯							
	総数	親族世帯			その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯	
		総数	核家族世帯					
		総数	夫婦のみ	親と子供				
全 国	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8
北 海 道	100.0	78.0	64.5	18.6	45.9	13.5	0.2	21.8
青 森 県	100.0	82.9	56.1	12.6	43.5	26.8	0.1	17.0
岩 手 県	100.0	82.2	51.4	12.9	38.5	30.8	0.1	17.7
宮 城 県	100.0	79.6	53.8	11.3	42.5	25.8	0.1	20.3
秋 田 県	100.0	85.9	50.2	13.4	36.8	35.7	0.1	14.0
山 形 県	100.0	87.2	45.7	11.1	34.6	41.5	0.1	12.7
福 島 県	100.0	84.3	52.6	12.7	39.9	31.7	0.1	15.6
茨 城 県	100.0	85.2	58.5	11.1	47.5	26.6	0.1	14.7
栃 木 県	100.0	84.7	57.1	11.4	45.7	27.7	0.1	15.1
群 馬 県	100.0	84.7	59.9	12.8	47.1	24.8	0.2	15.2
埼 玉 県	100.0	83.4	67.8	10.6	57.2	15.6	0.2	16.4
千 葉 県	100.0	81.8	65.2	11.5	53.7	16.7	0.2	18.0
東 京 都	100.0	65.7	56.0	12.9	43.1	9.7	0.4	33.9
神 奈 川 県	100.0	75.8	64.3	12.4	51.9	11.5	0.2	24.0
新 潟 県	100.0	85.7	50.9	12.0	38.9	34.8	0.1	14.3
富 山 県	100.0	87.8	50.5	11.9	38.6	37.3	0.1	12.1
石 川 県	100.0	80.2	51.5	12.7	38.8	28.8	0.1	19.6
福 井 県	100.0	85.0	49.7	11.7	38.0	35.3	0.1	14.9
山 梨 県	100.0	83.1	57.5	13.7	43.8	25.7	0.1	16.7
長 野 県	100.0	83.9	54.6	14.4	40.2	29.3	0.1	15.9
岐 阜 県	100.0	85.2	56.3	12.2	44.0	28.9	0.1	14.7
静 岡 県	100.0	83.3	58.0	11.8	46.2	25.3	0.2	16.5
愛 知 県	100.0	79.1	60.6	11.6	48.9	18.5	0.2	20.8
三 重 県	100.0	84.7	57.9	14.4	43.6	26.8	0.1	15.2
滋 賀 県	100.0	84.9	56.5	10.7	45.7	28.5	0.1	15.0
京 都 府	100.0	74.8	58.4	13.5	44.8	16.4	0.2	25.0
大 阪 府	100.0	77.3	65.9	13.5	52.4	11.4	0.2	22.5
兵 庫 県	100.0	81.1	64.4	14.8	49.6	16.7	0.2	18.7
奈 良 県	100.0	85.8	63.0	12.6	50.4	22.8	0.2	14.1
和 歌 山 県	100.0	83.7	61.0	16.5	44.5	22.7	0.2	16.1
鳥 取 県	100.0	84.9	51.7	14.0	37.7	33.2	0.1	15.0
島 根 県	100.0	83.0	50.9	16.6	34.3	32.0	0.1	16.9
岡 山 県	100.0	81.9	57.4	16.1	41.3	24.5	0.1	18.0
広 島 県	100.0	78.8	61.5	16.9	44.6	17.3	0.1	21.0
山 口 県	100.0	80.5	60.7	18.7	42.0	19.9	0.1	19.3
徳 島 県	100.0	83.0	54.8	15.5	39.3	28.2	0.2	16.9
香 川 県	100.0	83.6	57.7	16.2	41.5	25.9	0.1	16.3
愛 媛 県	100.0	80.5	61.0	17.9	43.1	19.5	0.2	19.3
高 知 県	100.0	77.6	59.2	18.2	41.1	18.3	0.2	22.2
福 岡 県	100.0	78.4	61.8	14.6	47.1	16.6	0.2	21.4
佐 賀 県	100.0	85.3	55.0	13.3	41.8	30.2	0.1	14.6
長 崎 県	100.0	81.4	62.1	16.2	45.9	19.3	0.1	18.5
熊 本 県	100.0	81.3	56.6	15.6	41.0	24.7	0.2	18.6
大 分 県	100.0	80.3	58.2	17.8	40.4	22.1	0.1	19.6
宮 崎 県	100.0	81.5	64.3	18.7	45.6	17.1	0.1	18.4
鹿 児 島 県	100.0	76.4	65.1	21.1	44.0	11.3	0.1	23.4
沖 縄 県	100.0	82.0	65.9	10.4	55.5	16.1	0.2	17.8

資料：総務庁統計局「国勢調査」による。

参考表7. 都道府県別にみた平均世帯人員の変動

都道府県	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
全 国	3.41	3.28	3.22	3.14
北 海 道	3.34	3.12	2.99	2.89
青 森 県	3.94	3.67	3.51	3.38
岩 手 県	3.95	3.68	3.54	3.42
宮 城 県	3.83	3.55	3.44	3.36
秋 田 県	4.00	3.73	3.62	3.53
山 形 県	4.14	3.92	3.83	3.77
福 島 県	4.05	3.78	3.67	3.58
茨 城 県	3.95	3.77	3.66	3.56
栃 木 県	3.93	3.72	3.63	3.54
群 馬 県	3.89	3.68	3.56	3.42
埼 玉 県	3.55	3.45	3.41	3.33
千 葉 県	3.47	3.35	3.32	3.25
東 京 都	2.85	2.73	2.67	2.60
神 奈 川 県	3.06	3.05	3.05	2.97
新 潟 県	4.02	3.80	3.70	3.61
富 山 県	3.92	3.84	3.77	3.69
石 川 県	3.66	3.51	3.44	3.36
福 井 県	3.83	3.74	3.70	3.61
山 梨 県	3.82	3.62	3.49	3.36
長 野 県	3.70	3.58	3.50	3.41
岐 阜 県	3.66	3.64	3.60	3.55
静 岡 県	3.72	3.59	3.53	3.43
愛 知 県	3.31	3.31	3.29	3.23
三 重 県	3.62	3.53	3.49	3.40
滋 賀 県	3.71	3.65	3.65	3.58
京 都 府	3.25	3.09	3.02	2.97
大 阪 府	3.07	3.05	3.04	2.97
兵 庫 県	3.29	3.23	3.21	3.14
和 歌 山 県	3.68	3.56	3.51	3.43
鳥 取 県	3.43	3.35	3.29	3.22
島 根 県	3.79	3.60	3.54	3.51
岡 山 県	3.64	3.49	3.42	3.36
広 島 県	3.41	3.32	3.29	3.24
山 口 県	3.21	3.13	3.09	3.02
山 德 県	3.39	3.23	3.14	3.03
香 川 県	3.67	3.47	3.37	3.29
愛 媛 県	3.59	3.43	3.36	3.28
高 知 県	3.43	3.25	3.16	3.06
福 岡 県	3.19	3.04	2.96	2.90
佐 賀 県	3.46	3.24	3.13	3.05
長 崎 県	4.05	3.81	3.66	3.57
熊 本 県	3.70	3.46	3.32	3.19
大 分 県	3.71	3.48	3.35	3.25
宮 崎 県	3.54	3.30	3.19	3.10
鹿 児 島 県	3.47	3.26	3.16	3.07
沖 縄 県	3.26	3.02	2.88	2.78
沖 縄 県	4.18	3.93	3.68	3.48
大 都 市 4 県 平 均	3.01	2.86	2.92	2.85

(注) 大都市4県とは、東京、神奈川、大阪、兵庫である。

参考表8. 主要国の平均世帯人員および単独世帯割合

国・地域 (年)	平均世帯人員	単独世帯割合 (%)	合計特殊出生率 (%)	都市化率 (%)
スウェーデン (1975)	2.4	30.0	1.8	82.7
アメリカ合衆国 (1980)	2.7	22.7	1.8	73.7
イギリス (1981)	2.7	21.7	1.8	87.7
チェコスロバキア (1980)	2.8	22.0	2.1	73.7
フランス (1975)	2.9	22.2	2.0	73.0
ニュージーランド (1981)	3.0	18.5	2.0	83.5
カナダ (1976)	3.1	16.8	1.8	75.5
日本 (1985)	3.1	20.8	1.8	76.7
ポーランド (1978)	3.1	17.4	2.2	57.7
オーストラリア (1976)	3.1	15.7	2.1	86.0
アルゼンチン (1980)	3.9	10.4	3.4	82.9
ソビエト連邦 (1979)	4.0	-	2.3*	62.3
ブラジル (1980)	4.2	6.3	2.9	67.7
韓国 (1980)	4.5	4.8	2.8	57.3
ベルギー (1972)	4.8	10.5	4.1*	59.5
インドネシア (1980)	4.8	4.6	4.5*	22.4
マリア (1976)	5.1	7.4	6.7*	16.8
エジプト (1976)	5.2	6.0	5.7*	43.8
トルコ (1980)	5.2	5.0	4.1*	43.9
フィリピン (1975)	5.9	2.2	4.0	33.4

資料: United Nations, Demographic Yearbookによる。ただし*印は United Nations, World Population Prospects, Estimates and Projections as Assessed in 1984, 1986 による。

(注) チェコスロバキアの都市化率は1982年のもの。

参考表9. 一般世帯総数増加の要因分析（ケース2の推計について）

	昭和60～75年		昭和60～100年	
	世帯数（単位千）	構成比（%）	世帯数（単位千）	構成比（%）
(1) 期首（昭和60年）の世帯数	37,980		37,980	
(2) 期 末 の 世 帯 数	46,928		50,105	
(3) 変 化 量	8,948	（ 100.0）	12,125	（ 100.0）
(4) 人 口 変 化 の 効 果	6,744	（ 75.3）	8,198	（ 67.6）
(5) 配 偶 関 係 変 化 の 効 果	- 1,120	（- 12.5）	- 2,015	（- 16.6）
(6) 世 帯 主 率 変 化 の 効 果	3,286	（ 36.7）	5,662	（ 46.7）
(7) 残 差	48	（ 0.5）	280	（ 2.3）

(注1) 期首から期末にかけて人口、配偶関係、世帯主率が変わらなかった場合を各々 P, M, H、変化した場合を各々 P', M', H' で表し、P'MH, P'M'H, P'MH', P'M'H'（表の(2)のケース）の推計値を用意する。

(注2) (4)=P'MHの期末値-(1)
 (5)=P'M'Hの期末値-P'MHの期末値
 (6)=P'MH'の期末値-P'MHの期末値

(注3) (3)=(2)-(1)=(4)+(5)+(6)+(7)

参考表10. 世帯主の年齢65歳以上の一般世帯数増加の要因分析（ケース2の推計について）

	昭和60～75年		昭和60～100年	
	世帯数（単位千）	構成比（%）	世帯数（単位千）	構成比（%）
(1) 期首（昭和60年）の世帯数	5,234		5,234	
(2) 期 末 の 世 帯 数	9,546		14,031	
(3) 変 化 量	4,312	（ 100.0）	8,797	（ 100.0）
(4) 人 口 変 化 の 効 果	3,840	（ 89.0）	7,391	（ 84.0）
(5) 配 偶 関 係 変 化 の 効 果	- 338	（- 7.8）	- 767	（- 8.7）
(6) 世 帯 主 率 変 化 の 効 果	852	（ 19.8）	2,175	（ 24.7）
(7) 残 差	- 42	（- 1.0）	- 2	（ 0.0）

(注) 計算方法は参考表9と同様。

「人口と家族に関する特別委員会」について

1. 趣 旨

高度経済成長に伴う若年人口の急激な都市集中化、扶養意識の変化等により、核家族世帯や高齢者世帯が増加するなど、我が国の家族形態は大きく変容した。また、家族形態の変容及び女性特に主婦の就業の増大は、育児や老人の介護等の家庭機能の面に大きな影響を及ぼしつつある。しかも、生活水準の向上は、個性に応じた多様なライフスタイルを追求できる状況を作り出している。さらに、高齢化や家庭基盤の脆弱化は、地域によって、その進展に差異があり、地域によっては大変深刻な問題となる可能性がある。

このような経済社会の現状を踏まえ、21世紀初頭の日本社会における家族形態を展望し、子供や老親の扶養、個々人や家族と地域社会との係わり等家族をめぐる問題に焦点をあて、長寿社会において家庭が健全に機能し、老若ともども明るく豊かに暮らしていけるための諸方策について論じ、提言を行う。

2. 特別委員会名簿

委員	福武直	社会保障研究所顧問	専門委員	大森 彌	東京大学教授
委員	伊藤善市	東京女子大学教授	専門委員	小此木 啓吾	慶応義塾大学助教授
委員	伊部英男	年金制度研究開発基金理事長	専門委員	高原 須美子	評論家
委員	岡崎陽一	日本大学教授	専門委員	藤原 房子	ジャーナリスト
委員	河野 稔果	人口問題研究所長			
委員	人見康子	慶応義塾大学教授			

3. 審議状況及び今後の予定

(審議状況)

第1回	(昭和62年3月16日)	我が国の家族の現状について 検討スケジュール(案)について	
第2回	(昭和62年6月2日)	民法における私的扶養及び相続について 欧米諸国における家族構造の変遷 我が国夫婦出生力の動向 家族形態の地域別多様性について	(人見委員) (河野委員) (阿藤専門委員) (清水専門委員)
第3回	(昭和62年9月17日)	「離婚問題研究会」の報告について 親子関係について 女性の目から見た家庭について	(小此木専門委員) (藤原専門委員)

(今後の予定)

第4回	(昭和62年11月16日)	老親扶養の話 家族と社会の関係 「報告(案)骨子」について
-----	---------------	-------------------------------------

以後、昭和63年6月を目途に報告書をまとめ総会に報告する予定

厚生省人口問題研究所

昭和62年 6 月 4 日

調 査 事 項

第 9 次 出 産 力 調 査

『結婚と出産に関する全国調査』要綱

(夫 婦 票)

1. 夫婦の結婚に関する事項
2. 夫婦の社会経済的屬性に関する事項
3. 妊娠・出産歴に関する事項
4. 出産意欲に関する事項
5. 出産調節に関する事項

調 査 の 目 的

厚生省人口問題研究所は、昭和15年の第1回出産力調査以来、昭和57年までに8回の出産力調査を実施してきたが、これらの調査によって夫婦の出産歴を中心とするわが国出産力の実態および戦後出産力の急激な低下と内容が明らかにされ、多方面から高く評価されてきた。

昭和62年は第9次出産力調査の年に当たっているが、今回の調査は最近低下しつつある夫婦出産力の動向についてその実態を明らかにするとともに、若い独身者を調査対象に含め、彼らの結婚・出産に関する考え方を把握することを目的としている。この調査の結果は、最近の出生率低下の原因解明に資するとともに、将来人口の予測と人口に関する施策立案の基礎資料として役立てられる。

(独 身 者 票)

1. 本人の社会経済的屬性に関する事項
2. 両親の社会経済的屬性に関する事項
3. 結婚に関する事項
4. 子供に関する事項
5. 出生抑制知識に関する事項

調 査 の 対 象 お よ び 客 体

この調査は、無作為抽出法により抽出された調査区内に居住する妻の年齢50歳未満の夫婦と、18歳以上35歳未満の独身の男女を調査対象とする。

標本抽出は、昭和62年度に実施される国民生活基礎調査の調査地区から400調査地区を無作為抽出し、その地区内に居住する妻の年齢50歳未満の夫婦(約10,000組)と18歳以上35歳未満の独身の男女(約8,500人)を調査客体とする。

調 査 の 方 法

この調査は、厚生省人口問題研究所が厚生省大臣官房統計情報部、都道府県、政令指定都市、および保健所の協力を得て、国民生活基礎調査と同時に実施する。

調査は配票自計・密封回収方式によって行う。

結 果 の 集 計 お よ び 公 表

厚生省人口問題研究所がこれを行う。

調 査 の 時 期

昭和62年 6 月 4 日現在の事実による。